

JAPAN GAMES MASTERS



2026 ISHIKAWA

日本スポーツマスターズ2026

PROGRAM

軟式野球

期日：令和8年9月19日～9月21日

会場：七尾市 珠洲市 かほく市 白山市 野々市市 志賀町 宝達志水町 中能登町

主催：公益財団法人日本スポーツ協会 石川県 公益財団法人石川県スポーツ協会 公益財団法人全日本軟式野球連盟
七尾市 珠洲市 かほく市 白山市 野々市市 志賀町 宝達志水町 中能登町

主管：一般社団法人石川県軟式野球連盟

後援：スポーツ庁、公益財団法人日本オリンピック委員会、**NHK**、一般社団法人共同通信社

オフィシャルスポンサー：東武トップツアーズ



この大会は競輪の補助を受けて開催しています。
<https://www.jka-cycle.jp/>

JAPAN GAMES MASTERS ブランドロゴ

「日本スポーツマスターズ（JAPAN GAMES MASTERS）」は、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会です。JSPO が実現を目指す「だれでも、だれとでも。いつでも、いつまでも。」自分らしくスポーツを楽しめる社会（幅広い世代でスポーツが身近にある生涯を送ることができる社会）を体現し、スポーツと共に生きるという想いが込められています。

JAPAN GAMES MASTERS ブランドロゴは、JAPAN GAMES マーク（J.G. マーク）とロゴタイプで構成されています。



〈J.G. マーク制作意図〉

J と G の アルファベットモチーフで構成した J.G. マークは、地球を示す球体をあしらっており、一人ひとりの意志が旋を描いて混じり合い、地域住民と「JAPAN GAMES」が共にスポーツ文化を築いていくという想いが込められています。

また、スポーツに触れることにより生まれる楽しさ、喜び、情熱、悔しさなどの様々な感情を、彩り豊かな配色とすることにより、実現する価値の一つである「多様性と調和」を表現しています。さらに、立体表現とすることにより、「する」「みる」「ささえる」の多面的で、かつ幅広い年代のステークホルダーの多層的な取組であることを表しています。

人がこれからの新しい時代をスポーツと共に生きるためにスポーツを文化とし、日本に活力を与える、という志を持った「JAPAN GAMES」を表現しています。



その瞬間のために。

わたしたちは、そばで見してきた。
その瞬間のために、続けた努力を、
流した汗も涙も。
その瞬間のために、かけた思いを、
送った言葉も。
わたしたちは、実らせたい。
その努力のために、
その思いのために、
その瞬間のために。

 **東武トップツアーズ**

東武トップツアーズは、
日本スポーツマスターズのオフィシャルスポンサーです。



REACH BEYOND

OUR SUSTAINABILITY

誰もが、いつでも、どこでも、
自由にスポーツを楽しむことができる未来のために

私たちには、できることがある
走り続けよう、持続可能な未来へ

“MIZUNO CREW 21”は、持続可能な社会を
次世代につなぐ、私たちの“誓い”です



MIZUNO CREW 21



SCAN & DISCOVER

jpn.mizuno.com 0120-320-799



NEXT VOLTAGE

スポーツの未来を盛り上げる。



白石 黄良々・伊藤 明子・三浦 由奈・坂田 翔悟・福永 凌太・関 麟太郎 (セレスポアスリートチーム)

イベント・ソリューション・パートナー

セレスポ

私たちは、全てのスポーツを応援しています。

株式会社セレスポ

www.cerespo.co.jp/



いつも、ボールは先へ行く。
勝負を決めようと、劣勢をはね返そうと、
夢中で追いかけるプレイヤーの先を。
固唾を吞んで、ポイントの行方を見守る
観衆の視線の先を。

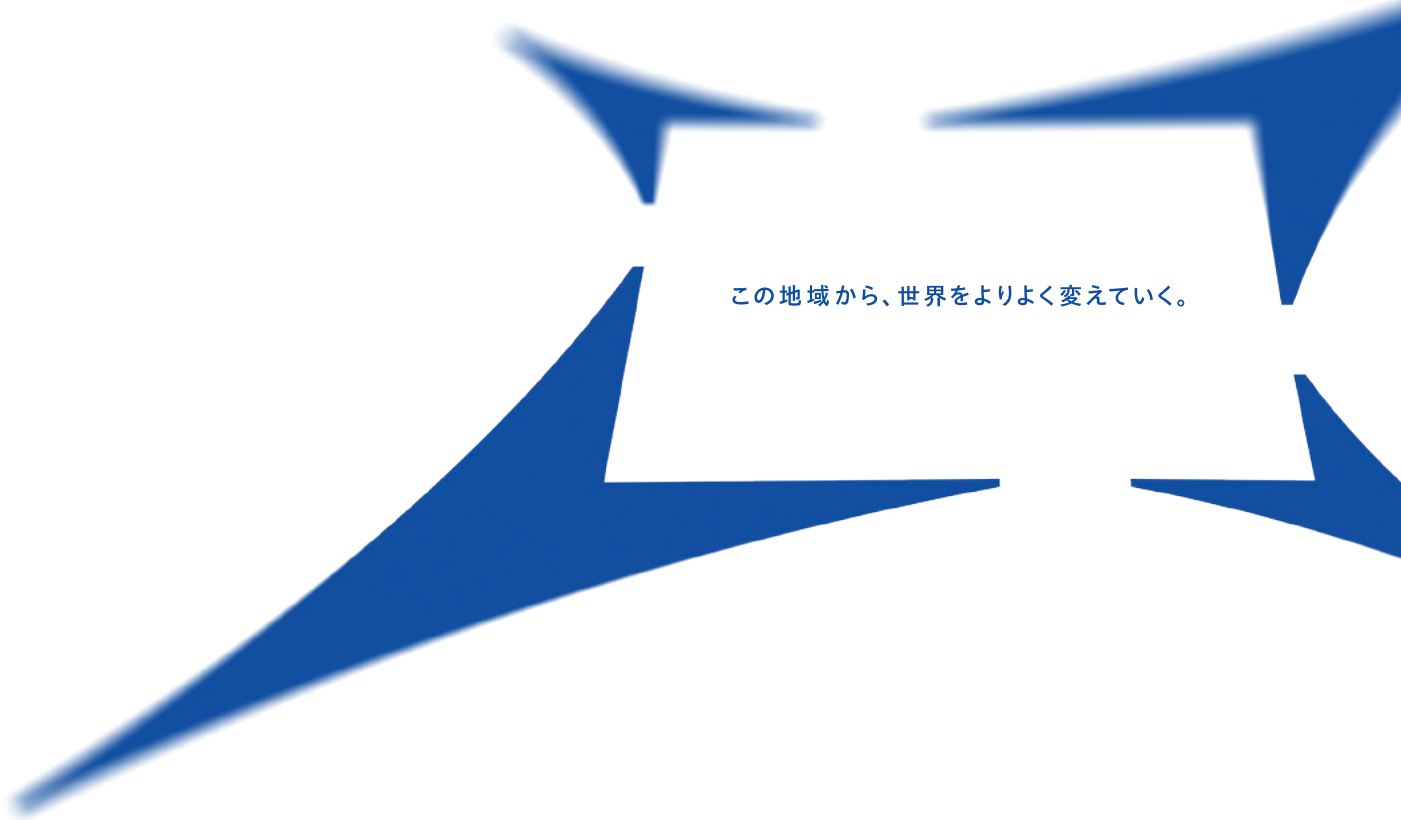
そして、ボールがその動きを止めるとき、
沸き起こる歓声や感動の嵐。
闘志や熱狂、感動の常に先を走り、
筋書きのないドラマを紡いでいく。

私たち MIKASA は感じる。
そんなプレイヤーの感情を駆り立て、
観客を熱狂させるボールに
魂を吹き込む仕事に携われる幸せを。

今日も、ボールから目が離せない。




MIKASA
Faster than Emotion



この地域から、世界をよりよく変えていく。

世界の未来を、人が生きることを、よりよいものにする。

その大きな夢は、地域から始まると私たちは考えています。

地域とその先にある世界を見据えて、

私たちは、北國フィナンシャルホールディングスから

CCIグループへと社名を変更いたしました。

新社名の由来でもある、コミュニケーション・コラボレーション・

イノベーションで、地域から世界を変えていく。

それが、私たちCCIグループの使命です。

さあ、協創社会へ。



株式会社CCIグループ

株式会社北國銀行 北國総合リース株式会社 株式会社北國クレジットサービス 北國保証サービス株式会社
株式会社CCイノベーション 株式会社CCIForward 株式会社デジタルバリュー 株式会社CCIアセットパートナーズ 株式会社QRインベストメント
株式会社CCIクロスボーダー CC Innovation Singapore Thai CC Innovation CC Innovation Vietnam CC Innovation Africa
株式会社CCIエンタベース 株式会社ハニービースポーツ 株式会社金沢サムライズ

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



UNIVAS

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント
(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、
みんなが『NO!』と言う社会を目指して



「スポハラ」をなくすためには
「いかなる理由でも、指導者・
コーチによる不適切な行為は
あってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

「NO! スポハラ」活動特設サイトへ>>





超えて

挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

OFFICIAL PARTNERS



OFFICIAL SUPPLIERS



目次

JAPAN GAMES MASTERS 2026

ごあいさつ 公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤利明	2
祝辞 スポーツ庁長官 河合純一	3
ごあいさつ 公益財団法人全日本軟式野球連盟 会長 堺 充廣	4
歓迎のことは 石川県知事兼石川県スポーツ協会 会長 山野之義	5
七尾市長 茶谷義隆	6
珠洲市長 泉谷満寿裕	7
かほく市長 油野和一郎	8
白山市市長 田村敏和	9
野々市市長 栗 貴章	10
志賀町長 稲岡健太郎	11
宝達志水町長 高下栄次	12
中能登町長 宮下為幸	13
石川県議会議長 不破大仁	14
ごあいさつ 大韓野球ソフトボール協会 会長 梁 海榮	15
大会役員	16
競技役員	17
競技役員	18
総則	20
実施要項	24
大会式典	27
競技日程	28
白山市立野球場（周辺図・会場図）平面図	29
白山市立野球場管理棟平面図	30
野々市市民野球場（周辺図・会場図）平面図	31
野々市市民野球場管理棟平面図	32
かほく市高松野球場（周辺図・会場図）平面図	33
かほく市高松野球場管理棟平面図	34
志賀町野球場（周辺図・会場図）平面図	35
志賀町野球場管理棟平面図	36
宝達志水野球場（周辺図・会場図）平面図	37
宝達志水野球場管理棟平面図	38
中能登町運動公園野球場（周辺図・会場図）平面図	39
中能登町運動公園野球場管理棟1F平面図	40
七尾城山野球場（周辺図・会場図）平面図	41
七尾城山野球場管理棟平面図	42
珠洲市営野球場（周辺図・会場図）平面図	43
珠洲市営野球場管理棟平面図	44
参加チーム紹介	45
軟式野球競技の沿革	61
軟式野球競技過去大会成績	63
医療救護について	64
大会日程と会場一覧	66
韓国選手団の参加について	67
七尾市の概要	68
珠洲市の概要	69
かほく市の概要	70
白山市の概要	71
野々市市の概要	72
志賀町の概要	73
宝達志水町の概要	74
中能登町の概要	75
日本スポーツマスターズ2026 石川大会実施本部等連絡先	80
日本スポーツマスターズ2027静岡大会 開催概要	82

ごあいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会 会長

遠藤利明

はじめに、本年7月28日に発生した令和8年熊本地震及び令和8年8月千葉豪雨によりお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。あわせて、被災地の日も早い復旧・復興と、皆様のご健康を心からお祈りいたします。

歴史と文化に彩られ、豊かな自然と伝統が息づく石川県において、「日本スポーツマスターズ2026石川大会」を開催できますことは誠に意義深いものであります。

石川県での開催は2011年、2015年に続いて3回目となります。また、令和6年能登半島地震からの復旧・復興の歩みの中で開催いただけることは、多くの皆様のご理解とご協力の賜物であり、本大会が、スポーツの力により地域に活力と希望をもたらし、人と人との絆を一層深める契機となることを強く期待しております。

「生涯現役アスリート」が一堂に会し、日本一を競う我が国唯一のシニア世代の総合スポーツ大会である日本スポーツマスターズは、まさに当協会が目指す「だれでも、だれとでも。いつでも、いつまでも。自分らしくスポーツを楽しめる社会」を体現するものといえます。

全国から参加されるシニアアスリートの皆さまには、日頃の成果を存分に発揮されるとともに、石川県の誇る美しい自然、歴史ある街並み、豊かな食文化、そして地域の皆さまの温かいおもてなしに触れていただき、フェアプレー精神のもと、スポーツを楽しむことを願っております。

本大会において受入交流を実施している日韓スポーツ交流・成人交歓交流が、本年、記念すべき30周年を迎えますことは、誠に意義深いことであります。

本交流を通じて日韓両国が築いてきた協力関係を基盤とし、さらなる両国の友好親善とスポーツを通じた国際交流に寄与するため、国境を越えた同世代の仲間たちとの友情を深める機会とされることを願っております。

結びに、開催にあたり、諸準備にご尽力いただきました石川県をはじめ、公益財団法人石川県スポーツ協会、石川県内の各競技団体、会場の関係者・ボランティア等のすべての皆さま方に厚く御礼を申し上げ、ごあいさついたします。

祝 辞



スポーツ庁長官

河合純一

日本スポーツマスターズ2026大会が開催されるにあたり、御挨拶申し上げます。

はじめに、令和8年熊本地震及び令和8年8月千葉豪雨によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。また、被災された地域の日でも早い復興をお祈り申し上げます。

さて、本大会はスポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典であり、互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯を通じたスポーツの推進を図るとともに、生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与するもので大変意義深いものです。

スポーツ庁では、昨年改正されたスポーツ基本法のもと、誰もがスポーツに親しめる社会を実現することにより、国民の皆様のウェルビーイングの向上を図るとともに、健康で活力に満ちた社会や共生社会の実現など、スポーツの価値を生かした社会課題の解決に貢献していくことを目指しています。

選手の皆様方におかれましては、全国から集結した仲間との絆を深めていただくとともに、競い合える喜びを感じながら有意義な時間をお過ごしいただければ幸いです。そして、今後もスポーツに親しみ、多くの仲間と共に豊かなスポーツライフを実現していただくことを期待しております。

結びに、本大会の開催に御尽力された公益財団法人日本スポーツ協会をはじめ、関係の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と今後ますますの御発展を心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

ごあいさつ



公益財団法人全日本軟式野球連盟 会長

堺充廣

日本スポーツマスターズ2026が石川県白山市を主会場として、盛大に開催されますことに心から感謝申し上げます。能登をはじめ県内各地の皆様の力強い復興への歩みの中で開催されます。皆様のひたむきに挑戦する姿が、石川県全体に元気と希望を届けてくれるものと確信しております。

全国9ブロックと開催県の厳しい予選を勝ち抜いた32チームの精鋭の皆様、ご出場おめでとうございます。本大会は、スポーツ愛好者の中の競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツの祭典であります。参加者がフェアプレー精神に基づきお互いに競い合いながら、生涯を通じて自己の能力・志向等に応じてスポーツを生活の中に受け入れ楽しむ環境を整えることを目的としております。

また、本大会は日韓スポーツ交流事業の一環として、日本にとって最も大切な隣国である大韓民国の皆様にもご出場いただいています。日韓両国の皆様が競技を通じて大熱戦を繰り広げていただきますとともに、大いに親睦を深め、思い出深い大会になることを念願しております。

「第12回 BFA U12アジア野球選手権」も中国・杭州市で開催され、日本国内でも軟式野球に注目が集まりました。当連盟は引き続き、安全で安心、誰とでも・いつでも・どこでも・楽しみ・親しめる軟式野球を目指し、会員競技者の皆様のニーズに沿った運営や環境整備に努めるとともに、野球をしたい・続けたい子どもたちへの支援事業を通して、軟式野球の普及振興を推進してまいります。

結びに、本大会開催にあたり、長い準備期間を通じて格別のご尽力を賜りました石川県軟式野球連盟をはじめ、各会場地の皆様に対し、心から御礼を申し上げごあいさついたします。

歓迎のことば



石川県知事兼石川県スポーツ協会会長

山野之義

「日本スポーツマスターズ2026石川大会」の開催にあたり、全国各地からご参加いただきました選手・監督並びに関係者の皆様を、県民を代表して心より歓迎申し上げます。

本大会は競技志向の高いシニア世代のスポーツの祭典であり、石川県においては全国最多の3度目の開催となります。熱き情熱にあふれた皆様の再びこの地にお迎えできますことは大きな喜びであり、深く誇りに存じます。

現在、本県では誰もがスポーツを楽しめる環境づくりやスポーツを通じた地域活性化を推進しております。年齢の垣根を超えて人々の絆を紡ぐスポーツの力はかけがえない宝です。

さらに、本県は令和6年に能登半島地震と奥能登豪雨という困難に直面し、今なお復旧・復興の途上にありますが、皆様からの温かいご支援により着実に歩みを進めております。競技に真剣に打ち込む皆様の輝く姿は、多くの人々に感動をもたらすとともに、本大会が生み出す活気も能登の復興を後押しするものと考えております。

そして、滞在中は、加賀百万石の歴史や伝統文化、豊かな自然、新鮮な山海の幸など本県の多彩な魅力をぜひご堪能いただくとともに、復興に向けて力強く歩んでいる姿をご覧いただければ幸いです。全国からお越しの皆様を心のこもった「石川らしいおもてなし」で温かくお迎えいたします。

結びに、本大会の開催にご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会のご成功を心よりお祈り申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



七尾市長

茶谷義隆

「日本スポーツマスターズ2026石川大会」が盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げますとともに、ご来訪された、選手をはじめとする関係者の皆様に、心より歓迎申し上げます。

また、令和8年熊本地震で被災された皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

七尾市は、日本五大山城に数えられる「国指定史跡七尾城跡」や、桃山時代に活躍した絵師・長谷川等伯の生誕地といった文化資源もさることながら、かねてより合宿の拠点となるスポーツ施設の整備にも力を入れてまいりました。全国的にも名高い和倉温泉に隣接する和倉温泉運動公園や、学童野球専用の中島学童野球場など、優れた合宿環境が大きな魅力です。

先の令和6（2024）年能登半島地震により、当市は甚大な被害を受け、市内のスポーツ施設も休業を余儀なくされました。しかし現在は、関係各所のご尽力により、日々復旧工事が進められております。施設を再開した暁には、ぜひ試合や合宿でご利用いただけますと幸いです。

選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、この地で最高のプレーを見せていただけることが、復興へと歩んでいる私たちにとっての大きな希望と活力になります。皆様のご健闘を心より期待しております。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力をいただきました関係各位に心より感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念し、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



珠洲市長

泉谷満寿裕

全国各地から多くの選手・監督をはじめ関係の皆様をお迎えし、「日本スポーツマスターズ2026石川大会」が開催されますこと、誠にありがたく、心から感謝申し上げます。

また、軟式野球の開催地である珠洲市に遠路お越しいただき、珠洲市民を代表し心からご歓迎申し上げます。

珠洲市におきましては、令和6（2024）年元日の能登半島地震と同年9月の奥能登豪雨により、極めて甚大な被害が生じました。住宅の2軒に1軒が公費解体により更地となり、街並みや景色が大きく変わってしまいました。これまで、多くの皆様のご支援を賜り、復旧を進めてまいりましたが、中でも珠洲市営野球場はいち早く復旧に取り組むとともに、大規模改修工事を終え、昨年8月にリニューアルオープンすることができました。昨年末には、メジャーリーグドジャースの佐々木朗希投手が訪れ、野球教室を開催いただき、能登の学童野球の選手たちの大きな希望となりました。

選手の皆様には、楽しみながら、情熱溢れる試合を繰り広げていただくことで、市民の皆様を元気にしていただきたいと思いますし、買って、食べて、飲んで本市を応援していただきたいと思います。

結びに、本大会の開催にご尽力賜りました関係の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会が本市の復興への弾みとなりますことを心から念願申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



かほく市長

油野和一郎

「日本スポーツマスターズ2026石川大会」が盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。また、本大会に出場される選手や監督、関係者の皆様、ようこそかほく市へお越しくださいました。心から歓迎申し上げます。

はじめに令和8年熊本地震及び令和8年8月千葉豪雨によりお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

当市におきましても、令和6年1月1日の能登半島地震により甚大な被害を受け、現在、復旧・復興に向けて全力で取り組んでおります。そのような中、本大会が当市で開催されることは、競技の振興のみならず、災害からの復旧・復興に向けた大きな励みとなります。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮され、競技を楽しむとともに、全国から集う仲間との交流を深め、思い出に残る大会となりますようお願いしております。

さて、当市は、豊かな自然に育まれた農作物として、日本を代表する高級ぶどう「ルビーロマン」や大玉のさわし柿「高松紋平柿」、さつまいも「かほっくり」など多彩な特産品に恵まれております。

また、日本で唯一の哲学の博物館「石川県西田幾多郎記念哲学館」では、日本を代表する哲学者・西田幾多郎の思想に触れることができます。

この機会に当市の魅力に触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力いただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本大会の御成功と出場される皆様の御健闘をお祈りし、歓迎の言葉といたします。

歓迎のことば



白山市長

田村 敏和

全国各地から各都道府県を代表するトップレベルの選手の皆様をお迎えし、「日本スポーツマスターズ2026石川大会」が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、軟式野球、パドミントン、バレーボールの各競技が、ここ白山市で開催されますことを、市民を代表して心より歓迎いたします。

このたびの令和8年熊本地震並びに令和8年8月千葉豪雨において、犠牲となられました方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今なお不安な日々を過ごされている皆様の安全と、一刻も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。次第であります。

さて、白山市は、日本三名山のひとつに数えられる霊峰白山のもと、山・川・海が織りなす豊かな自然の中で、人間と自然が共生してきた地域であり、市域全体が「白山手取川ユネスコ世界ジオパーク」として認定されており、この豊かな自然に育まれた伝統文化や山の幸、海の幸に恵まれた食文化などが数多くあります。

また、白山の恩恵を受け、市内各地には多種多様な泉質や効能がある多くの源泉が湧き出ております。競技の熱戦を終えた後の休息や、選手皆様の交流を深める場として、ぜひお立ち寄りいただき、心身を癒していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、本大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



野々市市長

栗貴章

「日本スポーツマスターズ2026石川大会」の開催を心からお祝い申し上げます。

はじめに、このたびの令和8年熊本地震並びに全国各地で発生した豪雨災害により犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、本大会は、スポーツを愛する皆様が長年培ってこられた技術や経験を発揮される場であるとともに、地域や世代を越えた交流を深める貴重な機会であります。このような素晴らしい大会を本市で開催できますことは、市民にとっても大きな喜びであり、全国各地から野々市市へお越しの選手、監督並びに関係者の皆様を、心より歓迎いたします。競技を通じて生まれる出会いや友情が、この大会をより実り多いものにしてくれることを期待しております。

野々市市は、中世には加賀守護・富樫氏が守護所を置くなど、加賀の政治・経済・文化の中心地として栄えた歴史を有しています。市内には御経塚遺跡や国指定重要文化財喜多家住宅をはじめとする歴史・文化資産が大切に受け継がれております。

大会終了後の9月23日には、旧北国街道沿いを歩行者天国として、往時の宿場町の賑わいを今に伝える「北国街道野々市の市」が開催される予定です。本市ならではの食や文化を味わいながら、人々と交流する温かなまちの魅力を感じていただければ幸いです。

結びに、大会関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、大会の御成功と選手の皆様の御健闘を心よりお祈り申し上げ、歓迎の言葉といたします。

歓迎のことば



志賀町長

稲岡健太郎

全国から幅広い年齢層の選手や役員の皆様をお迎えし、「日本スポーツマスターズ2026石川大会」が盛大に開催されますことは、誠に光栄であり、志賀町を代表し、心から歓迎申し上げます。

はじめに、本年7月に発生いたしました熊本地震により、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を、当町といたしましても深くお祈り申し上げます。

さて、「する」「見る」「応援する」「支援する」など、多くの人々がさまざまな形で楽しむことができるスポーツは、健康寿命の延伸、生活の質の向上、社会参加の促進等に寄与するとともに、高齢化が進む我が国において、生きがいを生み出し、心の健康にも良い影響をもたらすなど、活力ある社会の実現に向け、重要な役割を担うものとなっております。

選手の皆様は、日頃の練習によって鍛えられた体力、精神力、技術のすべてを遺憾なく発揮され、熱戦が繰り広げられるものと期待しております。また、地域を越えて交流を深めていただき、本大会がいつまでも皆様の記憶に残るものとなることを祈念いたします。

当町は、能登半島中央部に位置し、能登金剛と呼ばれる美しい海岸線や加能ガニ、ころ柿など豊富な農林水産物にも恵まれ、多様な観光資源を抱えています。ぜひ、志賀町の魅力を十分に感じていただけると幸いです。

結びに、本大会の開催に御尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御活躍を心よりお祈りし、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



宝達志水町長

高下 栄次

「日本スポーツマスターズ2026石川大会」が、ここ宝達志水町において盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。また、全国各地からお越しいただいた選手、監督、そして関係者の皆様を、町を代表して心から歓迎いたします。

宝達志水町は石川県の中央、能登半島の入口に位置し、豊かな自然と歴史に育まれた町です。令和6（2024）年の能登半島地震に際しましては、全国から多大なる温かいご支援を賜りました。こうしてスポーツの祭典を皆様と共に迎えられることは、復興へと歩む私たちにとって大きな希望と活力になるものです。

選手の皆様におかれましては、日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮されとともに、プレーを通して地域を越えた交流の輪を広げていただくことを期待しております。

さて、宝達志水町には、日本で唯一、波打ち際を車で走ることができる「千里浜なぎさドライブウェイ」や、能登最高峰の「宝達山」など、誇るべき景勝地がございます。また、本町は「オムライスの町」としても知られ、多彩な食の魅力にあふれています。競技の合間には、ぜひ地元の食や豊かな自然に触れ、心身ともにリフレッシュしていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様のご健闘、そして皆様のますますのご多幸を祈念いたしまして、歓迎の言葉といたします。

歓迎のことば



中能登町長

宮下為幸

「日本スポーツマスターズ2026石川大会」が開催されるにあたり、心よりお喜び申し上げます。また、全国各地からお越しいただいた選手、監督、そして関係者の皆様、ようこそ中能登町へお越しくださいました。皆様に心から歓迎いたします。

本町を含む能登地域は、令和6（2024）年に発生した能登半島地震により大きな困難に直面しました。しかし、全国の皆様からの温かいご支援に支えられ、私たちは一歩ずつ、力強く復興への歩みを進めています。こうした中、本大会が開催されることは、私たち町民にとっても大きな励みであり、スポーツの力が地域の活力と笑顔を取り戻す一助となることを願っております。

さて、中能登町は、約二千年前から続く「織物のまち」としての歴史を誇ります。県指定無形文化財にも指定されており、その上質さから「能登上布」と呼ばれております。会場近くの「能登上布会館」では、その繊細な職人技に触れることができますので、ぜひお立ち寄りください。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を十二分に発揮されるとともに、軟式野球を通じて全国の仲間との交流を深め、この中能登町で素晴らしい思い出を築かれることを願っています。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、大会の成功と、皆様の健闘、そして能登のさらなる復興を祈念いたしまして、歓迎の言葉といたします。

歓迎のことば



石川県議会議長
不破大仁

全国各地から多くの選手並びに役員の皆様をお迎えして、「日本スポーツマスターズ2026石川大会」が盛大に開催されますことは、誠に光栄であり、石川県議会を代表いたしまして、心より歓迎申し上げます。

はじめに、一昨年、能登半島地震及び奥能登豪雨に際し、発災以来、全国の皆様から多大なご厚情を賜っておりますことに対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。このような中、こうして全国大会を開催できますことは、県民にとってこの上ない喜びであり、復興への大きな励みとなるものであります。重ねて感謝申し上げます。

本大会は、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典であり、スポーツを通じて生きがいを育み、世代や地域を越えた交流を深める貴重な機会であります。選手の皆様におかれましては、フェアプレー精神に基づき、日頃の練習の成果を十分発揮されますとともに、ここ石川の地で新たな絆が生まれることを期待しております。

また、本県は豊かな自然に恵まれ、加賀料理をはじめとする食文化が息づく地でもあります。皆様には、美しい自然の彩りとともに、石川ならではの味わい、そして心を尽くしたおもてなしを存分にご堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、本大会が実り多く、参加されるすべての皆様の心に残る大会となることを祈念いたしまして、歓迎のことばいたします。

ごあいさつ



大韓野球ソフトボール協会 会長

梁海榮

대한야구소프트볼협회 회장

양해영

第30回日韓スポーツ交流・成人交歓交流に参加する選手団の皆さん、こんにちは。

美しい自然と伝統文化を守る日本・石川県で第30回日韓スポーツ交流・成人交歓交流が開催されることを心からお祝い申し上げますとともに、韓国の軟式野球チームが今回の交流に参加できたことを大変意義深く思います。特に石川県は2015年にも日韓スポーツ交流・成人交歓交流の開催地であったため、当時の貴重な縁と思い出を再びつなげることができ、さらに感慨深いです。

今年で30回目を迎える日韓スポーツ交流・成人交歓交流は、両国の生涯スポーツ愛好者の友情を深め、地域と種目間の継続的な交流を通じて相互理解と信頼を築いてきた意義深いイベントです。石川県で開催される今回の交流が、スポーツを通じた和合と共生の価値をさらに強固にする貴重な機会となることを願っています。

生涯スポーツは単なる競技や競争を超えて、お互いを理解し尊重し、友情を分かち合う大切なつながりです。軟式野球もまた、勝敗を超えて共に汗を流し、思いやりを持って交流する過程の中で、より大きな価値を生み出すスポーツです。選手団の皆さんは、これまで磨いてきた技量を存分に発揮するだけでなく、競技場で両国の選手団が温かい挨拶を交わし合い、互いに励まし合い、生涯スポーツ野球人の友情がさらに深まることを期待しています。

大韓野球ソフトボール協会は今後も生涯スポーツ国際交流ネットワークをさらに拡大し、さまざまな情報を共有し、両国の生涯スポーツの発展と交流の活性化に向けて継続的に努力していきます。選手の皆さんも、軟式野球を愛する気持ちで互いに尊重し配慮し、今回の交流を皆で楽しむ調和と祝祭の場にしていただければと思います。

最後に、本イベントのために惜しみない支援と準備をしてくださった日本スポーツ協会、石川県および石川県スポーツ協会、そしてすべての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、今回の交流に参加するすべての選手団の皆様のご健康とご多幸を祈念し、意義深い思い出と貴重な成果を共に築いていかれることを願っております。ありがとうございます。

제30회 한일생활체육교류에 참가하는 선수단 여러분, 반갑습니다.

아름다운 자연과 전통문화를 간직한 일본 이시카와현에서 제30회 한일생활체육교류가 개최되는 것을 진심으로 축하드리며, 대한민국 연식야구 선수단이 이번 교류에 함께하게 된 것을 매우 뜻깊게 생각합니다. 특히 이시카와현은 2015년에도 한일생활체육교류 개최지였던 만큼, 당시의 소중한 인연과 추억을 다시 이어갈 수 있게 되어 더욱 감회가 새롭습니다.

올해로 30회를 맞이한 한일생활체육교류는 양국 생활체육인의 우정을 다지고, 지역과 종목 간 지속적인 교류를 통해 상호 이해와 신뢰를 쌓아온 뜻깊은 행사입니다. 이시카와현에서 열리는 이번 교류가 스포츠를 통한 화합과 상생의 가치를 더욱 굳건히 하는 소중한 계기가 되기를 바랍니다.

생활체육은 단순한 경기와 경쟁을 넘어 서로를 이해하고 존중하며 우정을 나누는 소중한 연결고리입니다. 연식야구 또한 승패를 떠나 함께 땀 흘리고 배려하며 교류하는 과정 속에서 더욱 큰 가치를 만들어가는 스포츠입니다. 선수단 여러분께서는 그동안 갈고닦은 기량을 마음껏 펼치는 것은 물론, 경기장에서 양국 선수단이 따뜻한 인사를 나누며 서로를 격려하고, 생활체육 야구인들의 우정이 더욱 돈독해지기를 기대합니다.

대한야구소프트볼협회는 앞으로도 생활체육 국제교류 네트워크를 더욱 확대하여 다양한 정보를 공유하고, 양국 생활체육의 발전과 교류 활성화를 위해 지속적으로 노력하겠습니다. 선수단 여러분께서도 연식야구를 사랑하는 마음으로 서로를 존중하고 배려하며 이번 교류를 모두가 함께 즐기는 화합과 축제의 장으로 만들어주시기를 바랍니다.

끝으로 이번 행사를 위해 아낌없는 지원과 준비를 해주신 일본스포츠협회, 이시카와현과 이시카와현스포츠협회, 그리고 모든 관계자 여러분께 깊이 감사드립니다. 아울러 이번 교류에 참가하는 모든 선수단 여러분의 건강과 행복을 기원하며, 뜻깊은 추억과 값진 성과를 함께 만들어 가시기를 바랍니다. 감사합니다.

大会役員

(順不同・敬称略)

名誉総裁	高円宮妃久子殿下									
会 長	遠藤 利明									
副 会 長	益子 直美	田中不二夫	三宮恵利子	山野 之義						
名誉顧問	河合 純一									
顧 問	森岡 裕策 石井 砂織 木平 芳定 櫻井 由香 湯川 和之 不破 大仁 泉谷満寿裕 栗 貴章 小森 卓郎 近藤 和也 小中寿一郎 川合 俊一 河合 満 先崎 卓歩 井上 樹彦 安 祐一	山本 浩 植田 実 桐木 陽子 中嶋 実 吉岡 成子 戒田由香里 山田 利明 生田 勇人 佐々木 紀 岡田 直樹 石尾 和彦 島田 慎二 村井 満 中村 宇一 沢井 俊光 百木田康二	勝田 隆 浦 美奈子 工藤 保子 旗生 康之 久保 直生 村山 卓 油野和一郎 稲岡健太郎 西田 昭二 宮本 周司 鈴木 大地 橋本 聖子 笹川 善弘 三屋 裕子 木戸 寛 水野 明人	飯塚 悟 笠師久美子 久保 正美 村松さやか 藤田 裕司 茶谷 義隆 田村 敏和 高下 栄次 小竹 凱 塩田 憲司 宮本 恒靖 加藤 勝信 丹羽 秀樹 渡辺 守成 松川 明弘	池田めぐみ 鹿島 丈博 小寺 洋 室伏 由佳 藤原 誠 宮橋 勝栄 井出 敏朗 宮下 為幸 川 裕一郎 多田 隆保 深澤 祐二 堺 充廣 津賀 一宏 太田 雄貴 八子 洋介					
参 与	田中 良憲	石原 秀知	宮本 泰正	足立 雅彦	七條 毅					
委 員 長	齋藤良太郎									
副委員長	岩田 史昭	森山 喜博								
委 員	神澤 賢 村上 成司 岡泉 茂 西林 康憲 大滝 英樹 丸山 章子 池田 光一 明地須賀子 島田久仁子 中江 章三 湯川 和之 小山 吉男	仲澤 眞 吉田 長寿 岡本 友章 内田 淳二 北川 博勝 福居 久志 吉田 俊朗 瀬戸 博邦 小倉 範子 小 秀一 土橋登志久 南澤 徹	岩崎 恭子 中梶 秀則 朝倉 康善 武田 知己 北岡 克彦 黒坂 昭弘 越川 恭明 吉永 弘美 金浦 修郎 加藤 善成 渡邊 信治 山中 博史	貝塚 大和 堀越 浩 木塚 鉄也 岡崎 正彦 山本 博男 橋本 祐之 渡辺 正広 吉村 真一 向田 秋子 林 晋吾 小野口裕朗	東原 篤 鎌田 英暢 伊東 毅嗣 栗原 洋和 貞廣 賢了 山下 修一 坂本 祐子 紐野 義昭 荒井 昌宏 金子日出澄 中田 裕之					

競技会役員

(順不同・敬称略)

名誉会長	茶谷 義隆 稲岡健太郎	泉谷満寿裕 高下 栄次	油野和一郎 宮下 為幸	田村 敏和	栗 貴章
------	----------------	----------------	----------------	-------	------

会 長	堺 充廣
-----	------

副 会 長	藤原 庸介	鎌田 英暢	宇津木妙子
-------	-------	-------	-------

顧 問	道上 宗雅	木下 宗昭	遠山 昌夫	石原 廣士	武内 繁和
	山口 宏	長野 昭彦	小林 三郎	富永 茂巳	安岡 豊実
	加藤 廣美	杉本 正博	吉村 範明	小田與之彦	宮地 治
	山野 之義	村山 卓	前 哲雄	木田 學	村中 晃
	源本 博久	北嶋 章光	馬場 弘勝	多賀 吉一	富澤 軒康
	近江 勝之	小西 堅正	佐藤 喜典	中村 吉成	番匠 雅典
	吉木 充弘	金子 猛	井上 勝文	中野 進	山口 昭恵
	安原 透	大久保邦彦	福田 晃悦	間嶋 正剛	林 稔
	細江 孝	南 昭榮	林 大智		

委 員 長	小山 吉男
-------	-------

副委員長	宮川 豊彦
------	-------

委 員	宮川 良輔	前西原 裕	石川 智雄	長岡 信広	小倉 守
	宮本 忠彦	荊尾 芳之	濱田 望	篠原 一夫	山本 貴己
	古島 弘三	頓所 理加	石井 美子	岡田 真理	畑中 淳子
	岸田 輝美	大野 豊	石橋世津子	岩崎 友香	小国 綾子
	中嶋 英策	奥村 武博	池田 光一	一双 貞行	太田 信吾
	作本 彰	谷口 栄一	中川 正好	新田 辰巳	東山 勝美
	前 順二	松本 英二	宮本 晃三	毛利浩太郎	山上 剛史
	山崎 務	向田 誠市	吉江 英一		

競技役員

(順不同・敬称略)

会場別競技役員

	A会場	白山市立野球場
会場長	辻川	克己
総務委員長	鶴来	正美
会場審判長	毛利	浩太郎
会場副審判長	高田	浩幸
全軟連派遣審判委員	菰田	浩 岡安 要 大城 誠 杉本 匠

	B会場	野々市市民野球場
会場長	向田	誠市
総務委員長	田中	雅勝
会場審判長	国雲	正樹
会場副審判長	伊藤	淳
全軟連派遣審判委員	菰田	浩 岡安 要 大城 誠 杉本 匠

	C会場	かほく高松野球場
会場長	中佐	光人
総務委員長	松本	英二
会場審判長	北川	貴博
会場副審判長	山田	雅也
全軟連派遣審判委員	菰田	浩 岡安 要 大城 誠 杉本 匠

	D会場	志賀町野球場
会場長	荒川	仁
副会場長	谷内	正伸
総務委員長	中野	雄太
会場審判長	久能	真人
会場副審判長	道辻	宗敬
全軟連派遣審判委員	菰田	浩 岡安 要 大城 誠 杉本 匠

	E会場	宝達志水野球場
会場長	滝口	一彦
総務委員長	池田	博明
会場審判長	山崎	務
会場副審判長	柳沢	博之
全軟連派遣審判委員	菰田	浩 岡安 要 大城 誠 杉本 匠

	F会場	中能登町野球場
会場長	平野	和成
副会場長	近江	勝之
総務委員長	澤	賢成
会場審判長	田上	徹
会場副審判長	宮崎	敏広
全軟連派遣審判委員	菰田 浩	岡安 要 大城 誠 杉本 匠

	G会場	七尾城山野球場
会場長	寺井	文裕
副会場長	竹端	敏
総務委員長	越中	司
会場審判長	山本	祐司
会場副審判長	中谷	宣章
全軟連派遣審判委員	菰田 浩	岡安 要 大城 誠 杉本 匠

	H会場	珠洲市宮野球場
会場長	前	順二
総務委員長	石田	渉
会場審判長	山上	剛史
会場副審判長	駒田	裕和
全軟連派遣審判委員	菰田 浩	岡安 要 大城 誠 杉本 匠

総 則

1. 趣旨

21世紀の国民スポーツの推進を図るにあたっては、国民の一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受することを通して、スポーツが主体的に望ましい社会の実現に貢献するという「スポーツ立国の実現」を目指していくことが重要である。

本大会は、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典であり、参加者がフェアプレー精神に基づきお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、スポーツのより一層の推進を図り、併せて生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 石川県 公益財団法人石川県スポーツ協会

※各競技会については実施中央競技団体及び会場地市町が主催として加わる。

3. 主管

石川県実施競技団体

4. 実施競技

水泳 サッカー テニス バレーボール バスケットボール 自転車競技 ソフトテニス 軟式野球
ソフトボール バドミントン 空手道 ボウリング ゴルフ (13競技)

5. 期日

令和8（2026）年9月19日(土)～9月22日（火・休） 4日間

※水泳競技は8月29日(土)～30日(日)、空手道競技は9月12日(土)～14日(月)、ゴルフ競技は9月28日(月)～30日(水)

6. 会場地

金沢市、七尾市、小松市、珠洲市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町（9市4町、29会場）

7. 参加者

(1)大会の参加者は、監督及び選手、並びに大会役員、競技会役員、競技役員、運営係員とする。

(2)参加者は、日本在住者とし、参加資格、所属都道府県及び年齢制限は次のとおりとする。

①参加資格

ア 各競技の監督及び選手は、所属都道府県の当該競技団体会長が、代表と認め選抜した者であること。

イ 監督、選手の兼任は、同一競技内に限る。

ウ 前記の他、選手については次の通りとする。

Ⅰ. 参加選手は1人1競技とする。

Ⅱ. 予選を行う必要のある競技は、都道府県予選、ブロック予選に参加し、これを通過した者。

Ⅲ. 当該年の国民スポーツ大会（実施中央競技団体が定める場合を除き都道府県予選会・ブロック大会を除くとともに、冬季大会は除く）に選手として参加しない者、または参加しなかった者。

エ 監督は、日本スポーツ協会が別に定める「公認スポーツ指導者制度」に基づく、当該競技団体が定める公認資格を有する者とする。

②所属都道府県

所属都道府県は、実施中央競技団体が限定する場合を除き、次の２ヶ所のいずれかを選択することができる。

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

なお、いずれの場合も本人が参加申込書又は手続きに必要な情報を当該都道府県競技団体へ提出した時点を基準とし、提出後に他の都道府県に転居等で移動した場合であっても当該年においては移動前の都道府県に所属するものとする。

③選手の年齢制限

ア 原則として、35歳以上とし、競技ごとに別に定める。

イ 年齢の計算は、原則として令和８（2026）年４月１日を基準とし、競技ごとに別に定める。年齢を区分する種目への参加選手の基準も同様とする。

(3)参加者は、以下の参加上の注意を遵守すること。

- ①参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- ②参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- ③参加者は、マイナ保険証又は健康保険資格確認書を持参すること。
- ④緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- ⑤薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携行すること。

(4)その他

- ①大会には、日韓スポーツ交流の韓国選手団が参加する。
- ②参加資格等に疑義が生じたときは、日本スポーツ協会及び当該中央競技団体が調査の上処分の必要性が認められる場合は別途定める「参加資格違反に関する処分基準」に基づき日本スポーツ協会において審議・処遇を決定する。
- ③各競技会における監督等スタッフ専任者の配置については、当該中央競技団体が定める競技規則等に基づき、それぞれ競技別実施要項で定めるものとする。
- ④参加者の個人情報、別に定める「日本スポーツマスターズ参加者プライバシーポリシー」に基づき取り扱うものとする。
- ⑤参加者は、大会中の映像・写真等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権と肖像権に関連し、以下の内容を許諾するものとする。
 - ・主催者または主催者が認めた報道機関等により撮影された写真や動画が、大会（次回以降を含む）の広報活動のためにホームページ、SNS、広報誌、報告書等に使用されること。
 - ・主催者に認められた写真撮影業者によって撮影された写真が、大会参加チーム・関係者を対象に販売されること。

8. 参加申込方法

- (1)各都道府県又はブロックにおいて選抜された者を、都道府県競技団体会長が中央競技団体を通じて、日本スポーツ協会会長宛てに申込むものとする。
- (2)参加申込は、定められた期限までに所定の様式・方法により日本スポーツ協会宛てに行う。
- (3)参加者は、参加申込に先立って、日本スポーツ協会オンライン総合ポータルサイト「MyJSPO」のアカウントを作成するとともに、「MyJSPO」において、プライバシーポリシー等に同意すること。
- (4)参加申込後に交代する場合は、速やかに各大会の競技別実施要項所定の様式・方法にて届け出なければならない。
なお、監督の交代や棄権となった場合の当該都道府県の選手・チームの出場可否については、当該中央競技団体が定める競技規則等や競技別実施要項に基づき、当該中央競技団体の判断により決定するものとする。
- (5)エントリーリスト・組合せは競技ごとの抽選会后、日本スポーツ協会もしくは実施中央競技団体のホームページにて掲載する。

9. 参加料

- (1)参加料は、各都道府県競技団体が取りまとめの上、実施中央競技団体を通じて定められた期限までに日本スポーツ協会に納入する。
- (2)参加料の額は、選手、監督等スタッフ専任者1人8,000円とする。
なお、商業施設使用競技については、別途、施設負担金を徴収する（額は競技ごとに日本スポーツ協会が別に定める）。
- (3)納入後の参加料は返金しない。
- (4)地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

10. 表彰

- (1)各競技の各種別、種目などの第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品を授与する。
- (2)原則として、各競技の各種別、種目などの第1位から第8位までの者に、それぞれ賞状を授与する。
- (3)前号については、各競技の各種別、種目などの特性に応じて、実施中央競技団体が日本スポーツ協会と調整の上、別に基準を定めることができるものとする。

11. 宿泊及び交通

- (1)参加者（監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員）の宿舎、交通の手配は、原則として日本スポーツ協会が指定する旅行会社に依頼することとする。
- (2)詳細については、別に定める「宿泊・輸送に関する基本要領」に基づき行う。

12. 大会参加章の交付

日本スポーツ協会は、参加者の大会参加意識の啓発及び国民のスポーツ活動を一層推進するため、大会参加章を作成し、参加者（監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員）及び日本スポーツ協会が特に認めた者に交付する。

13. その他

- (1)定められた期限までに参加申込が行われない場合、または、参加料が納入されない場合は、理由のいかんを問わず、本大会への参加を認めない。
- (2)日韓スポーツ交流で参加する韓国選手団の参加資格、申込方法等については、別途定める。
- (3)その他の事項については、日本スポーツマスターズ開催基準要項による。

実施要項

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 石川県 公益財団法人石川県スポーツ協会
公益財団法人全日本軟式野球連盟 七尾市 珠洲市 かほく市 白山市 野々市市
志賀町 宝達志水町 中能登町

2. 主 管 石川県野球協会

3. 期 日 令和8年9月19日(土)から21日(月)まで(3日間)

種 別	9月19日(土)	9月20日(日)	9月21日(月)
男 子	1 回戦	2 回戦・準々決勝	準決勝・決勝

4. 会 場

七尾城山野球場	〒926-0027 石川県七尾市後畠町ホ1-1
珠洲市営野球場	〒927-1204 石川県珠洲市蛸島町1-4
かほく市高松野球場	〒929-1214 石川県かほく市内高松オ1
白山市立野球場	〒924-0064 石川県白山市黒瀬町785
野々市市民野球場	〒921-8831 石川県野々市市下林3丁目97
志賀町野球場	〒925-0165 石川県羽咋郡志賀町上野16-18-1
宝達志水野球場	〒929-1424 石川県羽咋郡宝達志水町吉野屋ヲ56156番地
中能登町運動公園野球場	〒929-1725 石川県鹿島郡中能登町東馬場レ

5. 参加人員

種別	監督	責任者・マネージャー・スコアラー	選 手	参加都道府県	合 計
男子	1 名	各 1 名	15～20名	31チーム	744名
韓国男子	1 名	各 1 名	15名	1 チーム	19名
合計				32チーム	763名

*監督・マネージャー・スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。

6. 競技上の規程及び方法

(1)競技規程

2026年度公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。

なお、大会規程は全日本軟式野球連盟規程細則による。

(2)試合方法

①試合は7回戦とする。また指名打者制を採用する。(公認野球規則5.11)

②トーナメント方式による。但し、3位決定戦は行わない。

(3)コールドゲーム

得点差によるコールドゲームは採用しない。

(4)タイブレーク方式（特別延長戦）

①規定のイニングを完了して同点の場合、8回よりタイブレークとする。

②試合開始後、2時間30分を経過した場合、次のイニングよりタイブレークとする。

(5)大会使用球

全日本軟式野球連盟公認球（M号）を使用する。

7. チームの選出方法

(1)各都道府県軟式野球連盟において、各都道府県ブロック代表チームを予選もしくは選考会で決定する。

(2)ブロック予選会区分及び代表チーム数

北海道2、東北3、関東5、北信越3、東海2、近畿3、中国3、四国2、九州5、開催県3

8. 参加資格、所属都道府県及び年齢基準

(1)日本在住者で、令和8（2026）年4月1日現在で満40歳以上の者。

(2)参加者は同一都道府県に居住、または勤務する者で編成されたチームとする。

(3)参加チームは、令和8年度各都道府県軟式野球連盟の推薦したチームとする。

(4)参加する選手は、本大会及び末端支部大会、都道府県大会、ブロック大会に出場するために、所属チーム以外のチームから出場することができる。但し、ブロック大会に出場したチームは、メンバーを変更して本大会に出場することはできない。

(5)第80回国民スポーツ大会軟式野球競技会に監督及び選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2026軟式野球競技会に監督及び選手として参加することはできない。

(6)本大会に参加する監督若しくはコーチのうち最低1名は下記のいずれかの資格を有すること。

①日本スポーツ協会公認コーチ3

②日本スポーツ協会公認コーチ1

9. 表彰

(1)第1位から第3位までのチーム構成員（監督等含む）に、記念品を授与する。

(2)第1位から第3位までのチームに、賞状を授与する。

10. 参加料

1人8,000円（監督・責任者・マネージャー・スコアラー専任者を除く）

*納入後の参加料は返金しない。

*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

11. 参加申込方法

(1)参加者は、参加申込に先立って、日本スポーツ協会オンライン総合ポータルサイト「MyJSPO」のアカウントを作成するとともに、「MyJSPO」において、プライバシーポリシー等に同意すること。

(2)出場資格を得たチームは、全日本軟式野球連盟のHPより所定の参加申込書等をダウンロードして、「参加申込書」「JSPO提出用フォーム」に必要事項を入力の上、所属都道府県（軟式）野球連盟（協会）宛に原則データ様式にて申込む。

(3)各都道府県（軟式）野球連盟（協会）は、提出された参加申込書等を確認後、令和8（2026）年8月6日(木)までに、全日本軟式野球連盟宛に提出すること。

・全日本軟式野球連盟宛：E-Mailでの提出とする。

- (4)「参加申込書」には責任者・監督・マネージャー・スコアラー・主将・以下その他の選手は、背番号の若い方から入力すること。また「JSPO 提出用フォーム」には、「参加申込書」に入力した全てのチーム構成員〔MyJSPO No. (数字9桁)を含む〕を入力すること。なお、参加料は都道府県軟式野球連盟が取りまとめて、参加申込と同時に全日本軟式野球連盟に納入すること。
- (5)開催地競技団体の石川県軟式野球連盟へは、全日本軟式野球連盟より提出された全チームの参加申込書類を送付する。

12. 参加上の注意

- (1)参加申込書提出後は、選手の追加・変更及び背番号の変更は一切認めない。
- (2)背番号は0～99番までとする。ただし、主将は10番、監督は30番、コーチは28番、29番とする。
- (3)競技に際しては、所属都道府県名を左上腕部に明記したユニフォームを着用しなければならない。
- (4)木製バット以外は、全日本軟式野球連盟公認のバットであること。
- (5)捕手は危険防止のため、全日本軟式野球連盟公認のヘルメット、マスク、プロテクター、レガーズを必ず着用すること。
- (6)打者、走者、次打者及びベースコーチは、必ず競技者必携に記載のヘルメットを着用すること。
- (7)試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手は、ファウルカップを着用すること。
- (8)監督会議には、出場チームの監督又は主将の1名が必ず、ユニフォームを着用し、「2026年度競技者必携」を持参の上出席すること。出席しない場合は原則として棄権したものとみなす。
- (9)参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (10)事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (11)大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (12)参加者は、マイナ保険証（又は資格確認書）を持参すること。
- (13)緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (14)薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携行すること。

13. 宿泊・交通申込について

宿泊及び会場までの移動については、原則として日本スポーツ協会が作成・共有する宿泊・交通案内に従い手配すること。

14. その他

(1)組合せ抽選会

全日本軟式野球連盟役員並びに石川県軟式野球連盟役員立会いの上、代理抽選を行う。

日 時／令和8（2026）年8月17日(金) 15：00

会 場／公益財団法人全日本軟式野球連盟 会議室

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-27-7 軟式野球会館 TEL：03-3404-8831

(2)監督会議

日 時／令和8（2026）年9月18日(金) 14：00

会 場／グランドホテル白山 会議室

〒924-0871 白山市西新町152-7 TEL：050-1807-4177

大会式典

監督会議

日時 令和8年9月18日(金)14:00
会場 グランドホテル白山 会議室
〒924-0871 石川県白山市西新町152-7

表彰式次第

日時 令和8年9月21日(月)決勝戦終了後
会場 白山市立野球場
〒924-0064 石川県白山市黒瀬町785

来賓・役員・関係者整列

選手団整列

1. 開式通告
2. 成績発表
3. 表彰
4. あいさつ
5. 国旗大会旗・県旗・市旗・全軟旗降納
6. 閉会宣言
7. 選手ダイヤモンド一周
8. 閉式通告

選手団退場

来賓・役員・関係者 退場

競技日程

会 期：令和8年9月19日(土)～21日(月)

監督会議：令和8年9月18日(金)14:00 グランドホテル白山 会議室

会場：

A	白山市立野球場	〒924-0064	石川県白山市黒瀬町785番地
B	野々市市民野球場	〒921-8831	石川県野々市市下林3-97
C	かほく高松野球場	〒929-1214	石川県かほく市内高松オ1
D	志賀町野球場	〒925-0165	石川県志賀町上野16の18番地 1
E	宝達志水野球場	〒929-1424	石川県宝達志水町吉野屋ヲ156
F	中能登町野球場	〒929-1725	石川県中能登町東馬場そ部11
G	七尾城山野球場	〒926-0027	石川県七尾市後島町ホ1-1
H	珠洲市営野球場	〒927-1204	石川県珠洲市蛸島町鉢ヶ崎1-4

競技第1日（9月19日(土)）一回戦

	第 1 試合	第 2 試合
A 会場	9 : 00	11 : 00
B 会場	9 : 00	11 : 00
C 会場	9 : 00	11 : 00
D 会場	10 : 00	12 : 00
E 会場	10 : 00	12 : 00
F 会場	10 : 00	12 : 00
G 会場	10 : 00	12 : 00
H 会場	12 : 00	14 : 00

競技第2日（9月20日(日)）二回戦・準々決勝

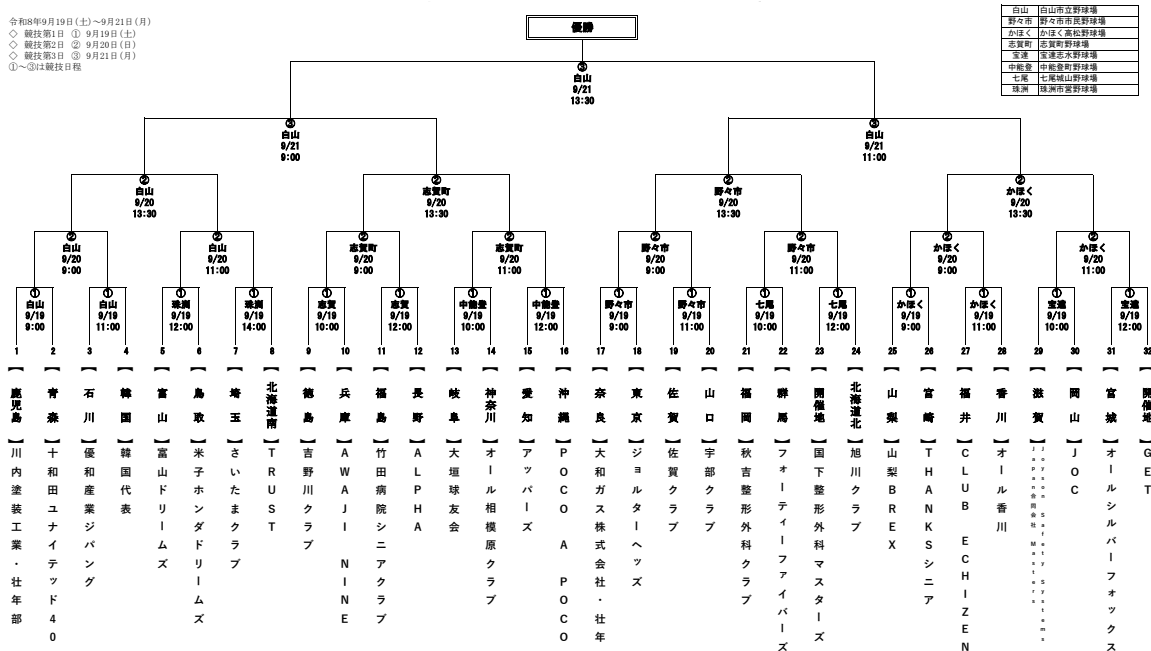
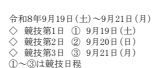
	第 1 試合	第 2 試合	第 3 試合
A 会場	9 : 00	11 : 00	13 : 30
B 会場	9 : 00	11 : 00	13 : 30
C 会場	9 : 00	11 : 00	13 : 30
D 会場	9 : 00	11 : 00	13 : 30

競技第3日（9月21日(月)）準決勝・決勝

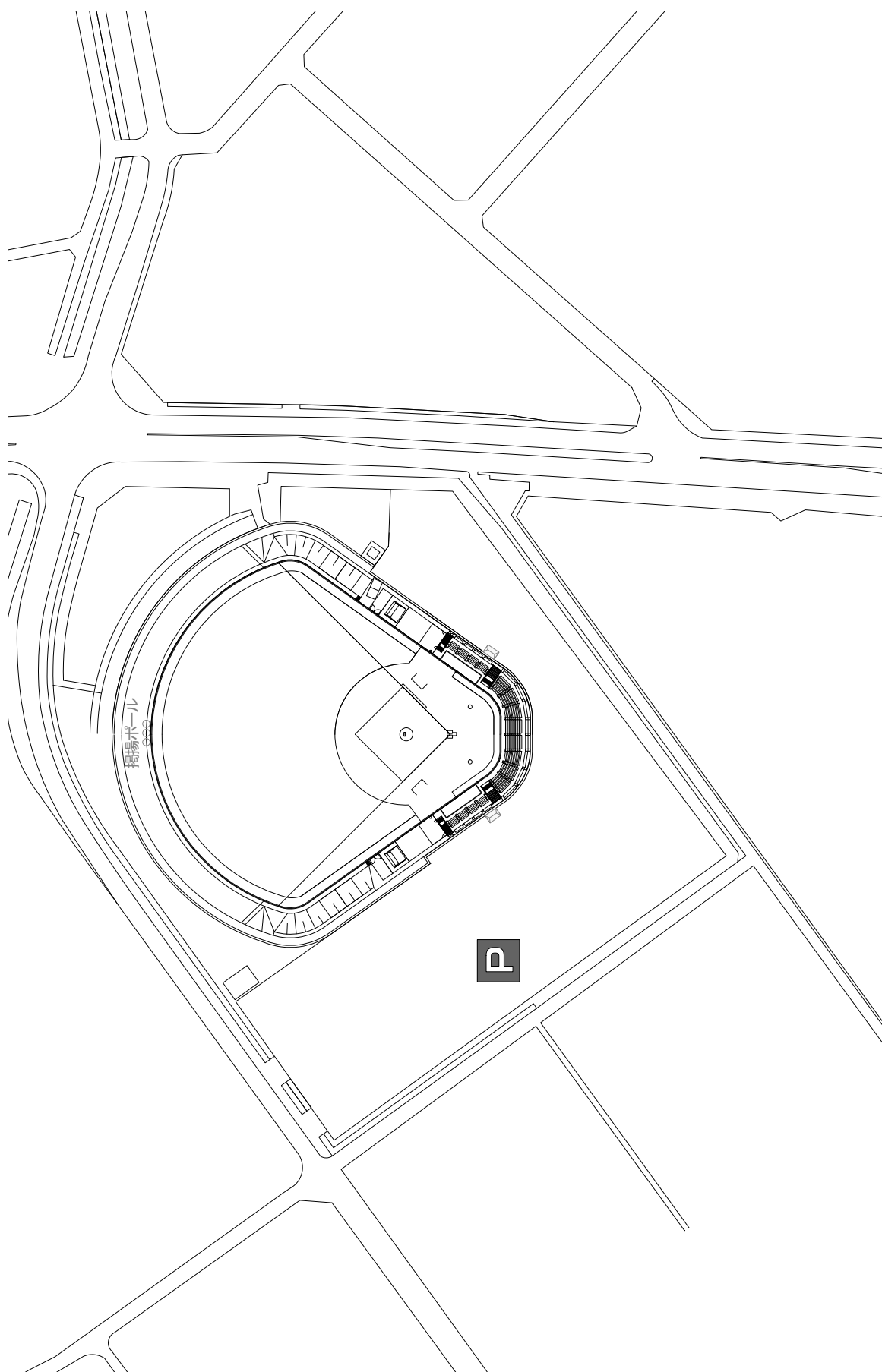
	第 1 試合 (準決勝)	第 2 試合 (準決勝)	第 3 試合 (決勝)
A 会場	9 : 00	11 : 00	13 : 30

表彰式：9月21日(月)試合終了後

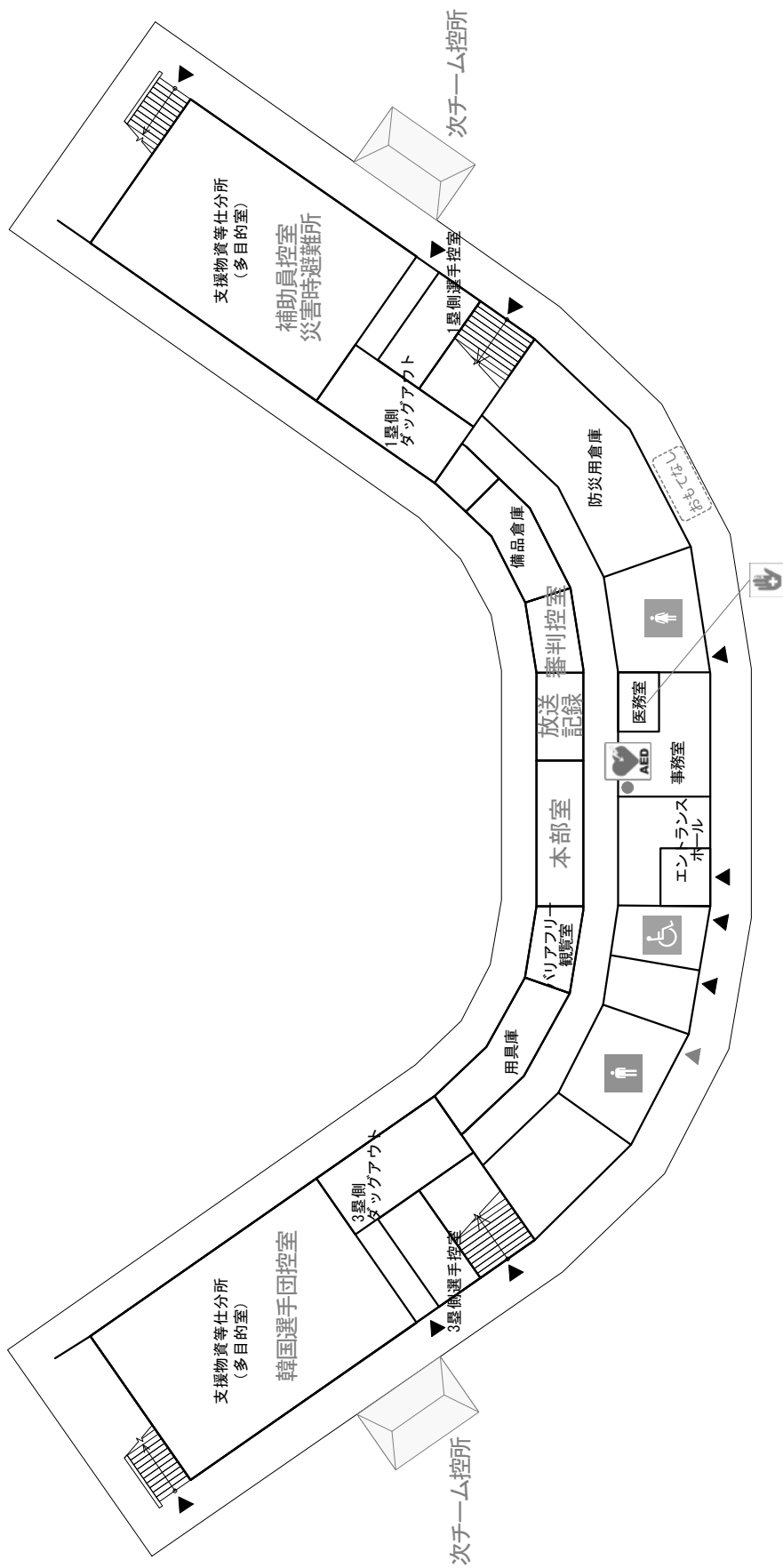
※準決勝各試合終了後、3位表彰、決勝戦終了後、表彰式を実施。



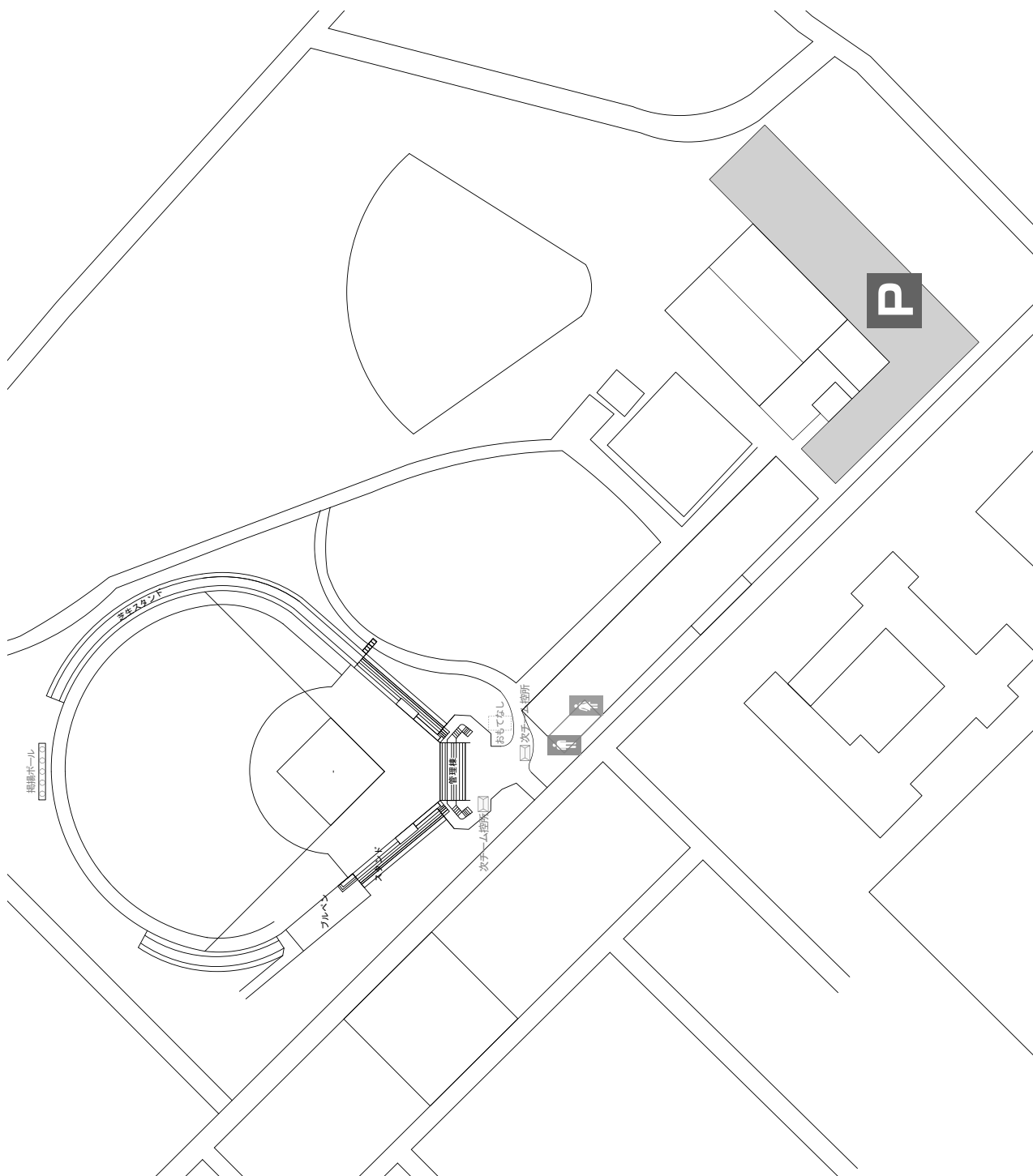
白山市立野球場（周辺図・会場図）平面図



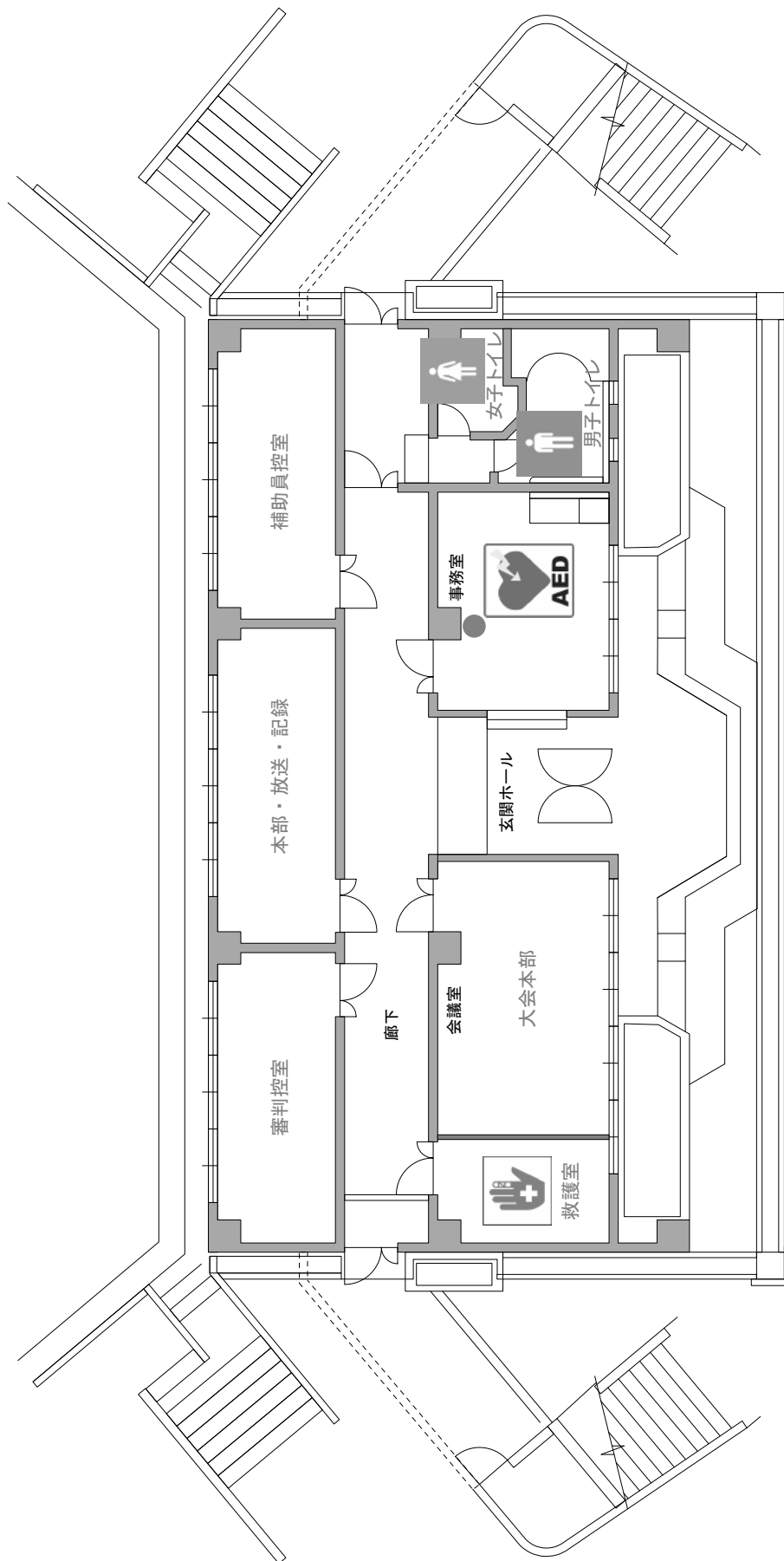
白山市立野球場管理棟平面図



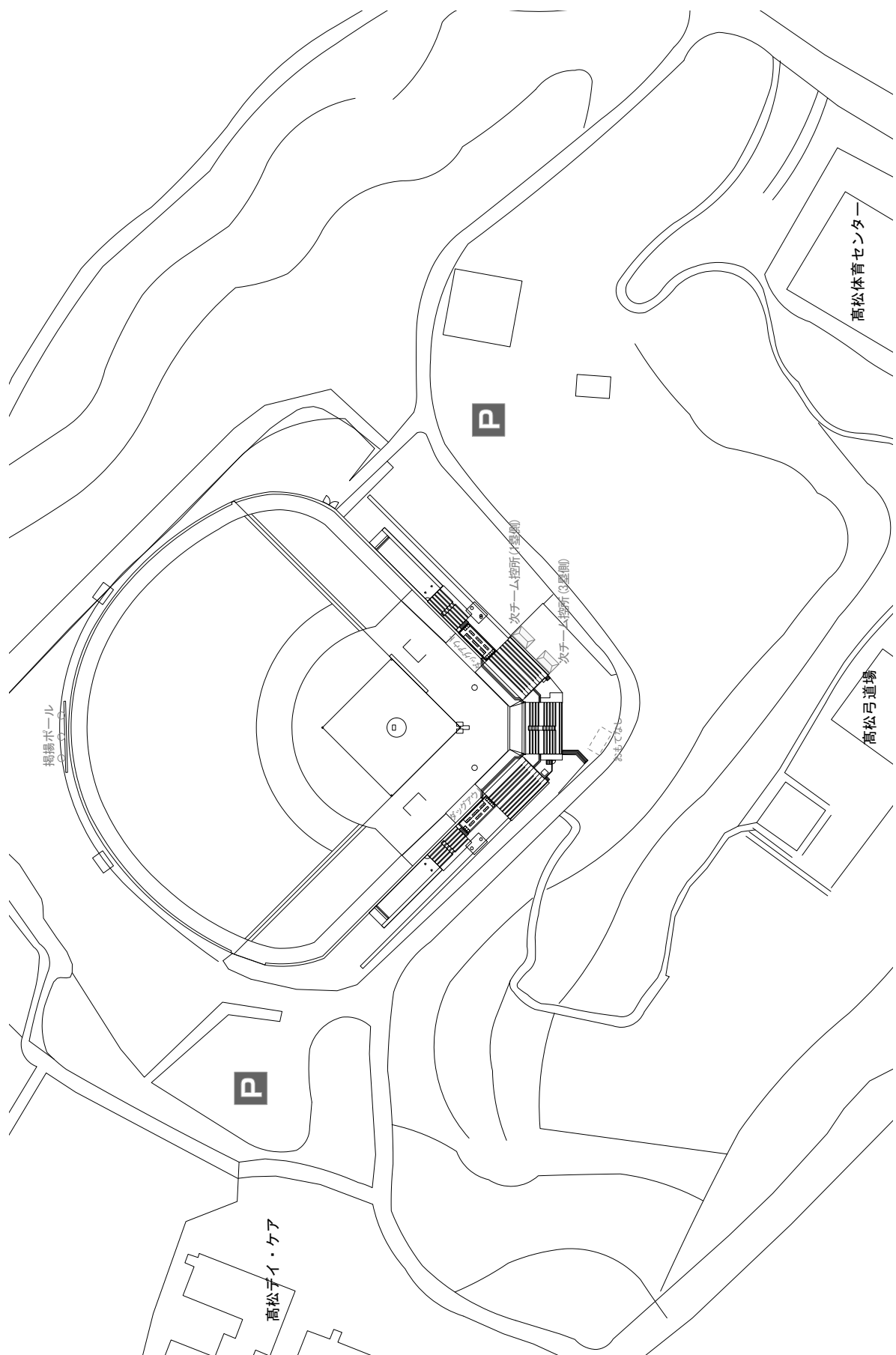
野々市市民野球場（周辺図・会場図）平面図



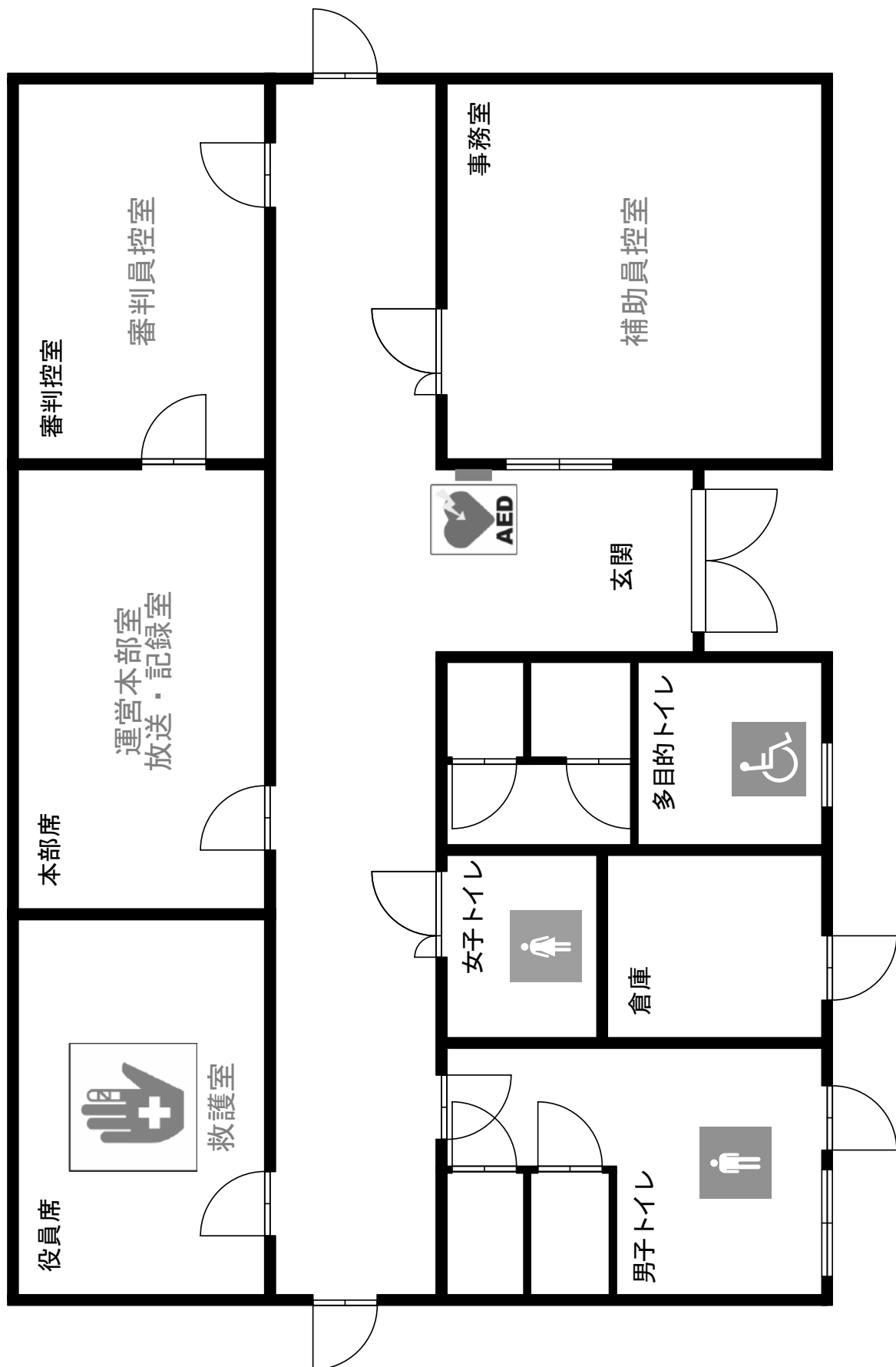
野々市市民野球場管理棟平面図



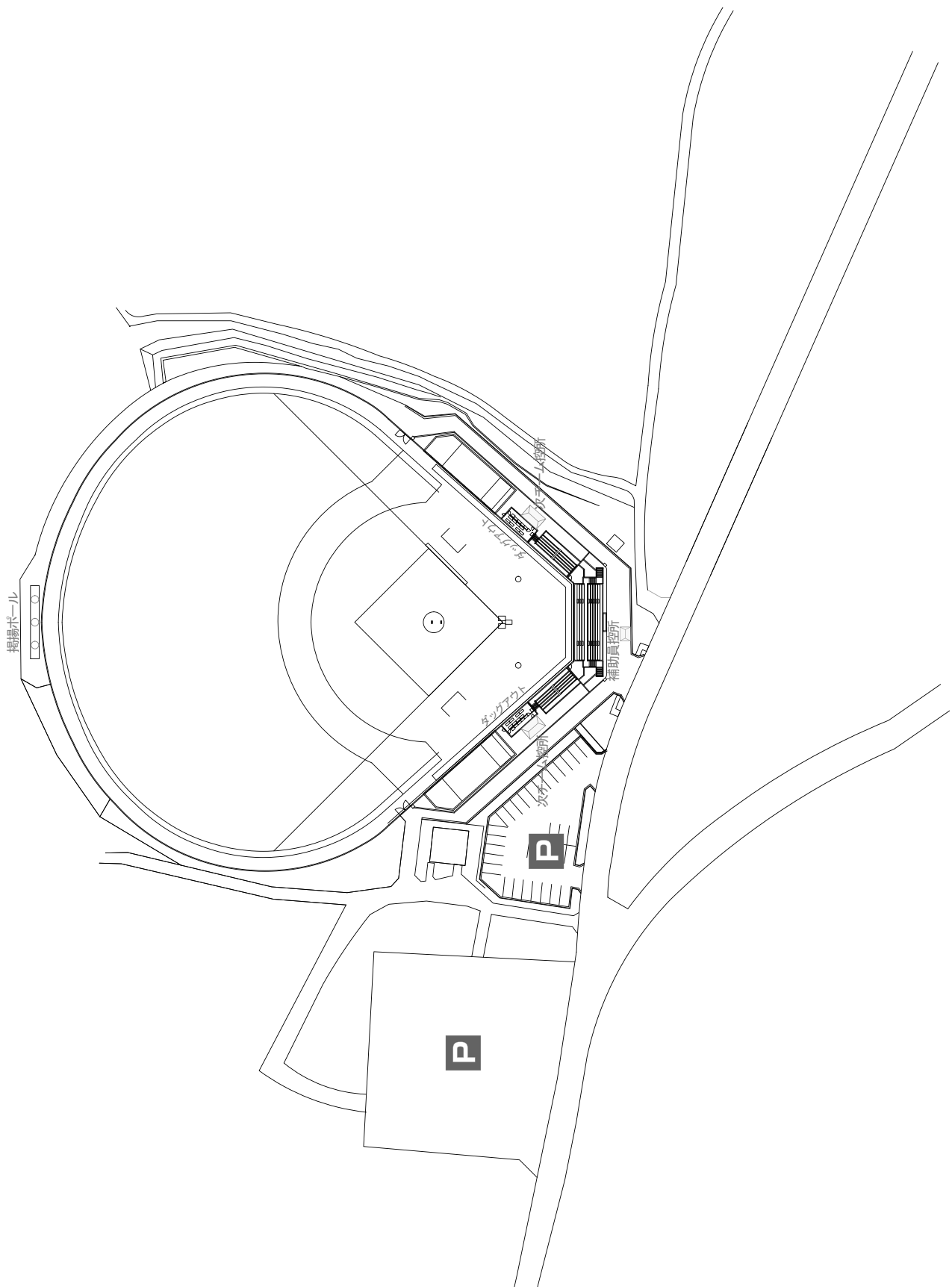
かほく市高松野球場（周辺図・会場図）平面図



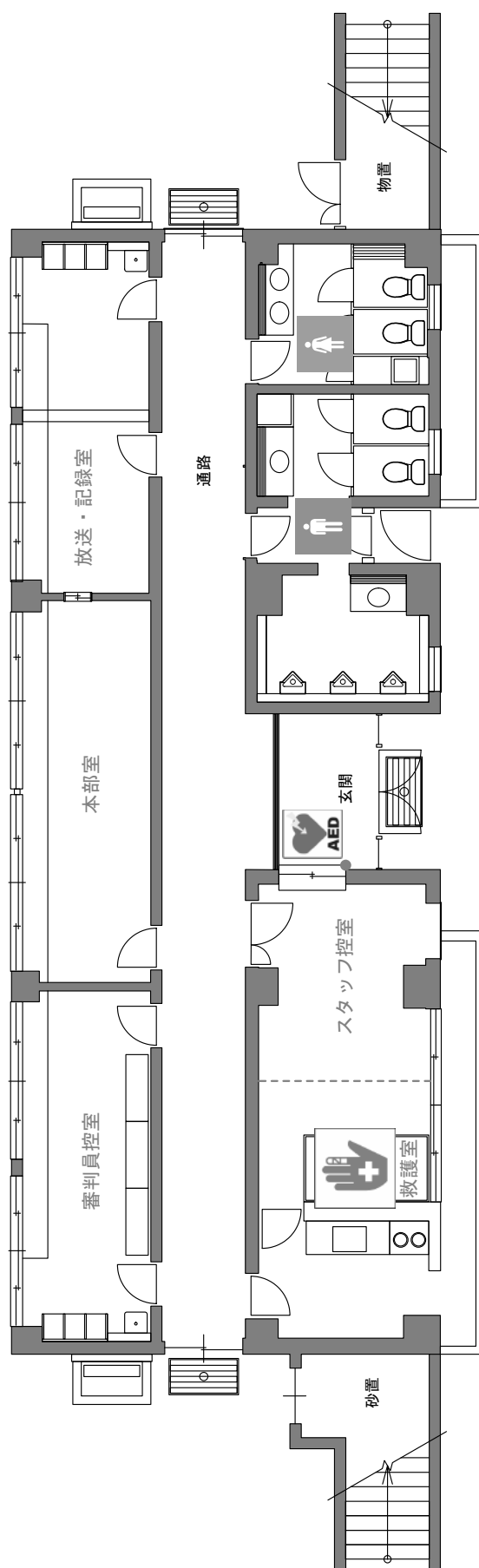
かほく市高松野球場管理棟平面図



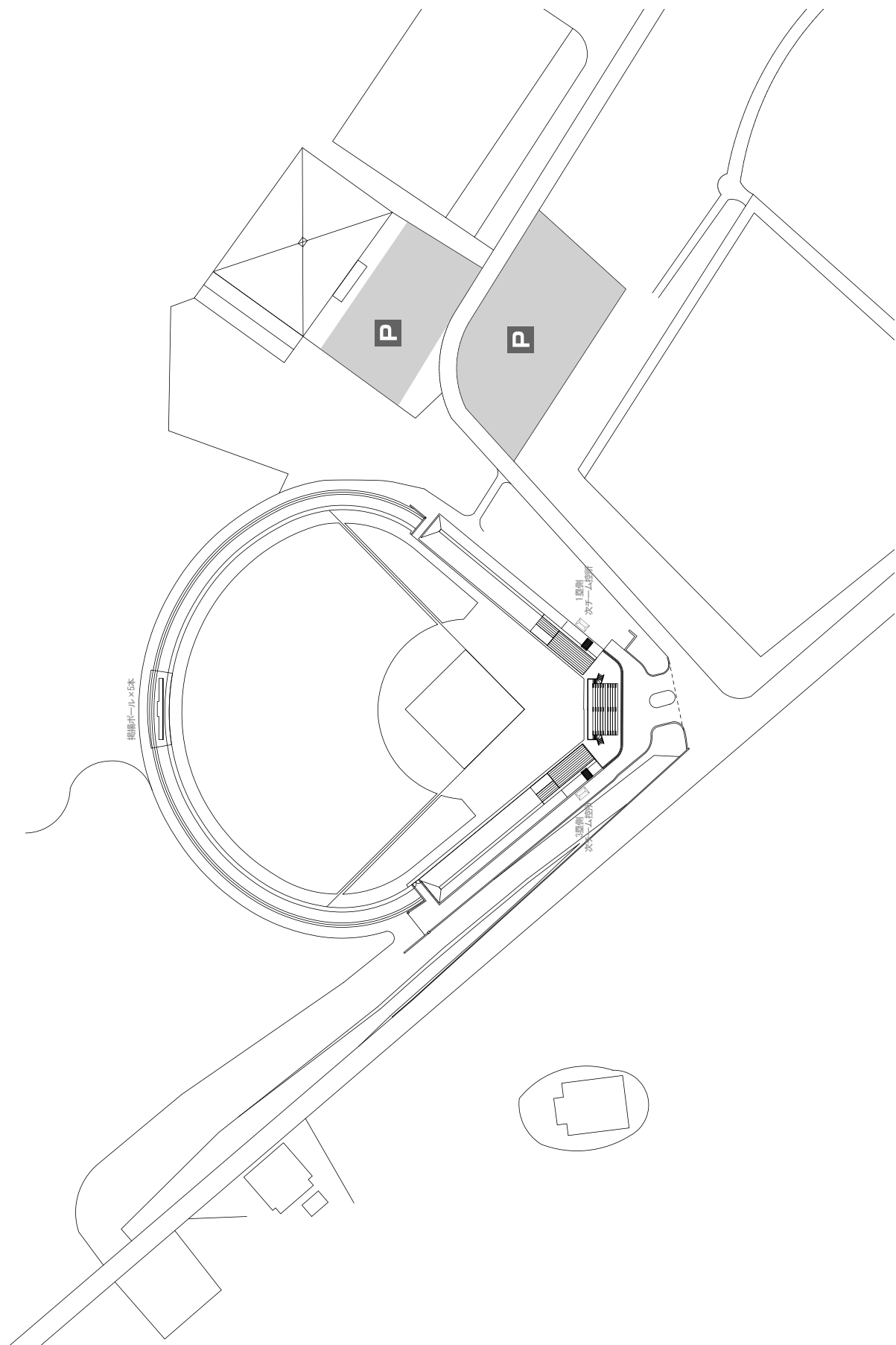
志賀町野球場（周辺図・会場図） 平面図



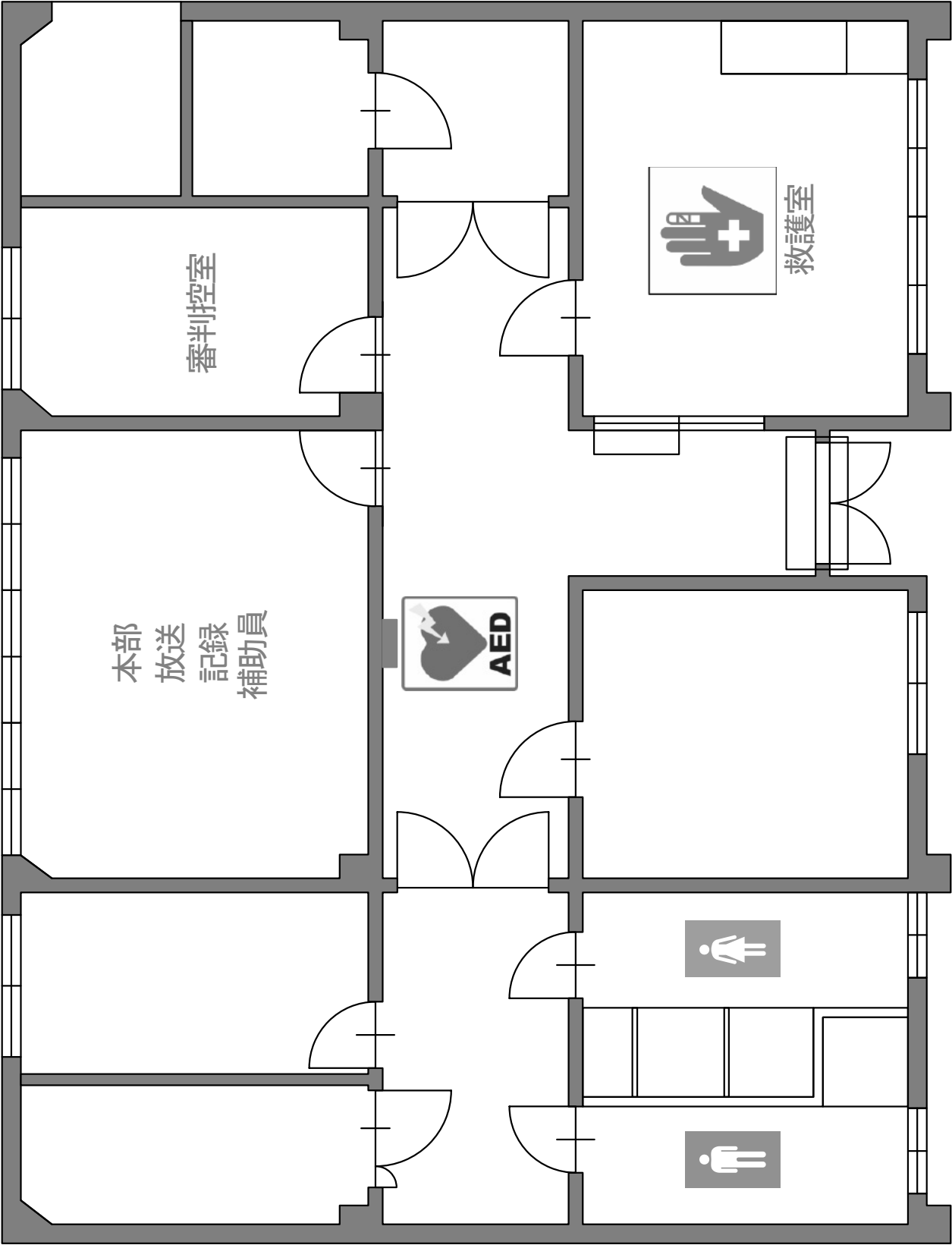
志賀町野球場管理棟平面図



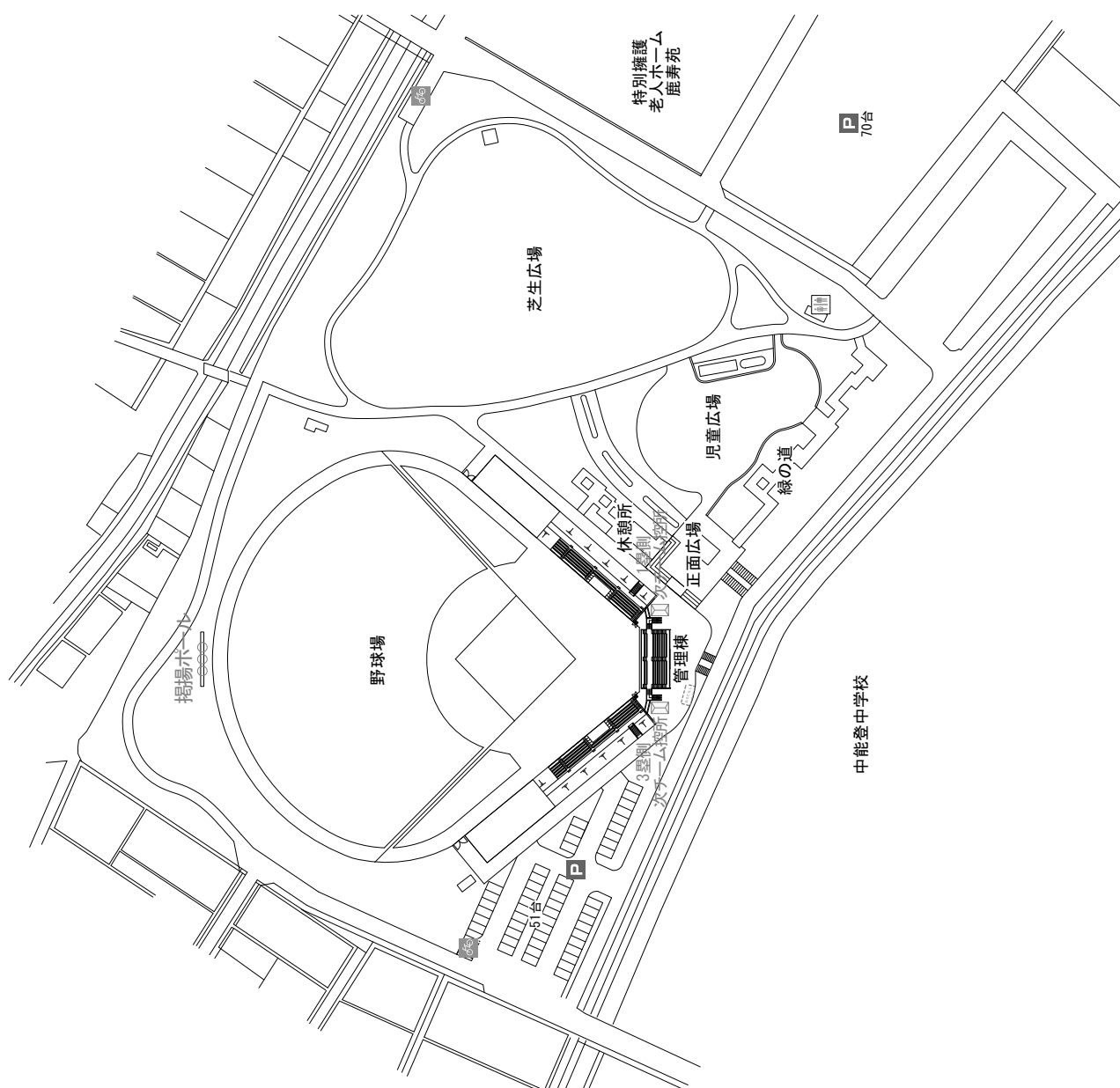
宝達志水野球場（周辺図・会場図）平面図



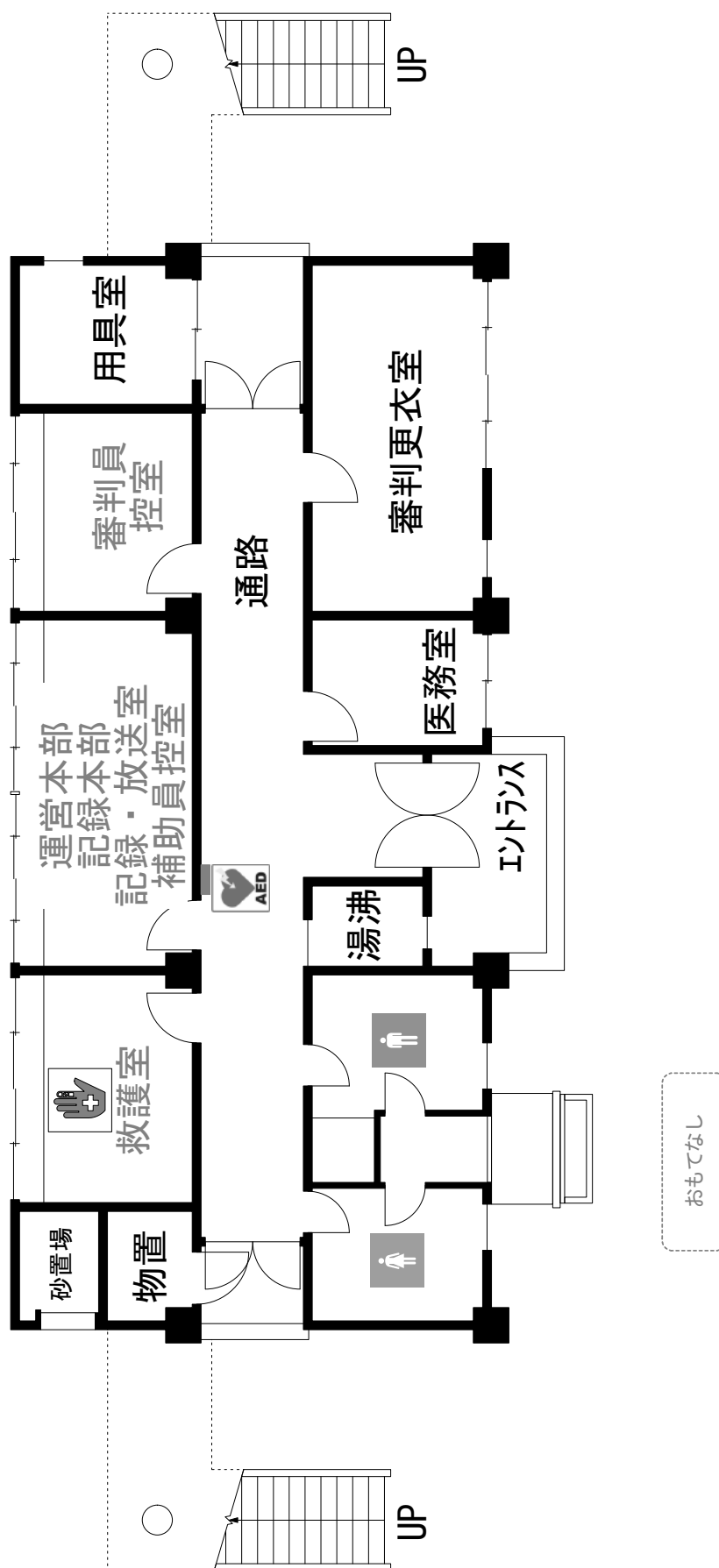
宝達志水野球場管理棟平面図



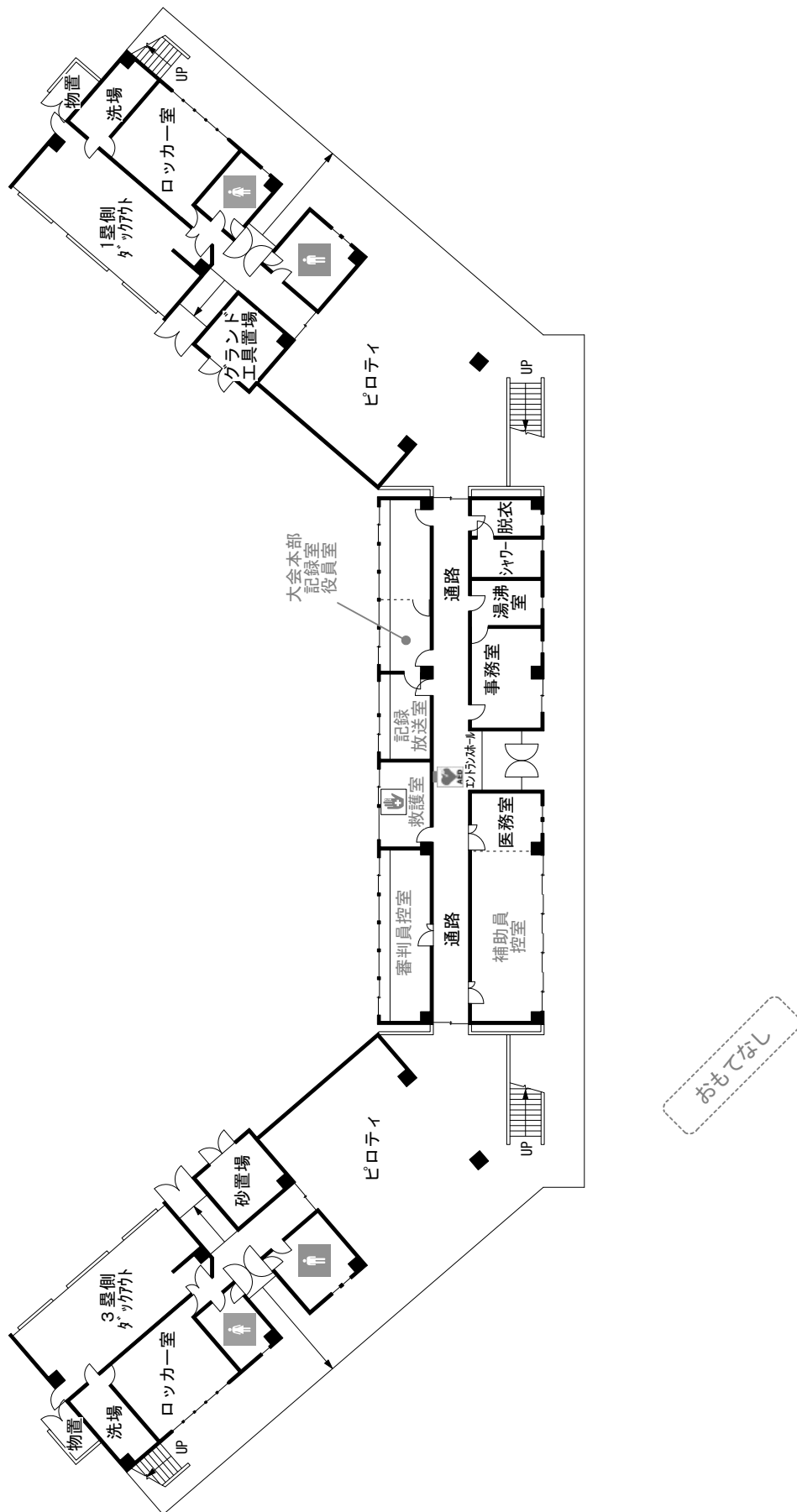
中能登町運動公園野球場（周辺図・会場図） 平面図



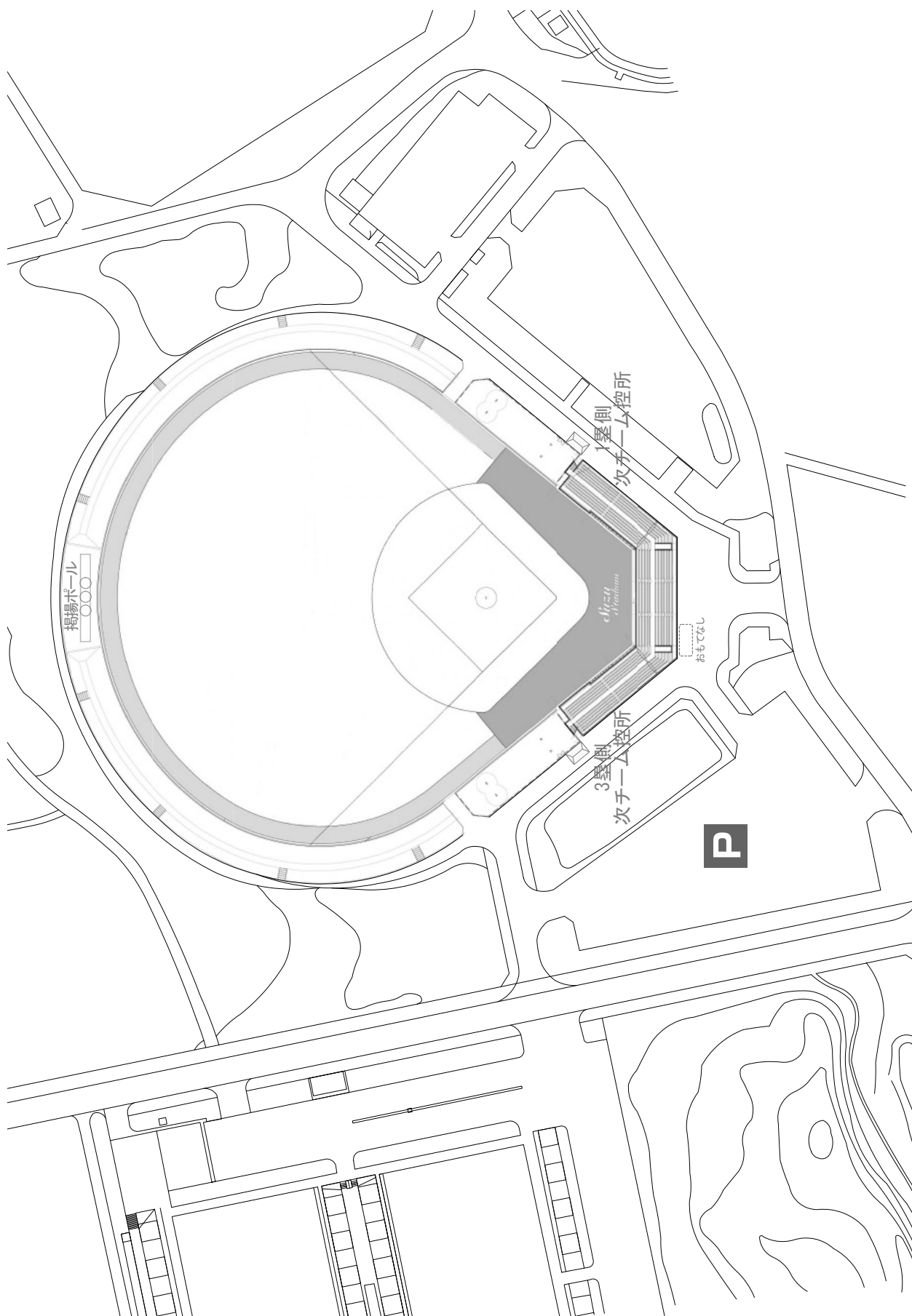
中能登町運動公園野球場管理棟 1 F 平面図



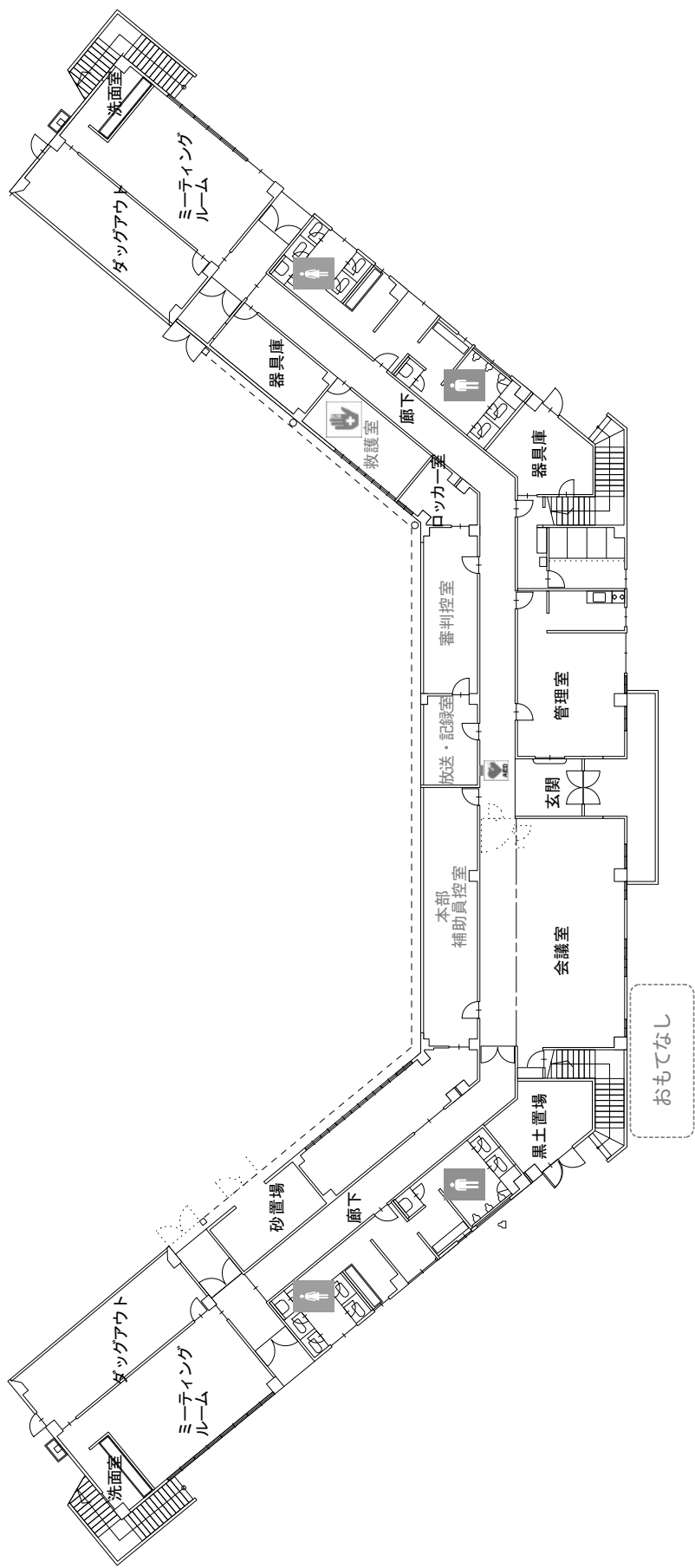
七尾城山野球場管理棟平面図



珠洲市営野球場（周辺図・会場図） 平面図



珠洲市営野球場管理棟平面図



参加チーム紹介

TRUST				旭川クラブ					
南北海道		北海道		旭川クラブ		旭川クラブ			
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢	背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	高山 尚也 (タカヤマ ナオヤ)		43	30	監督	高井 三雄 (タカイ ミツオ)		78
10	主将／内野手	澤田 卓 (サワタ ダスグル)		43	10	マネージャー	小路 美歩 (シヨウジ ミホ)		47
1	内野手	阿部 一博 (アベ カズヒロ)	コーチ 1	41	0	主将／捕手	片桐 康太 (カタギリ コウタ)		44
5	捕手	小林 広典 (コバヤシ ヒロノリ)		42	1	外野手	奥野 雅弘 (オクノ マサヒロ)		43
8	内野手	松井 直諒 (マツイ ナオアキ)		43	4	内野手	矢坂 智之 (ヤサカ トモユキ)		44
13	投手	澤田 真一 (サワタ シンイチ)		45	6	内野手	村田 一也 (ムラタ カズヤ)		42
18	投手	中塚 紘章 (ナカツカ ヒロアキ)		40	8	内野手	小笠原和真 (オガサワラ カズマ)		46
19	投手	西埜 良信 (ニシノ ヨシノブ)		43	19	外野手	三上 宏輝 (ミカミ ヒロキ)		43
23	投手	大橋 健治 (オオハシ ケンジ)		45	21	投手	平野 尚人 (ヒラノ ナオト)		44
24	内野手	泉 真吾 (イズミ シンゴ)		42	23	内野手	佐藤 智寛 (サトウ トモヒロ)		46
26	外野手	大西 健嗣 (オオニシ ケンジ)		43	24	外野手	松山 隼輔 (マツヤマ ジュンスケ)		43
33	捕手	上條 康平 (カミジョウ コウヘイ)		40	27	投手	斎田 幸宏 (サイダ ユキヒロ)		44
34	投手	山田 祐一 (ヤマダ ユウイチ)		40	31	捕手	瀬戸 健吾 (セト ケンゴ)		47
51	内野手	相良 翔兵 (サガラ ショウヘイ)		40	33	内野手	川崎 亮 (カワサキ リョウ)		47
59	外野手	岩原 健二 (イワハラ ケンジ)		42	42	外野手	齋藤 肇 (サイトウ ハジメ)	コーチ 1	59
64	捕手	菊池 竜司 (キクチ リュウジ)		42	64	投手	武田 義樹 (タケダ ヨシキ)		47
72	内野手	木村 陽彦 (キムラ ハルヒロ)		43	92	内野手	小路 和孝 (シヨウジ カズタカ)		44
77	外野手	古田 智也 (フルタ トモヤ)		43	99	外野手	斎藤 邦彦 (サイトウ クニヒロ)		44
99	内野手	浜口 貴之 (ハマグチ タカユキ)		42		外野手	青木 拓也 (アオキ タクヤ)		47
備 考				備 考					

青森県

十和田ユナイテッド40

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
	責任者 (部長)	竹ヶ原直大 (タケガハラ ナオヒロ)		46
30	監督	洞内 琢馬 (ホラナイ タクマ)	コーチ 3	48
10	主将/内野手	杉本 有佑 (スギモト ユウスケ)		43
3	外野手	奥山 道明 (オクヤマ ミチアキ)		41
7	捕手	下浅 晋一 (シモアサ シンイチ)		40
11	投手	竹内 宏之 (タケウチ ヒロシ)		43
16	投手	柴山 勝俊 (シバヤマ カツトシ)		46
23	内野手	竹ヶ原直大 (タケガハラ ナオヒロ)		46
24	外野手	中野 幸毅 (ナカノ コウキ)		41
25	投手	新山 和宏 (ニイヤマ カズヒロ)	コーチ 1	40
29	内野手	林 翔太 (ハヤシ ショウタ)		44
31	外野手	長沢 晋平 (ナガサワ シンペイ)		43
33	内野手	蛭名 寿樹 (エビナ トシキ)		42
44	内野手	宮内 祥伸 (ミヤウチ ヨシノブ)		46
47	投手	高田 英治 (タカダ エイジ)		46
58	捕手	柏葉 優一 (カシワバ ユウイチ)		43
99	捕手	菅野 憲 (スガノ アキラ)		49

備考

宮城県

オールシルバーフォックス

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	澤内 明 (サウウチ アキラ)		52
	マネージャー	相原 奈々 (アイハラ ナナ)		39
10	主将/投手	平塚 匡章 (ヒラツカ タダアキ)	コーチ 1	52
1	内野手	武田 卓也 (タケダ タクヤ)		43
2	内野手	齋藤 樹 (サイトウ ツツキ)		44
3	内野手	宮本 和也 (ミヤモト カズヤ)		52
5	内野手	佐藤 晋也 (サトウ シンヤ)		43
8	外野手	高野 敏広 (タカノ トシヒロ)		52
9	内野手	平塚 雅章 (ヒラツカ マサアキ)		48
12	外野手	水井 康太 (ミズイ コウタ)		42
13	捕手	山田 耕也 (ヤマダ コウヤ)		42
14	投手	森 秀幸 (モリ ヒデユキ)		42
15	内野手	菅原 浩 (スガワラ ヒロシ)		43
16	投手	竹下 大智 (タケシタ ダイチ)		41
17	内野手	佐々木義夫 (ササキ ヨシオ)		62
18	投手	後藤 学 (ゴトウ マナブ)		58
20	捕手	土田 巧 (ツチダ タクミ)		40
24	内野手	石塚 幸英 (イシヅカ ユキヒデ)		42
25	外野手	朝倉 英則 (アサクラ ヒデノリ)		43

備考

群馬県

フォートイーファイバース

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長) 監督 マネージャ スコアラ 主将／内野手	丸山 智博 (マルヤマ トモヒロ) 赤坂 隆 (アカサカ タカシ) 鳥川 浩 (トリカワ ヒロシ) 佐藤 良憲 (サトウ ヨシノリ) 倉崎 利仁 (クラサキ トシヒト) 門間 慶好 (モンマ ノブヨシ) 奥野 勝利 (オクノ カツトシ) 豊田 久志 (トヨダ ヒサシ) 高井 政直 (タカイ マサナオ) 斉藤 育幸 (サイトウ ヤスユキ) 平川 将志 (ヒラカワ マサシ) 船津 善昭 (フナツ ヨシアキ) 一場 省吾 (イチバ ショウゴ) 大鷲 友和 (オオワシ トモカズ) 柳 蔵人 (ヤナギ クラト) 鍛冶 英一 (カジ エイチ) 福井 和真 (フクイ カズマ) 八木祐太郎 (ヤギ ユウタロウ) 阿久津拓己 (アクツ タクミ) 館野 祐輔 (タテノ ユウスケ) 中嶋 創史 (ナカジマ ソウシ) 星野 力哉 (ホシノ リキヤ) 茂木 淳 (モギ アツシ) 鈴木 亨 (スズキ トオル)	コーチ 1	53 54 49 48 43 44 47 54 44 54 42 43 50 46 43 43 41 40 44 42 44 44 49 44
備 考				

福島県		竹田病院シニアクラブ			
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年 齢	
30	責任者（部長）	鈴木 信義（スズキ ノブヨシ）	コーチ 3	64	
	監督	斉藤 康（サイトウ コウ）		61	
	マネージャー	奥川 尚樹（オクガワ ナオキ）		58	
10	スコアラ	足利 広行（アシカガ ヒロユキ）		55	
	主将／内野手	猪俣 昌也（イノマタ マサヤ）		48	
		外野手		斉藤 真人（サイトウ マサト）	47
1	投手	長澤 茂充（ナガサワ シゲミツ）		42	
3	外野手	成田 一樹（ナリタ カズキ）		40	
4	内野手	湯田 智博（ユダ トモヒロ）		50	
5	内野手	菊地 淳（キクチ アツシ）		54	
6	内野手	鈴木 壽也（スズキ トシヤ）		51	
7	外野手	秋山 大樹（アキヤマ ダイキ）		40	
8	外野手	黒澤 孝弘（クロサワ タカヒロ）		46	
9	投手	亀岡 匡崇（カメオカ マサタカ）		45	
11	投手	稲生 雅輝（イノウ マサキ）		47	
12	外野手	山口 恵輔（ヤマグチ ケイスケ）		41	
14	内野手	皆川 隆宏（ミナカワ タカヒロ）		55	
15	内野手	佐藤 仁志（サトウ ヒトシ）		45	
16	投手	大橋 隆彦（オオハシ タカヒロ）		45	
21	外野手	岩橋 康紀（イワハシ ヤスノリ）		50	
23	捕手	要 仁（カナメ ヒロシ）		41	
27	内野手	角田 卓（ツノダ スグル）		49	
32	内野手	益子 拓真（マスコ タクマ）		40	
36	投手	渡部 修（ワタナベ オサム）		52	
37					
備考					

東京都				ジョルターヘッズ			
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢			
30	責任者 (部長) 監督 マネージャー	大橋 明義 小関晋太郎	コーチ 1	54			
10	主将／内野手	大久保 哲		53			
1	外野手	樋口 新		54			
2	内野手	矢野 雅人		52			
3	捕手	二見 智章		45			
4	内野手	菊谷 友貴		45			
5	内野手	狩野 剛		50			
6	投手	小鈴木卓也		40			
7	内野手	佐藤 路真		40			
8	外野手	高田 真一		42			
9	外野手	佐藤 琢真		44			
11	投手	佐野 裕二		42			
14	外野手	山重大二郎		50			
15	外野手	鈴木 圭介		47			
17	投手	杉本 充之		51			
19	投手	石田 祐介		51			
21	投手	根岸 泰雅		43			
22	投手	中村 吉樹		51			
25	外野手	太田 一馬		40			
41	外野手	駒野 健太		41			
44	捕手	三辻 由久 久保川竜介		45 49			
備 考							

埼玉県		さいたまクラブ			
背番号	位 置	氏 名		日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督 マネージャー	勝亦 柏原	守 (カツマタ マモル)	コーチ 1	71
10	主将／外野手	境 良太	信彦 (カシワバラ ノブヒコ)		55
0	外野手	増田 文彦	良太 (サカイ リョウタ)		46
1	外野手	坂本 和義	文彦 (マズダ フミヒコ)		44
3	内野手	鹿谷 武司	和義 (サカモト カズヨシ)		52
4	内野手	田牧 由光	武司 (シカタニ タケシ)		46
6	内野手	鈴木 信博	由光 (タマキ ヨシミツ)		52
9	内野手	芦川 晃也	信博 (スズキ ノブヒロ)		52
12	投 手	川合 真司	晃也 (アシカワ テルヤ)		42
13	投 手	河西 卓也	真司 (カワイ シンジ)		49
16	投 手	宮野 哲也	卓也 (カサイ タクヤ)		47
17	投 手	田口 健吾	哲也 (ミヤノ テツヤ)		55
22	捕 手	木幡 育英	健吾 (タグチ ケンゴ)		45
23	捕 手	板倉太一郎	育英 (コバタ イクエイ)		51
24	内野手	川岡 隆	太一郎 (イタクラ タイチロウ)		50
25	外野手	新井 正幸	隆 (カワオカ タカシ)		53
27	外野手	小林 重男	正幸 (アライ マサユキ)		53
37	捕 手	玄海 英称	重男 (コバヤシ シゲオ)		46
39	捕 手	矢野 善之	英称 (ゲンカイ エイショウ)		41
77	外野手	小田島一樹	善之 (ヤノ ヨシユキ)		43
87	投 手	望月 崇仁	一樹 (オダシマ カズキ)		44
			崇仁 (モチヅキ タカヒト)		40
備 考					

山梨県		山梨 BLEX		
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	市川 高人 (イチカワ タカヒト)		56
10	主将／内野手	猪股 秀之 (イノマタ ヒデユキ)		46
1	投手	藤代 学 (フジシロ マナブ)		46
15	捕手	岸 宏吏 (キシ コウジ)		52
17	投手	篠原 正一 (シノハラ ショウイチ)		41
19	投手	城 慎太郎 (ジョウ シンタロウ)		52
20	内野手	雨宮 正樹 (アメミヤ マサキ)		46
24	外野手	齊藤 光弘 (サイトウ ミツヒロ)		47
29	内野手	平塚 徳仁 (ヒラツカ ノリヒト)	コーチ 1	53
39	内野手	佐久間 信一 (サクマ シンイチ)		45
56	外野手	丸田 稔 (マルタ ミノル)		51
57	外野手	松本 栄太 (マツモト エイタ)		51
62	捕手	保坂 太郎 (ホサカ タロウ)		42
66	内野手	吉本 健一 (ヨシモト ケンイチ)		42
備 考				

神奈川県		オール相模原クラブ		
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長)	佐藤 卓 (サトウ スグル)		58
	監督	中津 剛 (ナカツ ツヨシ)	コーチ 1	57
	マネージャー	南 輝行 (ミナミ テルユキ)		57
10	スコアラー	土井 雅人 (ドイ マサヒト)		52
0	主将／	鈴木 伸之 (スズキ ノブユキ)		46
0	外野手	嶺岸 伸哉 (ミネギシ シンヤ)		44
1	内野手	平山 和也 (ヒラヤマ カズヤ)		44
6	内野手	土方 充 (ヒジカタ ミツル)		44
7	外野手	庄司 真也 (ショウジ シンヤ)		46
8	内野手	佐藤 猛正 (サトウ タケマサ)		57
9	内野手	森田 雅貴 (モリタ マサキ)		40
12	捕手	星谷 良二 (ホシヤ リョウジ)		48
14	投手	吉田 健司 (ヨシダ ケンジ)		57
15	内野手	遠藤 宗明 (エンドウ ムネアキ)		44
17	捕手	福永 宏樹 (フクナガ ヒロキ)		44
18	投手	三歳 勝彦 (ミタケ マサヒコ)		57
19	投手	小森 太郎 (コモリ タロウ)		50
20	投手	大賀 秀一 (オオガ シュウイチ)		54
22	外野手	新田雄四郎 (ニッタ ユウシロウ)		56
23	外野手	野口 弘樹 (ノグチ ヒロキ)		55
24	捕手	篠原 勝彦 (シノハラ カツヒロ)		59
26	内野手	橋本 拓歩 (ハシモト タクオ)		48
27	内野手	吉田 清志 (ヨシダ キヨシ)		57
64	外野手	片桐 大輔 (カタギリ ダイスケ)		40
備 考				

長野県

ALPHA

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年 齢
	責任者（部長）	松田 鉄平（マツダ テッペイ）		47
30	監督	細口 健（ホングチ タケシ）		51
10	主将／内野手	丸茂 勇気（マルモ ユウキ）		41
1	外野手	大槻 祐介（オオツキ ユウスケ）		44
2	投手	笠井 達也（カサイ タツヤ）		40
3	内野手	佐藤 祐一（サトウ ユウイチ）		46
4	外野手	梅村 正樹（ウメムラ マサキ）		49
5	内野手	松澤 大輔（マツザワ ダイスケ）		40
6	内野手	平林 竜也（ヒラバヤシ タツヤ）		41
7	内野手	中島 大輔（ナカジマ ダイスケ）		43
8	投手	大墨 岳人（オオスミ タケト）		41
11	投手	渡辺 敏行（ワタナベ トシユキ）	コーチ 1	45
12	内野手	百瀬 将晃（モモセ マサアキ）		43
16	投手	福岡 仁（フクオカ ヒトシ）		42
22	投手	小林裕一郎（コバヤシ ユウイチロウ）		47
24	外野手	足助 俊明（アスケ トシアキ）		44
27	内野手	上條 智章（カミジヨウ トモアキ）		41
28	捕手	平林 佑樹（ヒラバヤシ ユウキ）		44
33	投手	松田 鉄平（マツダ テッペイ）	その他	47
38	投手	菊池 俊文（キクチ トシフミ）		41
17	投手	高畑 有希（タカハタ ユウキ）		41
備 考				

富山県

富山ドリームズ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年 齢
30	責任者（部長） 監督 マネージャー スコアラー 主将／内野手	松木 周作（マツキ シュウサク） 伊勢 健史（イセ タケオ） 江上 哲也（エガミ テツヤ） 中村 伸彦（ナカムラ ノブヒコ） 早川 登（ハヤカワ ノボル） 細川 武志（ホソカワ タケシ） 裏野 浩次（ウラノ コウジ） 釣 洋平（ツリ ヨウヘイ） 名畑 孝昭（ナバタ タカアキ） 有澤 正史（アリサワ マサシ） 旅 覚（タヤ サトル） 石崎太一郎（イシザキ タイチロウ） 吉岡 大輔（ヨシオカ ダイスケ） 松澤 祥生（マツザワ サチオ） 須原 和幸（スハラ カズユキ） 五艘 祐一（ゴソウ ユウイチ） 土肥 達雄（ドイ タツオ） 宮原 正嗣（ミヤハラ タダシ） 山内 匠二（ヤマウチ タクジ） 齊藤 晃嗣（サイトウ アキツグ） 井澤 伸哉（イザワ シンヤ） 尾崎 剛（オザキ ゴウ） 芹田 涼（セリタ リョウ）		48 52 53 58 45 54 40 43 47 46 53 51 45 48 47 40 45 46 45 42 40 44 40
			コーチ 1	
備考				

愛知県

アツパース

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	上村 広道	コーチ 1	60
10	主将／内野手	鈴木 拓也		48
1	内野手	小林 孝司		48
2	内野手	加藤 高広		53
3	内野手	阪野 治		51
4	外野手	宮川 大佑		43
6	内野手	青木 匡洋		43
8	外野手	亀山 智巳		49
9	内野手	谷口 克之		55
11	投手	松本 弘幸		52
12	内野手	佐々木史宜		55
14	投手	成田 敦		43
18	投手	川口 周司		56
19	投手	菊地 正法		40
23	捕手	坂前 安朗		43
24	内野手	日比野雅巧		40
26	内野手	新田 治郎		58
27	捕手	田中 大輔		40
28	外野手	岡田 大史		40
60	捕手	長尾 一範		47
備 考				

福井県

CLUB ECHIZEN

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年 齢
30	責任者（部長）	山田 富夫（ヤマダ トミオ）	コーチ 1	60
	監督	北岡 康弘（キタオカ ヤスヒロ）		53
	マネージャー	堀江 正洋（ホリエ マサヒロ）		62
10	スコアラー	上木 雅雄（ウエキ マサオ）		60
	主将／投手	川口 洋平（カワグチ ヨウヘイ）		47
0	外野手	牧野 悟（マキノ サトル）		47
2	内野手	宮本 英明（ミヤモト ヒデアキ）		50
3	捕手	大森 竜一（オオモリ リュウイチ）		41
5	内野手	長谷川 広和（ハセガワ ヒロカズ）		58
6	内野手	岡田 哲典（オカダ テツノリ）		40
7	外野手	小嶋 芳孝（コジマ ヨシタカ）		55
9	内野手	三好 孝典（ミヨシ タカノリ）		52
12	内野手	伊藤 慎時（イトウ シンジ）		52
13	外野手	熊谷 昌典（クマガイ マサノリ）		51
16	投手	手賀 惣一朗（テガ ソウイチロウ）		46
17	投手	見延 優樹（ミノベ ユウキ）		40
19	投手	石川 知良（イシカワ カズヨシ）		46
21	内野手	坪内 康一（ツボウチ コウイチ）		55
23	外野手	西野 賢二（ニシノ ケンジ）		44
27	内野手	大澤 哲（オオサワ テツ）		44
28	内野手	河井 康孝（カワイ ヤスカタ）		48
66	外野手	広田 翔一郎（ヒロタ ショウイチロウ）		43
77	内野手	永坂 幸多（ナガサカ コウタ）		48
備 考				

岐阜県

大垣球友会

滋賀県

Joyson Safety Systems Japan 合同会社 Masters

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長) 監督 マネージャ スコアラー	西脇 康広 (ニシワキ ヤスヒロ)	コーチ 3	62
10	主将/外野手	富田 忍 (トミダ シノブ)	コーチ 3	51
0	内野手	傍嶋 信明 (ソバジマ ノブアキ)		62
4	外野手	棚橋 博文 (タナハシ ヒロフミ)		57
5	内野手	池内 直樹 (イケウチ ナオキ)		48
6	内野手	伊藤 秀幸 (イトウ ヒデアキ)		54
8	内野手	中島 宗太 (ナカシマ ソウタ)		40
9	外野手	高井 誠 (タカイ マコト)		43
11	投手	加藤 俊夫 (カトウ トシオ)		55
12	外野手	中村 誠 (ナカムラ マコト)		54
16	捕手	磯部 元寿 (イソベ モトヒデ)		46
18	投手	大澤 亮 (オオサワ リョウ)		40
19	投手	平尾 光 (ヒラオ ヒカル)		42
20	投手	井上 英司 (イノウエ エイジ)		42
21	投手	梶原 教彦 (カジワラ ノリヒロ)		44
22	投手	中川 貴雅 (ナカガワ タカマサ)		59
23	投手	渋谷 展弘 (シブヤ ノブヒロ)		46
25	投手	田中 謙次 (タナカ ケンジ)		49
27	投手	野原 一樹 (ノハラ カズキ)		55
28	投手	都竹 真童 (ツツク シンドウ)		41
31	投手	北瀬 直貴 (キタセ ナオキ)		42
	投手	塘本理一郎 (トモモト リイチロウ)		54
	投手	花房 邦暁 (ハナブサ クニアキ)		43
	投手	日比野正樹 (ヒビノ マサキ)		46

備 考

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長) 監督	木村 実雄 (キムラ ジツオ)	コーチ 1	75
10	主将/外野手	服部 康志 (ハットリ ヤスシ)		45
0	捕手	澤田 豊 (サワダ ユタカ)		46
1	投手	館 建典 (タチ タケノリ)	コーチ 1	45
2	捕手	田中 秀昭 (タナカ ヒデアキ)		45
3	内野手	立木 秀一 (タチキ シュウイチ)		45
7	捕手	杉本 浩司 (スギモト コウジ)	その他	45
8	外野手	重信 聖仁 (シゲノブ アキヒト)	その他	47
9	外野手	村山 良太 (ムラヤマ リョウタ)	その他	45
11	内野手	中井 健二 (ナカイ ケンジ)		44
13	投手	藤居 秀隆 (フジイ ヒデタカ)	その他	46
14	投手	土山 貴義 (ツチヤマ タカヨシ)		44
15	内野手	織田 義隆 (オダ ヨシタカ)	その他	47
17	外野手	野瀬 徹 (ノセ トオル)		46
18	内野手	繁喜 (ダイドウ シゲキ)		47
27	内野手	堤 太 (ツツミ フトシ)		45
	内野手	中島 久尚 (ナカシマ ヒサノブ)		49

備 考

兵庫県

AWAJI NINE

奈良県

大和ガス株式会社・壮年

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	新納 卓司 (シンノウ タクジ)		46
10	マネージャー	東中真生子 (ヒガシナカ マキコ)		47
0	主将／内野手	雨堤 一人 (アマツツミ カスト)		46
1	外野手	三長 隆昌 (ミナガ タカマサ)		44
2	内野手	江本 辰典 (エモト タツノリ)		45
3	外野手	山本 琢也 (ヤマモト タクヤ)		41
4	投手	福岡 一紀 (フクオカ カズノリ)		46
5	内野手	福栄 真司 (フクエ シンジ)		44
6	内野手	田村 智啓 (タムラ チヒロ)		46
7	内野手	藤井 拓実 (フジイ タクミ)		40
8	投手	木下 幸大 (キノシタ ユキオ)		46
9	内野手	大谷 真二 (オオタニ シンジ)		48
11	投手	森田 哲司 (モリタ テツジ)		46
13	内野手	出嶋 健作 (デジマ ケンサク)		49
17	内野手	前田 和史 (マエダ カズフミ)		56
18	捕手	土佐 啓右 (トサ ケイスケ)		45
21	外野手	岡田 真人 (オカダ マサト)		46
22	外野手	出嶋 将司 (デジマ ショウジ)		50
23	内野手	多田 学 (タダ マナブ)		45
77	外野手	谷 貴城 (タニ タカシロ)		44
	内野手	富士山隆博 (フジヤマ タカヒロ)		51
備 考				

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長)	中井 俊之 (ナカイ トシユキ)		55
10	監督	中川 雅夫 (ナカガワ マサオ)		59
1	マネージャー	松田 剛 (マツダ タケシ)		53
2	主将／外野手	櫛田 勇樹 (クシダ ユウキ)		45
3	外野手	小田 真也 (オダ シンヤ)		47
5	外野手	山本 尚 (ヤマモト ヒサシ)		54
8	内野手	井口 直人 (イグチ ナオト)		46
9	内野手	和田 匡永 (ワダ キヨナガ)		42
14	内野手	米倉 大介 (ヨネクラ ダイスケ)		40
17	外野手	野々村 順 (ノノムラ ジュン)	コーチ 1	44
21	投手	嘉戸 敏 (カド サトシ)		48
22	内野手	城山 豊 (シロヤマ ユタカ)		50
26	内野手	下村 幸広 (シモムラ ユキヒロ)		45
28	外野手	常板 行宏 (ツネイタ ユキヒロ)		48
29	コーチ／内野手	古川 敏行 (フルカワ トシユキ)	コーチ 1	51
	捕手	大志万修一 (オオシマン シュウイチ)		43
	内野手	山内 寿史 (ヤマウチ ヒサシ)	その他	49
備 考				

鳥取県

米子ホンドドリームズ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長) 監督 マネージャー スコアラー	河上 元 (カワカミ ゲン) 山根 康仁 (ヤマネ ヤスヒロ) 宮脇 孝志 (ミヤワキ タカシ) 野澤 篤司 (ノザワ アツシ) 濱田 亮 (ハマダ リョウ) 南葉 昂志 (ナニバ タカシ) 末広 俊男 (スエヒロ トシオ) 内田 卓 (ウチダ マコト) 江尻 浩介 (エジリ コウスケ) 白根 智文 (シラネ トモフミ) 藤尾 元 (フジオ ゲン) 藤井 寛 (フジイ ヒロシ) 常藤 勇城 (ツネトウ ユウキ) 篠田 成章 (シノダ ナリアキ) 原口 大輔 (ハラグチ ダイスケ) 井上 真一 (イノウエ シンイチ) 板 義道 (イタ ヨシミチ) 矢倉 恵介 (ヤクラ ケイスケ) 田口 幸司 (タグチ コウジ) 長岡 直哉 (ナガオカ ナオヤ) 山根 庸平 (ヤマネ ヨウヘイ) 笹間 卓也 (ササマ タクヤ) 榎野 貴史 (カヤノ タカシ)	コーチ 1	51 50 49 49 47 41 51 51 46 51 51 42 42 52 44 53 47 47 45 49 41 41 41
備 考				

岡山県

JOC

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長) 監督	古河 祥一 (コガワ ショウイチ)		56
10	主将／外野手	古河 祥一 (コガワ ショウイチ) 永富 雅宏 (ナガトミ マサヒロ)		56 47
1	内野手	金平 将史 (カネヒラ マサフミ)	コーチ 1	41
2	内野手	河月 豊志 (コウヅキ トヨシ)		48
3	内野手	山下 直輝 (ヤマシタ ナオキ)		51
5	外野手	山田 修 (ヤマダ オサム)		49
6	内野手	小林 裕明 (コバヤシ ヒロアキ)		51
7	内野手	米田 雄樹 (ヨネダ ユウキ)		41
8	外野手	井上 明彦 (イノウエ アキヒロ)		46
9	外野手	柴山 昌範 (シバヤマ マサノリ)		47
11	投手	今田 健介 (イマダ ケンスケ)		46
17	投手	難波 孝典 (ナンバ タカノリ)		53
20	投手	川崎 健作 (カワサキ ケンサク)		50
21	外野手	中村 好孝 (ナカムラ ヨシタカ)		40
22	捕手	島津 崇 (シマヅ タカシ)		51
27	内野手	荒木 航 (アラキ ワタル)		49
28	内野手	山下 裕史 (ヤマシタ ユウジ)		50
33	内野手	植山 和夫 (ウエヤマ カズオ)		57
55	内野手	上松 拓郎 (ウエマツ タクロウ)		46
94	捕手	久志 圭輔 (クシ ケイスケ)		56
備 考				

山口県

宇部クラブ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長)	清水 義廣 (シミズ ヨシヒロ)		77
	監督	成彦 (スギタニ ナルヒロ)	コーチ 1	62
10	マネージャー	宮本 壮 (ミヤモト ツヨシ)		52
3	主将／内野手	満 (ナガタ ミツル)		46
14	外野手	保田 瞬 (ヤスタ シュン)		43
23	内野手	山根 翼 (ヤマネ ツバサ)		42
24	内野手	上野 勝光 (ウエノ マサミツ)		43
26	投手	上田英一朗 (ウエタ エイチロウ)		51
27	捕手	佐々木 剛 (ササキ ツヨシ)		47
31	内野手	花田 匡史 (ハナダ マサフミ)		49
34	捕手	高坂 恭平 (タカサカ キョウヘイ)		42
49	投手	吉住 勇治 (ヨシズミ ユウジ)	コーチ 1	42
51	内野手	岡山 怜二 (オカヤマ レイジ)		44
52	内野手	大垣 努 (オオガキ ツトム)		42
53	投手	千々松康太郎 (チジマツ コウタロウ)		47
54	投手	岩佐 康平 (イワサ コウヘイ)		47
61	外野手	中村 修士 (ナカムラ シュウジ)		43
62	投手	佐々木 繁 (ササキ シゲル)		42
65	投手	越智 直人 (オチ ナオト)		48
81	外野手	吉井 秀文 (ヨシイ ヒデフミ)		44
96	内野手	前田 吉孝 (マエダ ヨシタカ)	コーチ 1	49
	外野手	吉永 克己 (ヨシナガ カツミ)		49
備 考				

香川県

オール香川

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	岡田 健 (オカダ タケシ)		56
10	主将／内野手	近藤 将司 (コンドウ ショウジ)		50
0	内野手	中塚 直人 (ナカツカ ナオト)		48
1	内野手	仲野 耕平 (ナカノ コウヘイ)		47
3	外野手	近藤 章弘 (コンドウ アキヒロ)		41
4	外野手	佐々木宏樹 (ササキ ヒロキ)		51
6	外野手	留村 繁和 (トメムラ シゲカズ)		49
7	内野手	三原 正臣 (ミハラ マサオミ)		47
11	投手	乃村雄一郎 (ノムラ ユウイチロウ)		41
12	投手	堺 三知雄 (サカイ ミチオ)	コーチ 3	52
14	外野手	石川 亮 (イシカワ リョウ)		41
16	捕手	熊野 直樹 (クマノ ナオキ)		46
18	投手	高田 英治 (タカタ エイジ)		51
20	外野手	中居 宏彰 (ナカイ ヒロアキ)		45
21	投手	内山 裕詞 (ウチヤマ ヒロシ)		51
24	内野手	寺田 貴之 (テラダ タカユキ)		45
25	外野手	十河 良則 (ソゴウ ヨシノリ)		45
27	投手	田ノ上將志 (タノウエ マサユキ)		43
33	捕手	前田 宏 (マエダ ヒロシ)		48
77	内野手	吉田 岳央 (ヨシダ タケオ)		42
備 考				

福岡県					秋吉整形外科クラブ				
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢					
	責任者（部長）	秋吉 一明（アキヨシ カズアキ）		78					
30	監督	星野 正一（ホシノ ショウウイチ）		66					
10	主将／外野手	金子 貞和（カネコ サダカズ）		54					
0	捕手	小峠 博樹（コトウゲ ヒロキ）		60					
1	内野手	元永 旭（モトナガ アキラ）		47					
3	内野手	井上 一茂（イノウエ カズシゲ）		40					
7	外野手	先田 隆二（サキタ リュウジ）		55					
8	外野手	長野 剛士（ナガノ ゴウシ）		50					
11	投手	小川 健一（オガワ ケンイチ）		54					
14	投手	今屋 仁志（イマヤ ヒトシ）		44					
17	投手	新宅 文雄（シンタク フミオ）		49					
18	投手	中園 一也（ナカゾノ カズヤ）		53					
21	投手	大脇 雅樹（オオワキ マサキ）		49					
23	内野手	下條 栄二（シモジヨウ エイジ）		53					
25	外野手	関屋 貴志（セキヤ タカシ）		51					
36	捕手	竹本 昌弘（タケモト マサヒロ）		43					
37	外野手	汐先 智史（シオサキ サトシ）	コーチ 1	50					
47	内野手	力丸 耕一（リキマル コウイチ）		44					
61	内野手	元永 進（モトナガ ススム）		40					
99	投手	西前 実（ニシマエ ミノル）		41					
備 考									

徳島県		吉野川クラブ		
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督／ 主将／	佐藤 浩 (サトウ ヒロシ)	コーチ 1	68
10		三原 裕紀 (ミハラ ユウキ)		55
0		枝澤 正彦 (エダザワ マサヒロ)		49
3		伊丹 義信 (イタミ ヨシノブ)		61
14		近藤 俊介 (コンドウ シュンスケ)		42
19		中野 貴博 (ナカノ タカヒロ)		51
24		福田 的也 (フクダ マトヤ)		60
28		菖蒲 孝弘 (ショウブ タカヒロ)		59
31		吉田 勉 (ヨシダ ツトム)		58
33		明石 大 (アカイシ ダイ)		50
35		曾我部 勉 (ソガベ ツトム)		54
37		矢野 大天 (ヤノ トモヒロ)		42
38		大鹿 誠 (オオシカ マコト)		50
45		古川 泰弘 (フルカワ ヤスヒロ)		50
46		大寺 義浩 (オオテラ ヨシヒロ)		52
66		岡田 康信 (オカダ ヤスノブ)		60
備 考				

佐賀県

佐賀クラブ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
	責任者（部長） 監督	古川 展裕（フルカワ ノブヒロ）	コーチ 1	53
30	主将／内野手	古川 展裕（フルカワ ノブヒロ）		53
10	外野手	矢ヶ部教馬（ヤカベ カズマ）		50
2	外野手	小柳 大悟（コヤナギ ダイゴ）		47
4	外野手	久保 隆佳（クボ タカヨシ）		43
9	内野手	内田 昌宏（ウチダ マサヒロ）		42
16	内野手	庄司 一信（シヨウジ カズノブ）		52
17	内野手	武下 辰徳（タケシタ タツノリ）		43
18	投手	川頭 直也（カワズ ナオヤ）		43
22	外野手	島崎 純一（シマザキ ジュンイチ）		52
23	捕手	園田 大樹（ソノダ ダイキ）		47
25	投手	竹下 雅人（タケシタ マサト）		48
31	内野手	北島 誠介（キタジマ セイスケ）		56
37	捕手	岩崎 賢（イワサキ ケン）		54
備 考				

宮崎県

THANKS シニア

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	櫛間 新吾 (クシマ シンゴ)	コーチ 1	51
10	主将／外野手	前田 好彦 (マエタ ヨシヒコ)		41
1	外野手	深見 豊成 (フカミ ホウセイ)		50
3	内野手	下浦雄一郎 (シモウラ ユウイチロウ)		49
4	内野手	山下 知男 (ヤマシタ トモオ)		52
5	内野手	奥西 雅也 (オクニシ マサヤ)		50
13	外野手	坂本 健 (サカモト タケシ)		51
14	投手	與儀 孝之 (ヨギ タカユキ)		43
15	内野手	広前 茂宣 (ヒロマエ シゲノブ)		51
17	内野手	半田 正美 (ハンダ マサミ)		52
19	投手	上竹 孝幸 (カミタケ タカユキ)		42
20	投手	渡慶次 健 (トケシ タケル)		43
24	外野手	棚橋 完造 (タナハシ カンゾウ)		50
31	内野手	西田 朋生 (ニシダ トモオ)		50
33	捕手	矢部 智誠 (ヤベ チセイ)		51
39	捕手	藪内雄一郎 (ヤブウチ ユウイチロウ)		42
備 考				

鹿児島県

川内塗装工業・壮年部

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長)	上白石忠幸 (カミシライシ タダユキ)	コーチ 1	53
10	監督	上白石忠幸 (カミシライシ タダユキ)	コーチ 1	53
0	主将／投手	辛島 康裕 (カミシライシ ヤスヒロ)		47
1	外野手	堀川 雄大 (ホリカワ ユウダイ)		41
2	投手	松元 翔一 (マツモト ショウイチ)		43
4	内野手	横路 和慶 (ヨコジ カズヨシ)		44
5	内野手	尻無浜 真 (シリナシハマ マコト)		47
9	外野手	窪蘭 直宏 (クボラン ナオヒロ)		44
11	外野手	兼子 剛 (カネコ ツヨシ)		49
13	投手	田方 進 (タガタ ススム)		49
14	捕手	肥後 隆志 (ヒゴ タカシ)		47
16	外野手	廣瀬 正昭 (ヒロセ マサアキ)		58
17	内野手	鳥里 純二 (トリサト ジュンジ)		58
27	外野手	馬場 真人 (ババ マコト)		41
42	内野手	平田 敬久 (ヒラタ タカヒサ)		40
69	捕手	中間 淳夫 (ナカマ アツオ)		46
	内野手	祁答院義也 (ケドウイン ヨシナリ)		43
備 考				

沖縄県

POCO A POCO

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	岸本 昌樹 (キシモト マサキ)		54
10	マネージャー	仲栄ゆみこ (ナカエ ユミコ)		54
0	主将／内野手	村山 正樹 (ムラヤマ マサキ)		50
2	外野手	宮城 寛至 (ミヤギ ヒロユキ)		54
5	投手	平良 道夫 (タイラ ミチオ)		46
6	内野手	猪俣 博之 (イノマタ ヒロユキ)		40
8	内野手	屋嘉比智幸 (ヤカビ トモユキ)		49
11	外野手	仲栄 裕之 (ナカエ ヒロユキ)		49
12	投手	渡嘉敷 徹 (トカシキ トオル)	コーチ 1	54
13	外野手	喜瀬 勝徳 (キセ カツノリ)		43
16	外野手	比嘉 姿文 (ヒガ タカユキ)		48
19	外野手	仲吉 修 (ナカヨシ オサム)		57
20	内野手	名嘉山 卓 (ナカヤマ スグル)		45
21	内野手	桑江 大地 (クワエ ダイチ)		40
23	捕手	大嶺 祐介 (オオミネ ユウスケ)		40
24	内野手	古謝 景義 (コジヤ ケイギ)		43
25	外野手	中村 寿 (ナカムラ ヒサシ)		52
26	内野手	仲田 勝紀 (ナカダ カツノリ)		54
29	外野手	島田 寛之 (シマダ ヒロユキ)		52
	外野手	上間 孝史 (ウエマ タカシ)		54
備 考				

石川県		優和産業ジパング		
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者（部長） 監督 マネージャ スコアラ 主将／内野手	北野 優（キタノ マサル） 佐々木 淳（ササキ ジュン） 穴沢 朝己（アナザワ トモキ） 林 健二（ハヤシ ケンジ） 山本 英一（ヤマモト エイイチ） 門村 博志（カドムラ ヒロシ） 米田 亘（ヨネダ ワタル） 串岡 大輝（クシオカ ダイキ） 川場 享（カワバ ススム） 野崎 良裕（ノザキ ヨシヒロ） 土江 崇（ツチエ タカシ） 田村 淳（タムラ ジュン） 荒山 浩嗣（アラヤマ ヒロツグ） 飯田 毅（イイダ タケシ） 百々 大介（ドド ダイスケ） 稲垣 仁則（イナガキ ヒトノリ） 大松 宏光（オオマツ ヒロミツ） 根布長 亮（ネブチヨウ マコト） 蔵田 洋一（クラタ ヨウイチ） 釜井 努（カマイ ヌツム） 朝田 英明（アサダ ヒデアキ） 西原 佳蔵（ニシハラ ケイゾウ） 山中 浩行（ヤマナカ ヒロユキ） 村田 貴人（ムラタ タカト）	コーチ 1 コーチ 1 コーチ 1 コーチ 1	65 58 52 60 49 51 58 40 49 56 45 50 46 55 48 46 49 52 47 43 46 54 46 53
備 考				

石川県		G E T		
背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督 スコアラ 主将／内野手	作田 敏之（サクダ トシユキ） 坂本美恵子（サカモト ミエコ） 本橋 悟（モトハシ サトル） 佐々木久之（ササキ ヒサユキ） 吉村 文容（ヨシムラ フミヒロ） 谷内 利勝（ヤチ トシカツ） 古卿 大知（フルキミ ダイチ） 北崎 宏明（キタザキ ヒロアキ） 橋本 直光（ハシモト ナオミツ） 日光 博史（ニツコウ ヒロシ） 地家 宗隆（ジケ ムネタカ） 中谷 圭介（ナカタニ ケイスケ） 彦田 剛（ヒコダ タケシ） 大田 尚人（オオタ ナオト） 笠間 威志（カサマ タカシ） 一川 幸司（イチカワ コウジ） 清水 雄一（シミズ ユウイチ） 石村 崇嗣（イシムラ タカシ） 森下 博司（モリシタ ヒロシ） 吉本 史（ヨシモト フミト） 服部 忠良（ハットリ タダヨシ） 大家 正明（オオヤ マサアキ）	コーチ 3	58 46 48 48 45 45 44 46 48 47 46 43 40 42 41 43 49 49 48 44 46 49
備 考				

石川県

国下整形外科マスタース

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者（部長） 監督 マネージャ マネージャ スコアラ 主将／内野手	国下 正英（クニシタ マサヒデ） 松崎 健（マツザキ ケン） 池田 菊一（イケダ キクイチ） 坂口真由美（サカグチ マユミ） 安田 悟（ヤスタ サトル） 赤田 博司（アカダ ヒロシ） 植田 雅宏（ウエダ マサヒロ） 達 英彦（タツ ヒデヒコ） 守澤 清二（モリサワ セイジ） 宮崎 操（ミヤザキ ミサオ） 白石 崇（シライシ タカシ） 庭田 満之（ニワダ ミツユキ） 西川 清徳（ニシカワ キヨノリ） 越中 純（コシナカ ジュン） 村守健太郎（ムラモリ ケンタロウ） 鷹合 一樹（タカゴウ カズキ） 杉江 健太（スギエ ケンタ） 大岡 敦至（オオオカ アツシ） 中西 陽（ナカニシ ヨウ） 中村 大輔（ナカムラ ダイスケ） 川尻 正章（カワシリ マサアキ） 寺岡 孝典（テラオカ タカノリ） 松任 勝成（マツトウ カツナリ） 野崎 恵介（ノザキ ケイスケ）		75 57 56 53 45 55 52 48 51 48 40 53 40 55 42 52 40 53 42 49 50 46 57 44

備 考

韓国

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
27	責任者／視察員	呉炫定（オ・ヒョンジョン）		29
30	監督／投手	金相洙（キム・サンズ）		56
16	マネージャ	姜孝淳（カン・ヒョスン）		39
1	マネージャ	鄭受敗（チョン・スミン）		36
18	スコアラ	金眩錫（キム・ヒョンソク）		35
11	スコアラ	金承漢（キム・スンハン）		32
⑩	主将／外野手	安太昇（アン・テスン）		44
2	投手	金東運（キム・ドンウン）		59
3	捕手	柳珍祐（ユ・ジヌ）		53
5	投手	李賢兒（イ・ヒョナ）		46
6	内野手	金炯均（キム・ヒョンギュン）		41
7	内野手	金周鉉（キム・ジュヒョン）		47
8	内野手	李丙珉（イ・ピョンミン）		41
13	内野手	姜錫虎（カン・ソクホ）		41
15	投手	羅同起（ナ・ドンギ）		41
19	投手	丁海泉（チョン・ヘチョン）		42
20	外野手	安秉義（アン・ピョンヒ）		45
25	外野手	金武増（キム・ムジュン）		40
28	投手	朴曾煥（パク・ジュンファン）		53

備 考

軟式野球競技の沿革

明治5年アメリカから伝わった野球は明治、大正を経てようやく盛んになり、大正4年開催された朝日新聞社の第1回全国中等学校優勝野球大会と、その後になって開催された毎日新聞社の春の全国選抜中等学校野球大会などが、全国の青少年に関心と刺激を与え少年の間で非常な勢いで盛んになった。この頃、硬式野球を行うまでに至らない少年たちはテニスボールなどによって野球を楽しんだが、軽くてスピード感が伴わないなどの欠陥があり、その後できたスポンジボールも打撃にたえず破損度が高いため次第にうすれてしまった。大正8年糸井浅次郎、鈴鹿栄両氏は少年に適し硬式のように危険がなく、しかも少年たちに野球の指導が容易にできるボールにしたい着想から研究努力した結果、現在使用されているボールが誕生し、少年野球の普及とともに一般大衆スポーツとしても急速に発展してきたのである。

昭和16年第2次世界大戦の勃発により一時中絶状態となったが、終戦を迎えた昭和20年に軟式野球愛好者たちが全国各地で軟式野球の復興に立ち上がり、昭和21年全日本軟式野球連盟を創立。同時に(財)日本体育協会(現公益財団法人日本スポーツ協会)に加盟し、占領下の混とんたる世情と物資欠乏のさ中、第1回全日本軟式野球大会(のちの天皇賜杯全日本軟式野球大会)が16チームの参加によって京都において開催された。この大会は敗戦の痛手から立ち上がろうとする国民1人1人の心に潤いを与え建設的意欲をもりたてたものというべく有意義な大会であった。なお、本大会は第1回国民体育大会軟式野球競技会と兼ねて開催された。翌年より国体とは別個開催し、全日本軟式野球大会は各都道府県代表各1チームの参加で行われるようになり、昭和23年に天皇杯が下賜され、これを契機として軟式野球は発展の一途をたどり、昭和28年には文部省(現文部科学省)に財団法人認可を受け、確固たる組織のもと現在の全日本軟式野球連盟傘下チーム数は社会人チーム約18,000、少年チーム約6,500、学童チーム約9,000、大学協会、専門学校、還暦連盟、中体連の約100万人の競技人口である。

また、ボールにも改良が加えられ中空でない軟式ボールが誕生し、これを「準硬式」と呼び昭和25年から東西両日本において、それぞれ大会が開催された。昭和32年からすべての軟式野球人に全国大会に出場できる希望をあたえることによって、軟式野球の底辺拡大に大きな成果をもたらすことができるという目的で、B・C級を対象とした全国大会である高松宮賜杯全日本軟式野球大会(B級を一部、C級を二部と呼称)が開催された。天皇賜杯全日本軟式野球大会と本大会は現在も毎年一回全国各地で開催されている。昭和25年より東西両日本において開催されていた準硬式野球大会は全国的大会開催の要望によって昭和39年第15回大会をもって発展的解消し、昭和40年より常陸宮賜杯全日本準硬式野球大会として実施された。昭和45年には少年野球が組織化され、少年一部(高校生年齢層のクラブチーム)、少年二部(中学生年齢層のクラブチーム)、少年学童部(小学生年齢層のクラブチーム)の3部門にわかれ、全国各地でそれぞれ少年野球大会が開催されている他昭和50年からは少年二部による全日本少年軟式野球大会が開催された。昭和52年、使用球場が硬式野球と同じ扱いのためチームの練習会場、予選大会会場の確保などに困難をきたし、常陸宮賜杯全日本準硬式野球大会は第13回大会をもって中止した。昭和54年よりB・C級を対象とした東・西日本軟式野球大会(B級を一部、C級を二部と呼称)を開催。昭和56年、昭和50年から開催していた少年二部による全日本少年軟式野球大会に変わり学童部による全日本学童軟式野球大会が実施され、これにより学童の野球が非常に盛んになった。昭和59年度より少年二部の大会が復活し、新たに第1回全日本少年軟式野球大会として開催されることとなった。昭和63年、国民体育大会の軟式野球競技は一般社会人(成年の部)と少年一部(少年の部)が行われていたが、同年第43回京都国体より少年の部が廃止され、新たに成年一部、成年二部となった。また、学童大会は各都道府県代表のフルエントリーとし、高松宮賜杯全日本軟式野球大会を一部、二部

分離して開催することとなった。平成元年、JOC に加盟。また、同年第44回北海道国体から成年一部、成年二部に加え壮年の部が創設され、別に規程された順位決定方法による合計点で天皇杯順位が決定されることとなった。平成6年より少年二部を少年と改称。平成7年、創立50周年を機に高円宮憲仁親王殿下を名誉総裁にお迎えし、平成9年第17回全日本学童軟式野球大会より高円宮賜杯が下賜された。Aクラスの大会として平成9年より西日本選手権、平成10年より東日本選手権大会が新設された。平成11年度第54回熊本国体より種別の呼称を一般A（従来の一部）、一般B（従来の一部）、成年（従来の一部）と変更した。平成14年11月21日高円宮殿下のご逝去により、平成15年1月21日第二代の名誉総裁として憲仁親王妃久子殿下にご就任いただいた。平成17年より成年層の全国大会として日本スポーツマスターズに参加した。平成20年、国体改革2003により同年大分国体から成年男子の一種別開催となった。また、同年の第25回大会より全日本少年野球大会に文部科学大臣杯が授与された。平成21年、平成22年第10回大会より茨城県水戸市で開催してきた高円宮賜杯全日本学童大会の開催地を第29回大会より東京都へ移した。平成22年より青少年育成及びジュニア強化を目的に少年部の新規大会として文部科学大臣杯全日本少年春季軟式野球大会を静岡県にて開催することとなった。

また、国の法人制度改革に伴い、移行認定を受けて平成24年1月4日、公益財団法人全日本軟式野球連盟として登記、新たなスタートを切った。平成25年4月、アマチュア野球の統括団体である一般財団法人全日本野球協会の設立に伴い加盟登録し、野球界のすそ野を支える団体として他団体との連携協力を図り事業運営を行うこととなった。

平成25年より女子野球の普及を目的に女子小学生を対象としたNPB ガールズトーナメントを一般社団法人日本野球機構との共催により開催することとなった。侍ジャパン女子日本代表チームの国際大会での活躍により女子学童球児の目標設定が具体化されます。女子野球の普及推進が求められている。平成28年より、女子中学生を対象とした全日本中学女子軟式野球大会を京都府にて開催することとなり、小学生から一般まで女子選手にとって各ステージにおける全国大会の場が整備された。

また、平成28年12月、2年に1度開催されるアジア野球連盟主催の第9回 U-12アジア野球選手権において、全国の小学生登録選手で編成した U-12侍ジャパン日本代表が初優勝を達成した。

平成29年より、当該年度の東西選手権大会優勝チームおよび天皇賜杯大会の優秀チームを対象に軟式野球の普及振興、競技力向上を目的としたスポニチ杯全日本軟式野球大会を開催することとなった。

平成30年より、50歳以上のシニア層を対象とした全日本シニア軟式野球大会を岡山県で開催することとなった。

令和6年12月に、日本で開催される2度目のアジア野球選手権が愛媛県の松山市と今治市で開催された。第11回目となる本大会では日本代表チームは第3位となった。

軟式野球競技過去大会成績

大会年	優勝		準優勝		第3位	
	チーム名	都道府県	チーム名	都道府県	チーム名	都道府県
2014 埼玉大会	チーム静岡	静岡県	秋吉整形外科クラブ	福岡県	Sapporo'72	北海道南 群馬県
2015 石川大会	高岡DREAMS	富山県	大宮クラブ	埼玉県	ジャンプスポーツクラブ	群馬県 新潟県
2016 秋田大会	安城ベースボールクラブ	愛知県	竹田病院 シニアクラブ	福島県	津久見クラブ	大分県
2017 兵庫大会	横須賀クラブ	神奈川県	姫路アールテック野球クラブ	兵庫県	秋吉整形外科クラブ	福岡県
2018 札幌大会					地鶏庵	高知県
2019 ぎふ清流大会	フォーティファイバーズ	群馬県	視カトレーニング教室・高知 センター	高知県	盟球フェニックス	兵庫県
2020 愛媛大会			中止のため記録なし			
2021 岡山大会			中止のため記録なし			
2022 岩手大会	安城ベースボールクラブ	愛知県	さいたまクラブ	埼玉県	K.B.KIDS	北海道
2023 福井大会	OITA SUNNY	大分県	JOC	岡山県	アルプスアルパイン BC	新潟県
2024 長崎大会	さいたまクラブ	埼玉県	ビ・アスリート O40S	大阪府		
2025 愛媛大会	NISSEKI ALLStars	熊本県	ジョルターヘッズ	東京	出雲シニアクラブ オール香川	島根県 香川県
					福知山スターズ	京都府
					株式会社 めいわ総建	沖縄県

医療救護について

1. 会場でケガや発病をしたとき

会場に設けられた救護所で手当を受けてください。

(1) 救護所及び手当について

- ① 救護所には、原則として医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが待機し、臨時の応急手当（救急処置）を行います。
- ② 医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが医療機関に搬送する必要を認めた時は、救急自動車等で医療機関に搬送します。
- ③ 救護所からの搬送等により医療機関で治療を受ける場合は、必ずマイナ保険証又は健康保険資格確認書を提示してください。また、薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）も必ず携行してください。
※治療費用は受診者負担となります。

(2) その他

- ① 救護所の場所は、会場内において看板等により示しています。
- ② 会場内には、AED を設置しています。

2. 宿舎でケガや発病をしたとき

- ① 宿泊先に相談の上、医療機関に問合せをしてから受診してください。
- ② 医療機関で治療を受ける場合は、必ずマイナ保険証又は健康保険資格確認書を提示してください。
また、薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）も必ず携行してください。
※治療費は受診者負担となります。
※重症の場合や生命にかかわるような症状の場合は、救急車（119番）を要請してください。

○医療機関等案内

石川県医療機関の情報は、「医療情報ネット（ナビイ）」をご覧ください。
※右記の二次元コードからもアクセス可能です。



3. 傷害保険の加入について

本大会では、日本スポーツ協会にて、選手・監督等の方を対象とした傷害保険に加入しています。

(1) 補償対象と手続きの流れ

大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、会場の救護所で臨時の応急手当（救急処置）を受け、救護所に配置された「救護台帳」に必要事項の記入がなされた方が、原則として補償の対象になります。

補償の対象者として該当し得る方には、大会終了後1ヶ月後を目途に日本スポーツ協会から具体的な手続きに必要な書類を送付します。

※大会期間中に救護所へ行かず、「救護台帳」への記入がなされなかった場合は、補償の対象とすることができない場合があります。

※「救護台帳」により取得した個人情報、本大会期間中の傷害事故における保険請求業務に使用す
る他、引受保険会社へ提供することがあります。

(2)補償内容

補償内容は参加区分により異なります。

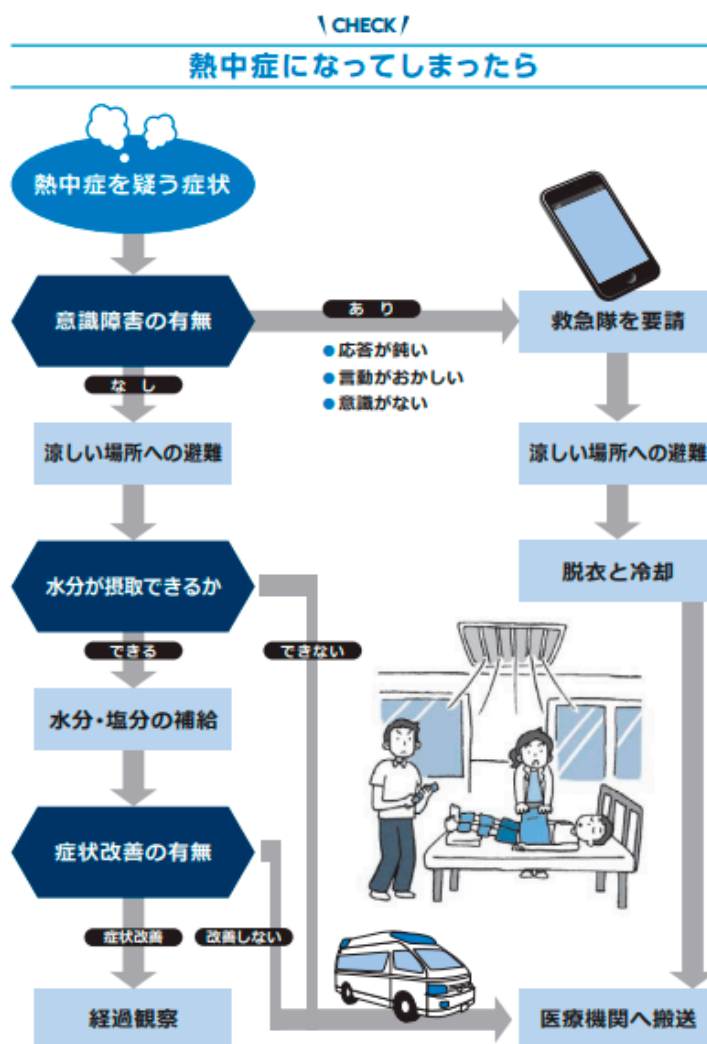
(例) 選手・監督の場合（加入者1名につき）

補償内容	補償額
死亡保険金	3,000万円
後遺障害保険金	90万円～3,000万円（程度に応じる）
入院保険金	3,600円
通院保険金	2,400円

※入院・通院保険は1日につき。

※いずれも事故の日からその日を含めて180日以内を支払対象とする。

※入院保険は180日程度、通院保険は90日が限度となる。



出典：「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」日本スポーツ協会，2025



JAPAN GAMES MASTERS 2026 ISHIKAWA

日本スポーツマスターズ 2026 石川大会

2026 9.18 FRI ▶▶▶ 22 TUE

◆ 大会日程と会場一覧

● 開始式後競技 ▲ 公式練習
○ 競技 ◎ 競技終了後表彰式

◆ 開会式(前夜祭) 期日: 2026年9月18日(金)
場所: ホテル日航金沢(金沢市)

競 技 名		競 技 日 程												競 技 会 場		開 催 地	
		8 月		9 月													
		29 日 土	30 日 日	12 日 土	13 日 日	14 日 月	19 日 土	20 日 日	21 日 月	22 日 火	28 日 月	29 日 火	30 日 水				
水 泳	(男女)	●	◎											金 沢 プール	①	金 沢 市	
サ ッ カ ー	(男)						○	○	○	◎				スカイパークこまつ翼	③	小松市	
							○	○	○					石川県サッカー・ラグビー競技場	⑧	能美市	
テ ニ ス	(男女)								○	◎				小松運動公園末広テニスコート	③	小松市	
	(女)						●	○									
	(男)						●	○						石川県西部緑地公園テニスコート	①	金 沢 市	
バレーボール	(男女)									◎				金 沢 市 総 合 体 育 館	①	金 沢 市	
	(男)						○	○	○								
	(女)						○	○	○					かほく市総合体育館	⑥	かほく市	
	(女)						○							白山郷公園体育館	⑦	白山市	
	(男女)						○	○					若宮公園体育館				
	(女)						○							能美市物見山体育館	⑧	能美市	
	(男)						○							寺井体育館			
バスケットボール	(男女)								○	◎				いしかわ総合スポーツセンター	①	金 沢 市	
	(男)						○	○									
	(女)						○	○						野々市市スポーツセンター	⑨	野々市市	
自転車競技(トラック)	(男女)						○	○						石川県立自転車競技場	⑩	内灘町	
ソフトテニス	(男女)						●	○						金沢市営城北市民テニスコート	①	金 沢 市	
軟式野球	(男)						●	○	◎					白山市立野球場	⑦	白山市	
							○	○						野々市市民野球場	⑨	野々市市	
							○	○						かほく市高松野球場	⑥	かほく市	
							○	○						志賀町野球場	⑪	志賀町	
							○							宝達志水野球場	⑫	宝達志水町	
							○							中能登町運動公園野球場	⑬	中能登町	
							○							七尾城山野球場	②	七尾市	
							○							珠洲市営野球場	④	珠洲市	
							○	○	○	◎				スカイパークこまつ翼	③	小松市	
バドミントン	(男女)					●	○	◎					松任総合運動公園体育館	⑦	白山市		
空手道	(男女)			●	○	◎							いしかわ総合スポーツセンター	①	金 沢 市		
ボウリング	(男女)						●	○	◎				百万石リゾートレーン	③	小松市		
ゴルフ	(男)										▲	○	◎	片山津ゴルフ倶楽部 加賀コース	⑤	加賀市	
	(女)										▲	○	◎	片山津ゴルフ倶楽部 日本海コース			

韓国選手団の参加について

日韓スポーツ交流・成人交歓交流の一環として、韓国選手団が8競技に特別参加します。
また、本大会への特別参加に加え、期間中は開催地のチームなどと交流試合を実施します。
韓国選手団の参加についてご理解いただくとともに、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

1. 日韓スポーツ交流

事業概要

日韓スポーツ交流は、「2002年ワールドカップ・サッカー大会」の日本・韓国共同開催決定を契機に、スポーツを通じて両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツ振興と競技力向上を図ることを目的として、日本スポーツ協会が平成9（1997）年度から毎年実施している。

交流事業の種類

- ・青少年スポーツ交流
- ・成人交歓交流
- ・地域交流(都道府県・市区町村交流)

2. 成人交歓交流

事業主体

日本: 日本スポーツ協会、韓国: 大韓体育会 (KSOC)

交流形態

日本選手団は、韓国の生涯スポーツの祭典「全国生活体育大祝典」へ、韓国選手団は「日本スポーツマスターズ」へそれぞれ特別参加する形態にて実施している。

実施競技および人数構成

競技	サッカー 〈男子〉	テニス 〈男女〉	バレー ボール 〈女子〉	バスケット ボール 〈男子〉	ソフト テニス 〈男女〉	軟式 野球 〈男子〉	バドミントン 〈男女〉	ボウリング 〈男女〉	本部 役員	合計 人数
人数	19	18	19	18	22	19	18	18	7	158

【派遣】 日本の成人男女(30～70歳) 151名、本部役員7名 計158名

【受入】 韓国の成人男女(35歳以上) 151名、本部役員7名 計158名

令和8年(2026年)実施概要

<開催地・実施期間>

区分	人数	開催地	実施期間
派遣	158	慶尚南道	4月23日(木) ～ 4月28日(水) 6日間
受入	158	石川県	9月17日(木) ～ 9月22日(水) 6日間

【派遣】 韓国の全国生活体育大祝典開催時期

【受入】 日本スポーツマスターズ開催時期

<参加人数>

競技			サッカー 〈男子〉 (19名)	テニス 〈男女〉 (18名)	バレー ボール 〈女子〉 (19名)	バスケット ボール 〈男子〉 (18名)	ソフト テニス 〈男女〉 (22名)	軟式 野球 〈男子〉 (19名)	バドミントン 〈男女〉 (18名)	ボウリング 〈男女〉 (18名)	本部 役員	合計 人数
派遣	石川県 ※1	115名	19	9	19	18	13	19	9	9	7	158
	静岡県 ※2	36名	—	9	—	—	9	—	9	9		
受入 韓国選手団			19	18	19	18	22	19	18	18	7	158

※1 日本スポーツマスターズ2026 開催地

※2 日本スポーツマスターズ2027 開催地

七尾市の概要

●概要

七尾市は、能登半島の中央に位置する能登地方の中心都市で、名湯・和倉温泉や国指定史跡七尾城跡には、市内外から多くの方が訪れます。また、ユネスコ無形文化遺産「青柏祭の曳山行事（でか山）」など、熱気あふれる祭礼が息づくまちです。

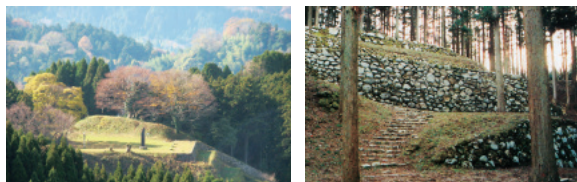
●市章



平成16（2004）年の合併時に、公募により選ばれました。デザインは、「七尾市のイニシャルの「N」を使って、豊かな恵みをもたらす美しい七尾湾の波と温泉の湯けむり、さらに未来・世界へ向けて躍動する市民の姿を表現」しています。

●七尾市の魅力

史跡七尾城跡



七尾城は、能登国守護・畠山氏が築いた全国屈指の山城で、「七尾」の由来となった七つの尾根筋を中心に多数の曲輪を連ねました。城下は大いに栄え、京風の能登畠山文化が華やぎました。

和倉温泉



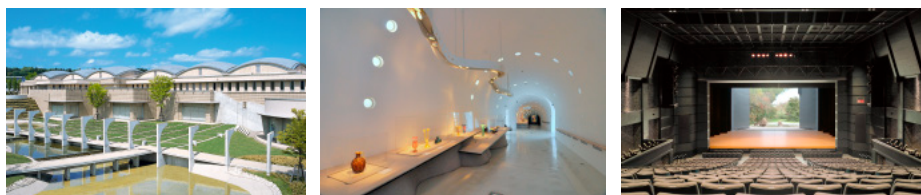
七尾湾を望む名湯・和倉温泉には、全国から多くの観光客が訪れます。能登半島地震で甚大な被害を受けましたが、復興に向けて復旧工事が進められています。また、徒歩圏内に和倉温泉運動公園があり、スポーツ合宿には最適な環境です。

祭礼



能登は「祭りの国」と言われ、七尾にも多くの祭りがあります。5月の「青柏祭の曳山行事」では高さ12mの「でか山」が街なかを巡り、7月の「能登島向田の火祭」では大松明が夜空を照らします。8月の「石崎奉燈祭」では勇壮な掛け声に合わせて奉燈が担がれ、9月の「お熊甲祭」では深紅の大杵旗が翻ります。

文化施設



当市には美術館2館と演劇専用ホールがあります。石川県七尾美術館は長谷川等伯生誕地として毎年企画展を開催し、石川県能登島ガラス美術館は古今東西のガラス作品を展示しています。故・仲代達矢氏が監修した能登演劇堂は、大扉を開くと自然が舞台の一部となり、公演を盛り上げます。

珠洲市の概要

●概要

珠洲市（すずし）は、石川県能登半島の最先端に位置し、三方を日本海に囲まれた自然豊かなまちです。日本唯一の「揚げ浜式製塩」や、中世日本最大級の窯場であった「珠洲焼」など、独自の歴史文化を大切に受け継いできました。平成23（2011）年には「能登の里山里海」として世界農業遺産に認定されています。

令和6（2024）年1月の能登半島地震と同年9月の奥能登豪雨により極めて甚大な被害が生じましたが、里山里海の営みの再生をベースにアートや先駆的な技術を取り入れ、「より魅力ある最先端の復興」を市民の皆様とともに必ず成し遂げてまいりますので、是非、応援賜りますようお願い申し上げます。

●市章



「珠洲」は「スズ」と読み、市章はかたかなの「ス」を二字組合わせて珠洲を、円周は和合を意味しています。

昭和29（1954）年9月16日制定

●珠洲市の魅力

揚げ浜式製塩



500年以上続く日本唯一の製塩法。熟練の職人が海から作り出す塩は、珠洲の至宝です。

珠洲焼



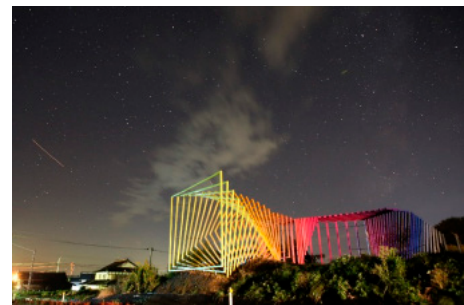
中世に栄え、半世紀前に復活した「幻の陶器」。力強くやさしい灰黒色が魅力です。

見附島（軍艦島）



大地震に耐えた珠洲のシンボル。その姿は、復興へ歩む人々の希望となっています。

奥能登国際芸術祭



「さいはて」を舞台に現代アートが響き合う祭典。アートの力が、復興の原動力となっています。

かほく市の概要

●概要

かほく市は、石川県のほぼ中央に位置し、県都金沢市の約20～25キロメートル圏内にあります。平成16(2004)年に高松町・七塚町・宇ノ気町の合併により誕生しました。東から西に向かい、山地、丘陵地、段丘地、沖積低地、海岸砂丘地で形成されており、北部では大海川が日本海に、南部では宇ノ気川が河北潟に注いでいます。また、これらの地形と一体となった緑豊かな自然環境を有しています。

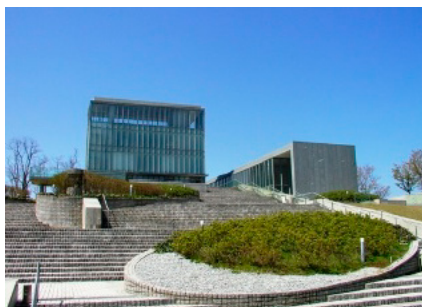
●市章



「かほく市」の頭文字「か」の字を図案化し、ブルーで波頭をかたどって日本海を表し、上と左右の三方に伸びるみどりの形にかほく市の飛躍・発展を象徴している。

●かほく市の魅力

石川県西田幾多郎記念哲学館



日本で唯一の「哲学の博物館 Museum of Philosophy」である「石川県西田幾多郎記念哲学館」。西田幾多郎の業績を緑の品と共に発信しています。設計は世界的建築家である安藤忠雄氏。

PFU ブルーキャッツ石川かほく



かほく市をホームタウンに、女子プロバレーボールチームとして活動する PFU ブルーキャッツ石川かほく。令和6（2024）年4月にオープンした「とり野菜みそ BLUE CATS ARENA」をホームに新たな交流人口の増加と賑わいを創りだしています。

かほく市特産品ブランド



豊かな自然と歴史、そして市民が育んだ農林水産物や工業製品をブランド認証しています。当市自慢の逸品を全国の皆様へ発信し、地域の魅力を伝えながら街にさらなる元気や活力をもたらしています。

かほく四季まつり



子どもから大人まで地域が一体となって創り上げるかほく市の四季の祭り。春夏秋冬で移り変わる美しい自然と豊かな旬の恵みを五感で体感できる魅力あるイベントです。

白山市の概要

●概要

白山市は、石川県加賀地方の中央部、県都金沢市の西南部に位置しています。白山（標高2,702m）周辺は、白山国立公園に指定され、また県内最大の流域面積を誇る手取川、日本海など、標高差と環境変化に富んだ市全域が白山手取川ユネスコ世界ジオパークに認定されています。総面積は754.92km²であり、県内最大の広さです。

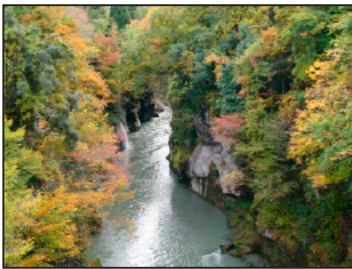
●市章

青空にそびえる緑豊かな白山を象徴として中央に配置し、そのふもとに流れる3本の潮流は、上の1本が手取川、下の2本は日本海を表現しています。右上がりのだ円に包まれた造形は、豊かな自然にはぐくまれ、未来へ発展し続ける白山市を表しています。



●白山市の魅力

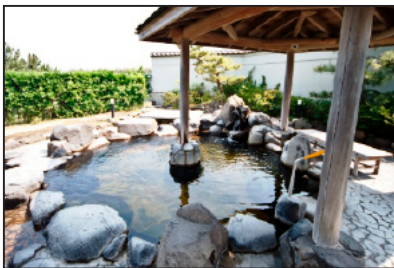
白山手取川ジオパーク



手取峡谷

水の旅と石の旅をキーワードに市内全域をエリアとし大地と自然と人々の暮らしの物語が息づいています。手取川の中流約8kmに渡って高さ20～30mの絶壁が続く手取峡谷や落差32mの綿ヶ滝の美しさは絶景です。

白山温泉郷



松任海浜温泉

海から山まで、多くの源泉があります。泉質や効能、湯の色、湯触りなどその魅力はバラエティー豊かです。

白山のめぐみ



GI 白山（日本酒）

山・川・海の自然に恵まれた白山市にはおいしいものがたくさんあります。品質に妥協を許さない蔵元のこだわりの日本酒「GI 白山」や猛毒をもつふぐの卵巣を無毒化させた伝統の発酵食「ふぐの子糠漬け」など多種多様。

白山比咩神社



白山比咩神社

霊峰白山を神体山とし、全国三千社の総本宮。樹齢1000年以上の杉やアスナロがそびえる参道、境内には荘厳な雰囲気が漂っています。

(写真：© 白山市観光連盟)

<http://www.city.hakusan.lg.jp/bunka/sports/sportsmasters2026/index.html>

野々市市の概要

1 沿革

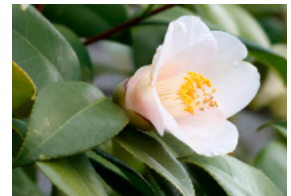
- 約3,700年～約2,500年前の大集落跡の「史跡 御経塚遺跡」
- 白鳳時代の大寺院跡である「史跡 末松廃寺跡」
- 室町時代に加賀の守護であった富樫氏の守護所が所在
- 鎌倉時代末期（約700年前）に記されたとされる「三宮古記（白山比咩神社所蔵）」に野市の^{ののいち}記述
- 昭和30（1955）年～昭和32（1957）年にかけて、一町三村が合併して新しい野々市町が誕生
- 平成23（2011）年11月11日、すべての法定要件を満たし市制を施行、野々市市が誕生

2 市章・市の花木

- 市章〈昭和35（1960）年6月15日制定〉
旧野々市町、富奥村の合併5周年を記念して制定された。
ひらがなで「のの」を組み合わせ分銅を表現し、市の融和発展を象徴した簡潔清爽な意匠となっている。



- 市の花木〈昭和49（1974）年6月19日選定〉
椿（ツバキ）
「野々市」という、本市の名称を冠した白に淡い朱鷺色をさしたような美しい品種がある。



3 産業

- 観光 野々市じょんからまつり、花と緑ののいち椿まつり、豊年野菜神輿、虫送り（富奥地区、御経塚地区、押野地区）
国指定重要文化財喜多家住宅、郷土資料館 NoNo、史跡末松廃寺跡、ののいち椿館・椿山、史跡御経塚遺跡・ふるさと歴史館



野々市じょんからまつり



国指定重要文化財喜多家住宅

- 特産 キウイフルーツ、ヤーコン、かぶら寿し、だいこん寿し

野々市ブランド認定品

地域内の特色ある製品のうち、
特に優れたものを野々市ブランドとして市が認定しています。



認定品はこちらをご覧ください。

志賀町の概要

●概要

志賀町は能登半島中央部の外浦海岸に位置し、豊かな自然に恵まれ、奇岩怪石や白砂青松の海岸線は、能登半島国定公園の一部で「能登金剛」と称され、義経の舟隠しやヤセの断崖とともに能登を代表する景勝地となっています。

●町章



志賀町が未来へ向かって飛翔する姿を頭文字の「S」で表現しています。雄大な日本海と能登半島のスケールの大きさや出会いと交流を青い円で、町を取り巻く豊かな環境緑のSで、未来に向かう町民の心をオレンジで表現しています。

●志賀町の魅力

旧福浦灯台



藩政期に北前船の西廻り航路における北陸唯一の寄港地として栄えた福浦港にあり、日本最古の木造灯台として今も残っています。令和2(2020)年6月には、この灯台がある北前船の寄港地が日本遺産に認定されました。

富木八朔祭礼



地域で古くから伝承されている代表的な伝統行事です。平成27(2015)年には、この祭りを含む「能登のキリコ祭り」が日本遺産に認定されました。地域の歴史と活気を現代に伝える、重要な文化遺産となっています。

ヤセの断崖



本町の海岸線には、奇岩や断崖が連なる景勝地「能登金剛」が広がっています。その代表的なスポットが、日本海の荒波に削られてできた絶壁「ヤセの断崖」であり、町の雄大な自然と美しい景観を象徴しています。

松尾神社



町の重要な文化的遺産の一つです。室町時代に建立された「松尾神社本殿」は、その高い歴史的・文化的価値から国の重要文化財に指定されており、古い歴史を持つ本町のシンボルとして今に伝えられています。

宝達志水町の概要

○概要

石川県のほぼ中央部に位置し、北は羽咋市、南はかほく市と津幡町、西は日本海、東は富山県氷見市と高岡市に隣接する地域です。また、羽咋郡に属し、県都金沢市からは約35kmの位置にあります。

東部は宝達山丘陵地、中央部は子浦川、長者川、相見川、宝達川、前田川流域に広がる扇状地、西部は日本海沿いの砂丘地の地形を有しており、山と川と海に囲まれた自然豊かな地域です。特に、地域の南東部に位置する宝達山は、標高637mと能登半島の最高峰です。

○町章



宝達志水町を象徴する宝達山の頭文字「宝」がデザインモチーフです。グリーンは宝の「ウ」かんむりで、緑豊かな自然を表します。ブルーは、「宝」の下「玉」で、町域を潤す清流や日本海の波と躍動的な人を表します。それは、宝達志水町の「人は宝」だという意味でもあります。そして、全体で「水と人が奏でるハーモニーのまち」を象徴します。

○町の自然・歴史



【山の龍宮城】

能登半島最高峰・宝達山山頂公園にある休憩施設〈令和6（2024）年4月リニューアルオープン〉。木のぬくもりあふれる館内からは、日本海や北アルプス連峰を望むことができ、その眺望はまさに絶景です。



【千里浜なぎさドライブウェイ】

今浜海岸から羽咋市千里浜に至る全長8kmの海岸。砂の粒子が細かく、車窓に波しぶきを浴びながら、ドライブを楽しむことができます。



【国指定重要文化財 喜多家住宅】

江戸時代後期に加賀藩十村役を務めた豪農喜多家の屋敷。おおむね幕末期の姿を留めており、茅葺き屋根がトレードマークの表門、複数の玄関口を持つ主屋などで構成されています。嘉永6（1853）年4月に海防視察のため能登国を巡見した加賀藩主前田斉泰が宿泊しました。



【県指定有形文化財 岡部家住宅】

江戸時代中期から加賀藩十村役を務めた豪農岡部家の屋敷。加賀藩主前田斉泰が嘉永6（1853）年4月の能登巡見時に宿泊したことで知られています。中心となる主屋は、近世・近代を通じて改修・改造が幾度となく施されており、現在の姿は平成の全解体修理時に幕末頃の様子に再現されたもの。

中能登町の概要

●概要

中能登町は、石川県能登半島の中央部に位置しています。地形は中央部の邑知地溝帯を中心に平野が広がり、東側の石動山と西側の眉丈山に囲まれた、日本の原風景とも言える美しい田園地帯が魅力です。平成17（2005）年に旧鳥屋町・鹿島町・鹿西町の3町が合併して誕生しました。

●町章



町の名前である「中」の文字をモチーフに、旧3町の合併を象徴しています。豊かな自然とところ豊かなふれあいが町を包む様子を表現しており、「歴史・文化・人」という3つの要素の調和と、未来へと発展する躍動感が込められています。イメージカラーのブルーは知性、グリーンは安らぎ、オレンジは活力を象徴しています。

●中能登町の魅力

雨の宮古墳群



眉丈山の山頂付近に位置する、4世紀中頃から5世紀初めに造られた36基の古墳群です。1号墳は前方後方墳として県内最大規模を誇る国指定史跡で、山頂からは町内を一望できる格別の眺めを楽しめます。

国指定 石動山（伊須流岐比古神社）



約1300年前に開山された山岳信仰の拠点で、国の史跡に指定されています。最盛期の中世には360余りの院坊を擁する一大霊場として栄えました。

能登上布



「織姫の里」の由来となった、約2000年前から続く伝統の麻織物です。丹念に柄を合わせて織り上げる細やかな緋模様が特徴で、石川県の無形文化財にも指定されています。

どぶろく特区



平成26(2014)年に内閣総理大臣から「どぶろく特区」の認定を受けており、3つの神社でどぶろく醸造が営まれている全国的にも珍しい地域です。

金沢

外様大名筆頭加賀藩の城下町。兼六園、長町武家屋敷跡、三茶屋街など当時の名残が香ります。漆器、染織、陶芸、茶道など藩が文化振興に力を入れたことで、金沢は今日の美術工芸大国へ至りました。金沢21世紀美術館や国立工芸館など近現代アート施設も必見。

長町武家屋敷跡野村家

ひがし茶屋街

百万石の鮓「幸」

石川県では、観光客の鮓人気にこたえ、地物中心の握りを良心価格で提供する「百万石の鮓」を企画。握りと、地元ブランド品「百万石の極み」や「加賀野菜」の料理などをセットにした鮓会席「百万石の鮓・幸」も登場しました。



百万石の鮓「幸」

金沢城二の丸御殿の復元整備

石川門や三十間長屋などの重要文化財のほか、五十間長屋や玉泉院丸庭園なども見どころの金沢城公園では、2025年より、城の中核であった二の丸御殿の復元工事に着手しました。鶴の丸休憩館のシアターでは二の丸御殿を解説する映像を放映しています。



二の丸御殿復元工事

各施設の開館及び閉館時間、休館日については、変更となる場合がありますので、事前に各施設にご確認ください。

石川県立図書館

知

「思いもよらない本との出会いや体験によって、自分の人生の1ページをめくることができる場所」をコンセプトにした会話のできる図書館です。本の表紙を見せながら円形書架や豊富な閲覧席、多種多様なイベントなど、さまざまな出会いを楽しむことができます。

☎(076)223-9565

開館時間／【閲覧エリア】9:00～19:00
【文化交流エリア】9:00～21:00
(土・日・祝日【閲覧エリア】9:00～18:00)
休日／月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、特別整理期間



近江町市場

知

加賀藩時代から約300年続く金沢の台所。約170店が並び、日本海の新鮮な魚介や地元産品が威力よく取引され、活気溢れています。海鮮丼や食べ歩きグルメも人気で、早めの訪問がおおすすめです。

☎(076)231-1462

(近江町市場商店街振興組合)

開館時間／9:00～17:00(一般的な店舗)
(一部店舗、日・祝日9:00～16:00)



金沢城公園

菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓

見学

文化6年(1809)に再建された姿に復元。館内の展示では、建物の構造がわかる工夫がされています。
石川県金沢城・兼六園管理事務所
☎(076)234-3800
開館時間／9:00～16:30
(最終入館16:00)
休日／無休、毎週土曜日などに夜間開園ライトアップを開催

加賀百万石回遊ルート

金沢は江戸時代、外様第一の大藩の城下町として栄え、往時の遺構や伝統文化を現在へ伝え、明治以降の教育や芸術の街を象徴するスポットも中心市街地に集まっています。それらを結び加賀百万石回遊ルートで、まち歩きを楽しみましょう。
詳細は、こちらから
<https://www.hot-ishikawa.jp/kagakaiyuu>



兼六園

見学



日本三名園の一つ。1986年に国の特別名勝に指定。歴代藩主により長い年月をかけて形づくられてきた林泉回遊式庭園。「兼六園」の名は、相反する六つの景勝(宏大・幽邃、人力・蒼古、水泉・眺望)が兼ね備わっていることに由来します。四季折々の美しい風景を楽しめます。

石川県金沢城・兼六園管理事務所

☎(076)234-3800

開園時間／7:00～18:00
(10月16日～2月末日は8:00～17:00)
休日／無休
季節ごとに夜間開園・ライトアップを開催



長町武家屋敷跡境界

見学

藩政時代、中級武士が屋敷を構えた風情ある町並みが残り、用水沿いの武家屋敷跡野村家、前土佐守資家資料館、旧加賀藩士高田家跡などが見どころです。

金沢の三茶屋街

見学

市街には文政年間が始まるひがし茶屋街とにし茶屋街、明治初期が始まる主計町茶屋街があります。1階の出格子、2階の雨戸が特徴的な茶屋建築が残り、宵にはお座敷から芸妓による遊芸の音色がこぼれます。茶屋を改装した飲食処やショップも増えています。



鈴木大拙館

見学

金沢が生んだ仏教哲学者鈴木大拙。「展示空間」や、「学習空間」を巡り、「水鏡の庭」の中に浮かぶ浮島のような「思索空間」へ。大拙を知るとともに自らも思索できる空間が広がります。

☎(076)221-8011

開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
休日／月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始、
展示替期間、11月27日～3月上旬(建物修繕工事予定)



金沢港クルーズターミナル

見学

金沢港に入るクルーズ船を迎えるための施設。2階には船の操縦をシミュレーションできる体験ルーム、レストラン、群青の日本海を見た展望デッキがあります。日没から21:00までは金沢港のライトアップも楽しめます。

☎(076)225-7030

開館時間／9:00～21:00
休日／12月29日～1月3日



石川県西田幾多郎記念哲学館

見学

西田幾多郎博士の業績やゆかりの品を紹介しながら、哲学を身近にわかりやすく解説しています。建築家安藤忠雄氏による設計で非日常空間の中、心静かに思索体験ができます。

☎(076)283-6600

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)
休日／月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、
展示替時期



国立工芸館

知



近現代工芸・デザイン専門の美術館。漆芸家・松田権六の工房の移築・復元展示やデジタル鑑賞システム、アートライブラリ、ミュージアムショップを設置しています。

☎(050)5541-8600(ハローダイヤル)

開館時間／9:30～17:30(入館は17:00まで)
休日／月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、展示替期間

石川県森林公園

遊

開園50周年を機に見晴台やフィールドアスレチックなどがリニューアルしたほか、雨の日でも遊べる屋内木育施設が新設されています。

インフォメーションセンター(園内)

☎(076)288-6449

開館時間／9:00～17:00
休日／12月29日～1月3日



石川県立美術館

見学

古美術から近現代まで、石川県ゆかりの作品を幅広く展示。特に野々村仁清作の国宝「色絵雉香炉」は必見です。世界的パティシエ辻口博啓氏のパティスリー＆カフェも併設。文化財保存修復工房では、実際の修復作業を常時見学できます。

☎(076)231-7580

開館時間／9:30～18:00(入館は17:30まで)
休日／年末年始、展示替期間



いしかわ赤レンガミュージアム 石川県立歴史博物館

知

赤レンガの重厚な外観が魅力的な博物館。石川県の原始から近代までの歴史展示と、祭り文化を紹介する民俗展示を、豊富な実物資料やジオラマ、迫力ある映像などで分かりやすく紹介。見て聞いて触れて学べる文化の宝庫です。

☎(076)262-3236

開館時間／9:00～17:00
(展示室への入室は16:30まで)
休日／年末年始、展示替期間



※写真・イラストは全てイメージです。気候、自然条件等により写真のような景色が見られない場合があります。

※施設の開館時間、休日などは2025年12月に確認したものです。都合により内容が変更になる場合があります。各施設にお問い合わせください。

能登

美しい里山里海、生業や民俗、伝統工芸や祭礼をもって、能登は世界農業遺産に認定されています。令和6年能登半島地震・奥能登豪雨で甚大な被害を受けましたが、少しずつ復興は進んでいます。故郷の再生に向けて取り組む人々にエールを。

千里浜なぎさドライブウェイ

輪島塗

見附島

買って食べて声援を能登へ

道の駅は大半が再開しました。生業の再建に向け、頑張る地元の物産が評判の「道の駅すずなり」、輪島市の飲食店群、のと里山空港内の「NOTO-MORI」、被災店舗が集う「あなみずスマイルマルシェ」へもぜひ。

今行ける能登

震災被害を克服し、輪島漆芸美術館、のとじま水族館、能登島ガラス美術館、和倉温泉お祭り会館、七尾美術館などの施設が再開。飲食・物販施設も営業を始めました。ほっと石川旅ねっとの「今行ける能登」でご確認の上、お出かけください。



道の駅すずなり



のとじま水族館

各施設の開館及び閉館時間、休館日については、変更となる場合がありますので、事前に各施設にご確認ください。

和倉温泉お祭り会館

見学

2020年6月オープン。ユネスコ無形文化遺産に認定された青柏祭、石崎奉燈祭、能登島向田の火祭、お熊甲祭を展示物と映像で紹介。祭りの魅力や楽しさなど、臨場感ある擬似体験が人気です。

☎(0767)62-4332
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休日/第2・4水曜

大本山總持寺祖院

見学 体験

令和6年能登半島地震で甚大な被害があったものの、場所を限定して拝観できます。また、2024年12月に国の重要文化財に指定されました。

大本山總持寺祖院
☎(0768)42-0005
参拝時間/9:00~15:00(12月現在)

能登金剛

見学

能登半島外浦の福浦港から関野鼻までは、断崖と奇岩の海岸線。遊覧船が航行する巖門、小説の舞台となったヤセの断崖など、日本海の荒波が生んだ多様、豪快な造形を呈します。

(一社)志賀町観光協会
☎(0767)42-0355

輪島キリコ会館

見学

夏から秋にかけて能登各地で行われるキリコ祭り。本会館では能登地方独特のキリコと呼ばれる巨大な御神灯30基がところせましと立ち並び、キリコ祭りの雰囲気味わうことができます。

☎(0768)22-7100
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休日/無休 ※12月現在、震災の影響で休業中(再開未定)

輪島漆芸美術館

見学

輪島塗の歴史・技法・名品を紹介し、漆芸の魅力と伝統を伝える専門美術館。

☎(0768)22-9788
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休日/12月29日~31日、展示替期間中

輪島塗会館

見学

漆の里輪島市にある当館では1階は展示即売、2階展示室は休館中。

☎(0768)22-2155
開館時間/9:00~16:00
休日/土・日・祝

道の駅・すず塩田村

体験

江戸時代から仁江海岸で継承されてきた揚げ浜式製塩を紹介。5月~9月には、作業を体験できます(要予約)。貴重な揚げ浜塩や塩ラムネも販売しています。

☎(0768)87-2040
開園時間/9:00~16:00
休日/無休 ※体験は臨時休業中(12月現在)

金栄山 妙成寺

古刹など

桃山時代の荘厳華麗な建造美を今に伝えます。特に五重塔は多彩な彫刻が施され、北陸随一の荘厳と称されています。

☎(0767)27-1226
参拝時間/4月~10月 8:00~17:00
11月~3月 8:00~16:30



岡部家

見学

岡部家は加賀藩十村役を務めた家柄。元文元年(1736)築造の県指定有形文化財の主屋は、十村屋敷としての格式を備え、上役を接待する公用の間と家人の生活の場に分けられていました。

☎(0767)29-3497
開館時間/3月~11月 9:00~16:45
12月~2月 9:00~15:45
(入場は閉館の45分前まで)
休日/月曜日~金曜日(土日のみ開館)



写真提供: 宝達志水町



和倉温泉

温泉

湯脈が海中にあることから北陸随一の“海の温泉”として知られています。能登の里山里海がじっくり育んだ旬の味覚を年間を通してご堪能いただけます。

和倉温泉観光協会 ☎(0767)62-1555

宇宙科学博物館コスモアイル羽咋

見学

宇宙開発のために実際に使用された機材などの実物を多数展示。また、世界的UFO研究家の研究成果や公開された米国政府のUFO公文書を紹介しています。

☎(0767)22-9888
開館時間/8:30~17:00(入館は16:30まで)
休日/火曜日



輪島温泉郷

温泉

輪島温泉、ねぶた温泉があり、新鮮な地魚料理が自慢です。足湯「湯楽里」も人気。※足湯は12月現在休止中。

わじま観光案内センター
☎(0768)22-1503



※写真・イラストは全てイメージです。気候、自然条件等により写真のような景色が見られない場合があります。※施設の開館時間、休日などは2025年12月に確認したものです。都合により内容が変更になる場合がありますため、各施設にお問い合わせください。

加賀

観音下石切り場

伝統の心と現代の技術が
息づく加賀。
小松市は、大型建機や九
谷焼などモノづくりのま
ち。歌舞伎文化や石の文
化といった個性も備えて
います。加賀市には歴史
ある加賀温泉郷、北前船
の里橋立があり、九谷
焼と山中漆器の産地とし
ても知られています。

こまつの杜

山中温泉

歌舞伎のまち 小松

歌舞伎「勘進帳」の舞台 安宅の関や江戸時代より
続く伝統芸能「曳山子供歌舞伎」により、小松は
歌舞伎のまちとよばれています。毎年5月には「お旅
まつり」も開催されます。



こまつ曳山交遊館みよさ

北陸新幹線小松駅と加賀温泉駅

小松駅の『Komatsu 九(ナイン)』は、飲食・物販店
やギャラリー・コワーキングスペースを備えた施設。
加賀温泉駅は格子や赤瓦を取り入れた外観で、温
泉郷の風情や城下町の歴史をイメージ。



加賀温泉駅

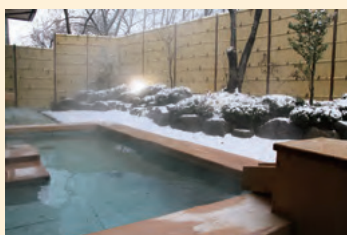
各施設の開館及び閉館時間、休館日については、変更となる場合がありますので、事前に各施設にご確認ください。

辰口温泉

温泉

開湯1400年の歴史を持ち、金沢生まれの文豪泉
鏡花が愛した温泉としても有名。共同浴場の総
湯「里山の湯」や足湯も楽しめます。

辰口温泉観光協会 ☎(0761)51-6666



加賀温泉郷

泉鏡花や畠山人など文化人に愛され、風雅な総湯・古総湯がある山代。松尾芭蕉に称賛され、鶴仙溪の情緒ゆかしい山中、柴山湯越しに白山を仰ぐ片山津、
どの宿も自家掘り温泉で開湯1300年を誇るあわづ。食にも定評がある加賀の4つの名湯です。



片山津温泉

温泉

柴山湯湖畔にある白山眺望の湯。8
月は毎夜湖上に花火が打ち上げら
れます。モダン建築の総湯はカフェ
を併設、白山と湖を一望できます。

片山津温泉観光協会 ☎(0761)74-1123



あわづ温泉

温泉

開湯1300年、宿それぞれが所有す
る自家源泉が自慢。近隣にはミシュ
ラン一ツ星の那谷寺や「加賀伝統工
芸村ゆのくにの森」があります。

粟津温泉観光協会 ☎(0761)65-1834



山代温泉

温泉

開湯1300年、戦国武将や文人墨客
を迎えてきた名湯。共同浴場「総湯」
と「古総湯」を宿が囲む湯の曲輪(ゆ
のかわ)の佇まいを残しています。

(一社)山代温泉観光協会 ☎(0761)77-1144



山中温泉

温泉

開湯1300年、松尾芭蕉が「山中や 菊
は手折らじ 湯の匂ひ」と称賛。工芸
店が並ぶゆげ街道、芸妓衆の山中節
を鑑賞できる山中座などがあります。

(一社)山中温泉観光協会 ☎(0761)78-0330

萬松園あいうえおの杜

遊



山代温泉街を見下ろす萬松園に令和7年オーブ
ン。その名は萬松園を背後とする薬王院温泉寺
中興の祖・明覚上人が五十音の基礎を作ったこ
とに由来します。カフェ、木遊具、森を巡る回廊、
マイカーキャンプ場などが設置されています。

☎(0761)76-5575

開館時間/9:00~17:00
休日/毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12/29~1/3)



坂網獵(片野鴨池)

見学

江戸時代より300年以上続く伝統猟法で、石川県
民俗文化財に指定されています。長さ3.5m、Y字
形の坂網を獵師が投げ上げて捕獲する、冬場の
3ヶ月間だけ行われている獵。年間200羽前後し
か獲れない鴨は、臭みもなく深い味わいです。

「安宅の関」こまつ勘進帳の里 勘進帳ものがたり館

見学



ARを使って気軽に歌舞伎の衣装や隈取りを楽しめるほか、迫力あ
る大画面で歌舞伎「勘進帳」のダイジェスト映像をご覧いただけます。
隣接するテラスでは日本海を一望しながら食事が楽しめます。

☎(0761)21-6734

開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休日/毎週水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

小松市観光交流センター「Komatsu 九」ギャラリー&イベントエリア

見学

日本遺産に認定された「小松の石文化」を知るならここ
へ。八日市地方遺跡から出土した碧玉製管玉の加工工程
や、小松式土器等の実物を見ることができます。

Komatsu 九 ☎(0761)58-2775

営業時間/7:00~22:00
休日/無休



那谷寺

見学

白山を開いた泰澄大師の開
基とされ、1300年以上の歴
史を有する古刹。岩山の地
形を利用し、国指定重要文
化財に指定されている本殿、
三重塔、護摩堂、鐘楼など
が点在します。

☎(0761)65-2111

拝観時間/9:15~16:00
休日/無休



加賀雁皮紙の紙すき体験

体験



加藤和紙 ☎090-4689-6055

営業時間/9:00~16:00
休日/不定休

天明3年(1783)より
加賀平野で製造され
てきた加賀雁皮紙は、
紙の王様とよばれる
高級和紙。川北町で
ただ1軒、その伝統
技法を継ぐ工房では
工程の見学や紙すき
体験ができます。

いしかわ動物園

遊



里山の自然を生かして動物本来の生息
環境を再現した「楽しく、遊べ、学べる
動物園」。特別天然記念物のトキやライ
チョウの展示館、小動物に触れるふれ
あい体験館など家族連れに大人気。

☎(0761)51-8500

開園時間/9:00~17:00
11月~3月は9:00~16:30
(入園は開園の30分前まで)

休日/毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、12月29日~1月1日
※春・夏休み期間及び大型連休は 休まず営業

九谷焼陶芸体験

体験

KAM能美市九谷焼
美術館 | 体験館 | や
九谷焼窯跡展示館で
は、手びねりやろく
ろによる器の成形、
九谷五彩を使った上
絵付けの創作体験が
できます。



写真提供/ゆのくにの森

KAM能美市九谷焼美術館 | 体験館 |
☎(0761)58-6300

九谷焼窯跡展示館(要予約)
☎(0761)77-0020

加賀伝統工芸村ゆのくにの森
☎(0761)65-3456

九谷満月
☎(0761)77-2121



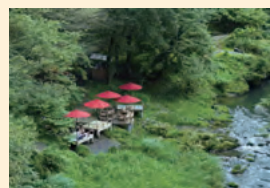
山中漆器木地挽きろくろ体験

体験

木地挽きろくろの実演の見学、体験をすることが
できます。

ろくろの里工芸の館 ☎(0761)78-2278

開館時間/9:00~17:00
休日/水曜、年末年始



鶴仙溪川床

食

山中温泉を縫う大聖寺川の渓谷、鶴仙溪。こおろき橋、
あやとりはしなど意匠のある橋と木立、清流が折々の
美を描きます。4月から11月には川床が設けられ、オ
リジナル甘味や弁当をお供に、風情のひとつを過ご
せます。

(一社)山中温泉観光協会 ☎(0761)78-0330

北前船の里資料館

見学

明治10年(1877)に建造された旧北前船主酒谷家の
邸宅。樺や紫檀など高級建材を惜しみなく用いた
造りから船主の豪華な暮らしがうかがわれ、当時
の航海道具や船絵馬などを見ることが出来ます。

☎(0761)75-1250

開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休日/無休



※写真・イラストは全てイメージです。気候、自然条件等により写真のような景色が見られない場合があります。
※施設の開館時間、休日などは2025年12月に確認したものです。都合により内容が変更になる場合がありますため、各施設にお問い合わせください。



西山から見た白山

白山は石川県南部に位置し、富士山、立山と並ぶ日本三名山の一つ。山麓では高山植物やブナ林、山里料理、温泉、白山山系に発する手取川の扇状地では豊穰な平野、伏流水、地酒…。白山は豊かな恵みをもたらしています。

白山比咩神社 表参道



白山百膳

白山手取川ジオパーク

ジオパークは、「大地」「自然」「人の暮らし」をひとつのつながりとして考え、それらを守りながら、よりよくしていくと取り組む地域です。白山手取川ジオパークは白山市全域をエリアとし、2023年にユネスコ世界ジオパークに認定されました。



手取峡谷(不老橋 下流)

トレインパーク白山

北陸新幹線車両基地に隣接する体験型施設。デッキから新幹線を眺めたり、運転を疑似体験したり、家族連れでにぎわいます。「見ることができれば幸運が訪れる」という点検用新幹線ドクターイエローは必見。



ドクターイエロー

各施設の開館及び閉館時間、休館日については、変更となる場合がありますので、事前に各施設にご確認ください。

白山国立公園

見学

御前峰、大汝峰、剣ヶ峰の3峰からなる白山は、富士山、立山と並ぶ日本三名山の一つとして知られており、それを取り囲むエリアが白山国立公園です。7～8月の夏山シーズンには見事なお花畑が広がり、ハクサンコサクラなど、白山にちなんだ植物が数多く生育しています。また、白山ユネスコエコパークエリアにもなっており、白山手取川ジオパークエリアの一部とも重複している、国際的にも評価の高い地域といえます。

白山観光協会 ☎(076)273-1001



鶴来まちあるき

見学

白山比咩神社の門前町として千年の歴史を持つ鶴来。蔵元の商家や民家が並ぶレトロな町の散策ができます。金沢から「鶴来まち歩きクーポン」を使うと、協賛施設で体験料の割引やデザートなどのサービスの特典が受けられます。

白山市観光連盟 ☎(076)259-5893
クーポン販売場所/北鉄チケットセンター、石川線野町駅

重要伝統的建造物群保存地区～白峰～

見学

日本有数の豪雪地帯において養蚕を生業として発展し、天領「白山麓十八ヶ村」の政治と経済の中心地として、独特の文化を育んできました。山村でありながら町場のような古い町並みが保存され、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

白峰観光協会 ☎(076)259-2721



白山比咩神社

見学



菊理媛命を祀る、全国3000余社におよぶ白山神社の総本宮。地元では「しらやまさん」と呼ばれる縁結びの神様です。宝物館には重要文化財等の神宝が数多く収蔵されています。

☎(076)272-0680
拝観時間/宝物館は9:00～16:00
(11月は9:30～15:30)
休日/宝物館は12月～3月休館

白山比咩神社みそぎ体験昇殿参拝付き

体験

白山の地下水が満ちる白山比咩神社の禊場で、「みそぎ」を体験することができます。体験者には神社より修了証が授与されます。

※4月～11月の間、月2回(土曜もしくは日曜)開催。事前予約制。

※施行ではありませんので、髪や顔が濡れることはありません。

白山市観光連盟 ☎(076)259-5893



石川県ふれあい昆虫館

遊

展示昆虫館としては日本海側最大級。亜熱帯のチョウなど約10種およそ1000匹が舞う放蝶温室、世界4地域の自然の中で生きる昆虫のジオラマ展示など、昆虫を多角的に紹介しています。

☎(076)272-3417

開館時間/9:30～17:00

11月～3月は9:30～16:30

(入館は閉館の30分前まで)

休 日/毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、

12月29日～1月1日

※春・夏休み期間及び大型連休は休まず営業



白山白川郷ホワイトロード

見学

白山市と岐阜県の白川郷を結び白山国立公園内を通る山岳観光道路です。ドライブだけではなくトレッキングルートや遊歩道も整備され、滝、原生林、花など白山の大自然を間近に満喫することができます。

白山林道石川管理事務所

☎(076)256-7341

開通時間/6～8月7:00～18:00

9～11月8:00～17:00

開通期間/6月上旬～11月10日(変更することがあります)



綿ヶ滝

憩

手取峡谷にある落差32メートルのダイナミックな滝。まるで綿が舞っているように見えることから「綿ヶ滝」というのだとか。約130段の急な階段で滝の近くまで下ることができます。



白山ろく民俗資料館

歴史・民俗



☎(076)259-2665

開館時間/9:00～16:30(入館は16:00まで)

休日/毎週木曜(祝日の場合は翌日)12月11日～3月9日休館

白山市(旧白峰村)の豪雪地帯特有の民俗を伝えています。敷地内には、養蚕や酒造業、金融業などを営んだ豪農や商家、出作り農家など貴重な建造物6棟を移築公開、家屋内には当時の生活用品がそのまま残っています。

美川のふぐの子糠漬

食

白山から流れる手取川の河口域にある美川地区は、伏流水が湧き出ており、豊かな水を利用した「フグの卵巣の糠漬け」がつけられています。江戸時代から続くこの食文化は、文化庁の100年フードに認定。発酵により無毒化している事から「奇跡の発酵食」ともいわれています。

白山市観光連盟 ☎(076)259-5893



白山ろくスキー場・キャンプ場

遊

白山ろくには、県内唯一のキッズパークがある白山一里野温泉スキー場、個性豊かなコースが楽しめる白山セイモアスキー場、吉野オートキャンプ場など、アウトドア設備が充実しています。

白山麓スキー場施設

白山セイモアスキー場

☎(076)273-0331

白山一里野温泉スキー場

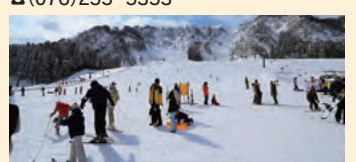
☎(076)256-7412

白山市観光情報センター

☎(076)273-4851

吉野オートキャンプ場

☎(076)255-5353



※写真・イラストは全てイメージです。気候、自然条件等により写真のような景色が見られない場合があります。
※施設の開館時間、休日などは2025年12月に確認したものです。都合により内容が変更になる場合がありますため、各施設にお問い合わせください。

日本スポーツマスターズ2026 石川大会実施本部等連絡先

大会実施本部・記録本部

大会に関する各種お問合せ・競技結果に関するお問合せは、下記までご連絡ください。

日本スポーツマスターズ2026石川大会実行委員会事務局

TEL：080-8098-0077

E-mail：大会実施本部：office@ishikawa-sportsmasters2026.jp

記録本部：office@ishikawa-sportsmasters2026.jp

〒920-0355 金沢市稚日野町北222

石川県文化観光スポーツ部

スポーツ振興課 地域・障害者スポーツG

設置期間：8月29日～30日（水泳競技）

9月12日～14日（空手道競技）

9月18日～9月22日（主会期）

9月28日～30日（ゴルフ競技）

荒天時の実施対応

荒天時、当日の開催可否については、下記 Web サイトをご確認ください。

日本スポーツマスターズ2026石川大会特設ホームページ

<https://www.ishikawa-sportsmasters2026.jp/>



宿泊・輸送本部

日本スポーツマスターズ2026石川大会 宿泊・輸送本部

TEL：050-9001-9681／FAX：076-222-0147

E-mail：masters_2026ishikawa@tobutoptours.co.jp

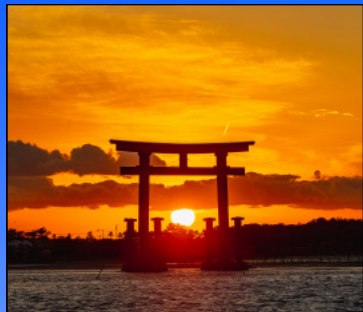
〒920-0024 石川県金沢市西念1-1-3 コンフィデンス金沢4階

東武トップツアーズ(株)金沢支店内

（平日 9：30～17：30 土日祝日休み）



玉露の里
(藤枝市)



浜名湖弁天島
(浜松市)



法多山
(袋井市)



焼津さかなセンター
(焼津市)

JAPAN GAMES MASTERS 2027 SHIZUOKA

2027年9月17日(金)～21日(火)※一部競技を除く



沼津港大型展望すいもん
「びゅうお」
(沼津市)



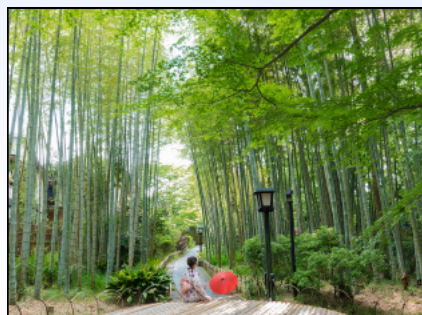
日本平夢テラス
(静岡市)



旧見付学校
(磐田市)



蓬萊橋
(島田市)



竹林の小径
(伊豆市)



大淵笹場
(富士市)



白糸の滝
(富士宮市)



日本スポーツマスターズ2027静岡大会実行委員会事務局

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

TEL :054-221-3177 MAIL :sports-shinko@pref.shizuoka.lg.jp



幸福度日本一の静岡県

日本スポーツマスターズ2027静岡大会 開催概要

〈開会式（前夜祭）〉

期日：2027年9月17日(金)

場所：ホテルグランヒルズ静岡（静岡市）

◇大会日程と会場一覧

令和8年7月22日現在

競技名		競技日程										競技会場	開催市	
		8月		9月										
		28	29	7	8	9	17	18	19	20	21			
		(土)	(日)	火	水	木	金	(土)	(日)	(月)	火			
水泳	(男女)	●	◎									静岡県富士水泳場	富士市	
サッカー	(男)							○	○	○	◎	エコパスタジアム	袋井市	
								○	○	○	○	エコパ補助競技場		
								○	○	○		磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場 サッカーグラウンド	磐田市	
								○	○	○		磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場 多目的グラウンド		
テニス	(男女)							●	○	○	◎	浜松新電力テニスコート	浜松市	
バレーボール	(男女)										◎	エコパアリーナ	袋井市	
	(男)							○	○	○		エコパサブアリーナ		
									○	○	○			さわやかアリーナ メインアリーナ
									○	○				さわやかアリーナ サブアリーナ
	(女)							○				さわやかアリーナ メインアリーナ	浜松市	
								○	○	○		サーラグリーンアリーナ メインアリーナ		
								○	○	○		サーラグリーンアリーナ サブアリーナ	磐田市	
								○				磐田市アミューズ豊田 メインアリーナ		
バスケットボール	(男)							○	○	○	◎	このはなアリーナ	静岡市	
								○	○			このはなアリーナ サブフロア		
								○	○	○		静岡市中央体育館		
	(女)							○	○	○	◎	香陵アリーナ スポーツアリーナ	沼津市	
							○	○			香陵アリーナ 多目的アリーナ			
自転車競技 (トラック)	(男女)							▲	◎	◎		日本サイクルスポーツセンター ペロドローム	伊豆市	
ソフトテニス	(男女)							●	◎			静岡県草薙総合運動場庭球場	静岡市	
軟式野球	(男)							●	○	◎		しずてつスタジアム草薙		
								○	○			静岡市西ヶ谷総合運動場野球場		
								○	○			ちゅ〜るスタジアム清水		
								○	○			島田球場		
								○				焼津市総合グラウンド野球場		
ソフトボール	(男)							○	○	○	◎	富士川緑地 ソフトボール場	富士市	
バドミントン	(男女)							●	○	◎		北里アリーナ富士		
空手道	(男女)							●	○	◎		静岡県武道館	藤枝市	
ボウリング	(男女)							●	○	◎		浜松毎日ボウル	浜松市	
ゴルフ	(男)			▲	○	◎						朝霧ジャンボリーゴルフクラブ	富士宮市	
	(女)			▲	○	◎						朝霧カントリークラブ		

11市 計32会場

〈開催地〉静岡市、浜松市、沼津市、富士宮市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、藤枝市、袋井市、伊豆市

●開始式後競技 ▲公式練習 ○競技 ◎競技終了後表彰式

※競技会の日程、競技ごとの使用会場や会場ごとの開催日は変更の可能性があります。

KEIRIN



地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、
ものづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、
社会に役立つ活動を応援しています。

<https://jka-cycle.jp>

